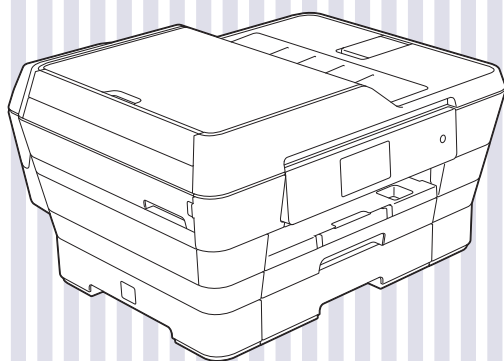


brother

PRIVIO
MFC-J6973CDW

JUSTIO^{PRO}
MFC-J6990CDW

ユーザーズガイド －応用編－



ブラザーのサポートサイトにアクセスして
最新の情報を調べる

<http://support.brother.co.jp/>

サポート ブラザー

検索



オンラインユーザー登録をお勧めします。

Brother Online ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

第1章
はじめに

第2章
お好みで設定する

第3章
コピー

第4章
デジカメプリント

第5章
ファクス

第6章
電話帳

第7章
転送・リモコン機能

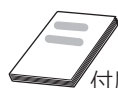
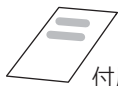
第8章
こんなときは

第9章
付録 (索引)

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	 付属
2. かんたん設置ガイド 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	 付属

■用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について説明しています。	 付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	Windows®  付属
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて説明しています。	Macintosh  サポートサイト
6. ユーザーズガイド ネットワーク編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	http://support.brother.co.jp/d/b4m2/

■サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

クラウド接続ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法を説明しています。	 サポートサイト http://support.brother.co.jp/d/b4m2/
AirPrint ガイド（PDF 形式） iOS を搭載した携帯端末や、OS X v10.8.5 以降の Macintosh からデータを直接印刷する方法などを説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
Wi-Fi Direct ガイド（PDF 形式） Wi-Fi Direct® 対応の携帯端末と本製品を無線 LAN アクセスポイントなしで接続する方法を説明しています。	
モバイルプリント&スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
<http://support.brother.co.jp/d/b4m2/>

目次

マニュアルの構成	2
目次	3
本書の見かた	6
編集ならびに出版における通告	6
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただく ことをお勧めします	6

第 1 章 はじめに 7

画面の操作方法	8
用紙のセット	10
使用できる用紙	10
用紙の印刷範囲	12
用紙トレイ 1 にセットする	12
用紙トレイ 2 にセットする	17
手差しトレイにセットする	22
用紙トレイの設定をする	24
原稿のセット	25
原稿の読み取り範囲	25
ファクス送受信テストをする	26

第 2 章 お好みで設定する 27

日付と時刻を設定する	28
音量を設定する	30
画面の設定を変更する	31
ホーム画面を選ぶ	31
画面の明るさを設定する	31
表示言語を「英語」に変更する	32
電力を節約する	33
スリープモードに入る時間を設定する	33
印刷音を軽減する	34
お気に入り登録する	35
お気に入り機能や設定条件を登録する	35
登録したお気に入りを呼び出す	37
お気に入りを編集する	37
セキュリティ機能ロックを設定する	38
セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する	39
管理者パスワードを登録する	40
ユーザーを登録する	40
セキュリティ機能ロックをオン/オフにする	41
ユーザーを切り替える	41
電話 / ファクス回線種別を設定する	42
電話 / ファクス回線のいろいろな接続	43
ひかり電話をご利用の場合	44
ADSL をご利用の場合	44
ISDN をご利用の場合	45
デジタルテレビを接続する場合	45
構内交換機 (PBX) ・ビジネスホン ご利用の場合	46

第 3 章 コピー 47

いろいろなコピー	48
プリセットコピーメニューについて	48
設定を変えてコピーするには	50
スタック / ソートコピーする	52
レイアウトコピーする	53
原稿の傾きを補正してコピーする	56
両面コピーする	57
インクを節約してコピーする	59
コピー時の裏写りを抑える	59
ブックコピーする	60
コピーに文字を重ねる	60
原稿の地色を除去してコピーする	61
A3 用紙を使った便利なコピー	62

第 4 章 デジカメプリント 65

写真をプリントする	66
使用できるメモリーカードと USB フラッシュ メモリー	66
設定を変えてプリントするには	67
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内 の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする	69
インデックスシートをプリントする	70
インデックスシートの写真の番号を指定して プリントする	71
多様な補正機能を使ってプリントする	73
証明写真プリントをする	76
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内 の画像を自動で順番に表示する	77
DPOF を使用してプリントするには	78
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから 直接プリントする	79
PictBridge とは	79
デジタルカメラで行う設定	79
写真をプリントする	79

第 5 章 ファクス 81

送信

ファクスの便利な送りかた	82
設定を変えてファクスするには	82
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	84
相手先の受信音を確認してから送る	85
ADF (自動原稿送り装置) から両面原稿を送る	86
複数の相手先に同じ原稿を送る	87
内容を確認してから送る	89
時間を指定して送る	91
同じ相手への「タイマー送信」を 1 回の通信に まとめる	92

原稿をすぐに送る	93
相手の操作で原稿を送る	94
海外へ送る	95
パソコンからファクスを送る	97
自動再ダイヤルを解除する / 設定する	98
外線発信番号を設定する	99
ファクス誤送信防止機能を設定する (ダイヤル制限機能)	100
IP ファクスの設定をする (データコネクト設定)	101

受信

ファクスの見かた	102
受信したファクスを画面で見る (みただけ受信) / 印刷する	102
ファクスを自動的に印刷する (みただけ受信を解除する)	105
ファクスの便利な受けかた	106
電話に出ると自動的に受ける (親切受信)	106
自動的に縮小して受ける	107
本製品の操作で相手の原稿を受ける	108
本製品と接続している電話機の操作で ファクスを受信する	111
ファクスをメモリーで受信する	112

通信管理

通信状態を確かめる	116
送信待ちファクスを確認・中止する	116
通信管理レポートを印刷する	117
送信結果レポートを印刷する	118
着信履歴リストを印刷する	119

第 6 章 電話帳 121

電話帳を利用する	122
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	122
電話帳の内容を変更する	124
グループダイヤルに登録する	125
パソコンを使って電話帳に登録する	126

第 7 章 転送・リモコン機能 127

外出先から本製品を操作する	128
暗証番号を設定する	128
外出先から本製品を操作する	129
外出先に転送する	131
ファクスが届いたことを電話で知らせる	131

第 8 章 こんなときは 133

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	134
タッチパネルを清掃する	134
本製品の外側を清掃する	134
排紙ローラーを清掃する	135
本体内部を清掃する	136
インクがなくなったときは	138
インクカートリッジを交換する	139
インク残量を確認する	140
印刷品質が良くないときは	141
定期メンテナンスについて	141
プリントヘッドをクリーニングする	141
用紙送り量を補正する	141

困ったときは

こんなときは	142
本製品の設定内容や機能を確認する	142

第 9 章 付録 143

文字の入力方法	144
入力画面例	144
機能一覧	146
仕様	169
使用環境	176
用語解説	177
索引	179

Memo

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J6973CDW、MFC-J6990CDW を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に記載されていますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J6973CDW のイラストを代表で使用しています。モデル特有の記載については、該当モデルのイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2015 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。<http://support.brother.co.jp/>

第 1 章

はじめに

画面の操作方法	8
操作例	8
用紙のセット	10
使用できる用紙	10
用紙の印刷範囲	12
用紙トレイ 1 にセットする	12
用紙トレイ 2 にセットする	17
手差しトレイにセットする	22
用紙トレイの設定をする	24
コピーのときに使うトレイを選択する	24
ファックスのときに使うトレイを選択する	24
原稿のセット	25
原稿の読み取り範囲	25
ファックス送受信テストをする	26

画面の操作方法

画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に▲/▼/◀/▶が表示されているときは、▲/▼/◀/▶を押すとその方向に画面を送ります。またこのとき、指を画面上ですべらせるように動かして画面を送ることもできます。この画面上で指をすべらせる動作のことを「フリック」といいます。

◀/▶を押して画面を送る。



または

フリックして画面を送る。



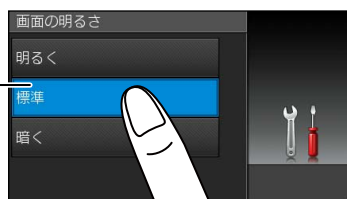
項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。

灰色表示は、続きがないことを示します。



項目の続きがあります。

ボタンを押すと設定が有効になります。



キーボードを押して入力します。



入力値を確定します。

重要

- タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

お願い

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や電源ボタンを押したあとしずには、操作パネルに触れないでください。エラーを引き起こすおそれがあります。本製品の操作は待ち受け画面が表示されてから行ってください。
- フリック操作を行うときは、指が画面に触れた状態で、ゆっくりスライドさせてください。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 操作パネル上の を押す



- ① 操作パネル上の を押すと、1 つ前の画面に戻すことができます。

2 【全てのメニュー】(1) を押す



メニュー画面が表示されます。

3 【基本設定】を押す



次の階層が表示されます。

4 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

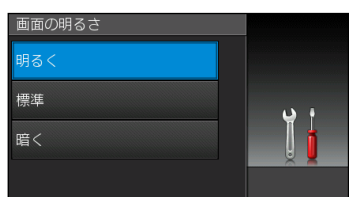


次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 希望の明るさを選ぶ



ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

用紙のセット

印刷品質は用紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った用紙を選んでください。
印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編「専用紙・推奨紙」

使用できる用紙

種類 (紙種 / 素材 / 形状)	坪量 (厚さ)	一度に セット できる 枚数 *1	サイズ			
			ファクス	コピー	デジカメ プリント	プリンター
●用紙トレイ 1/ 手差しトレイ						
普通紙	64g/m ² ～ 120g/m ² (0.08mm ～ 0.15mm)	250*2	A3 B4 (JIS) A4	A3 B4 (JIS) A4	A3 A4 2L 判 *4 L 判	A3 B4 (JIS) レジャー リーガル A4
インクジェット紙	64g/m ² ～ 200g/m ² (0.08mm ～ 0.25mm)	20	—	B5 (JIS) A5	2L 判 *4 L 判	B5 (JIS) A5 A6
光沢紙	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下) *3	20	—			US レター エグゼクティブ 2L 判 *4 L 判
OHP フィルム	(0.13mm 以下)	10	—	A4 A5 B5 (JIS)	—	A3 B4 (JIS) A4 B5 (JIS)
はがき	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	20	—	ハガキ	ハガキ	ハガキ
往復はがき (折っていないもの)	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	20	—	—	—	往復ハガキ
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)	(0.25mm 以下)	20	—	—	—	ポストカード
インデックスカード (127mm × 203.2mm)	120g/m ² 以下 (0.15mm 以下)	30	—	—	—	インデックス カード
封筒	75g/m ² ～ 95g/m ²	10	—	—	—	角形 2 号封筒 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 Com-10 DL 封筒
●用紙トレイ 2						
普通紙	64g/m ² ～ 105g/m ² (0.08mm ～ 0.15mm)	250*2	A3 B4 (JIS) A4	A3 B4 (JIS) A4	—	A3 B4 (JIS) レジャー リーガル A4 US レター

*1 用紙トレイに一度にセットできる枚数です。手差しトレイには、いずれの用紙も一度に 1 枚しかセットできません。

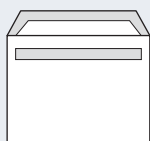
*2 80g/m² の用紙の目安です。実際には、トレイ内側の上限マーク (△の目印) を超えないようにセットしてください。

*3 ブラザー BP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m² ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。また、手差しトレイであれば、0.28mm までの光沢紙がご使用いただけます。

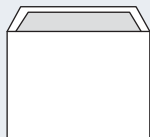
*4 127mm × 178mm

重要

- 指定された用紙でも、以下の状態の用紙は使用できません。
傷がついている用紙、カールしている用紙、シワのある用紙、留め金のついた用紙
- 指定以外の用紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。
- 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
 - ・ 窓付き封筒
 - ・ エンボス加工がされたもの
 - ・ 留め金のついたもの
 - ・ 内側に印刷がほどこされているもの
 - ・ ふたにのりが付いているもの



- ・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



お願い

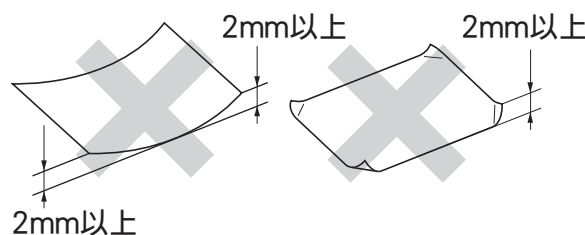
- 使用していない用紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。



カールしている用紙について

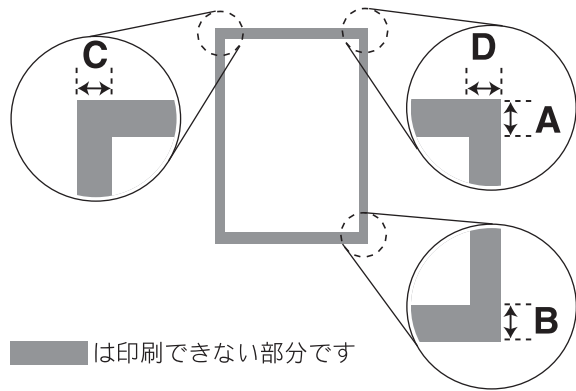
特に、はがきや光沢紙（L判、2L判）はカールしている場合があるため、曲がりや反りを直して使用してください。

カールしている用紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、用紙づまりが発生します。

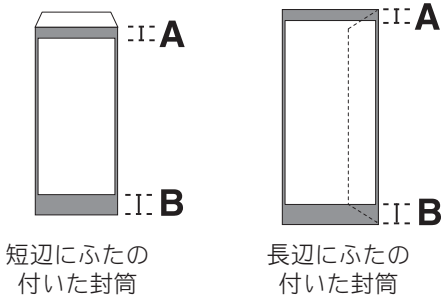


用紙の印刷範囲

用紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。



封筒の A、B の位置は下図のようになります。



(単位：mm)

用紙	A	B	C	D
A3/B4 (JIS) /A4/B5 (JIS) /A5/A6 レジャー/リーガル/US レター/ エグゼクティブ 2L 判/L 判 インデックスカード ポストカード ハガキ/往復ハガキ	3	3	3	3
角形 2 号封筒 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒	12	22	3	3
Com-10 封筒 DL 封筒	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値 (A、B、C、D) は、概算値です。この数値はお使いの用紙によっても変わることがあります。

用紙トレイ 1 にセットする

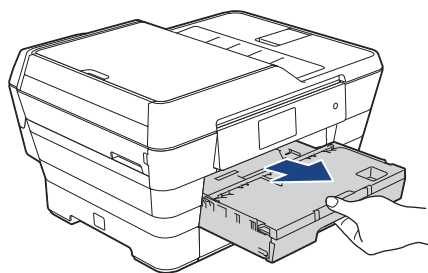
お願い

- 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
- インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。用紙の取扱説明書をお読みください。
- 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。
- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

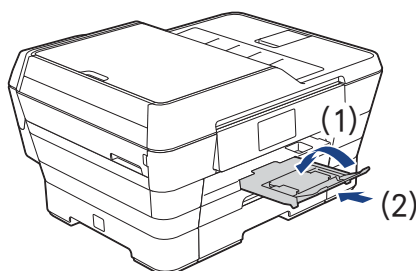
● 用紙のサイズによってセットする向きが異なります。

• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5	横方向
• A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • 往復ハガキ • ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒 (角形2号を除く)	縦方向
• A3 • B4 • レジャー • リーガル • 封筒 (角形 2 号)	縦方向 (トレイを拡張して使用)

1 用紙トレイ 1 を引き出す

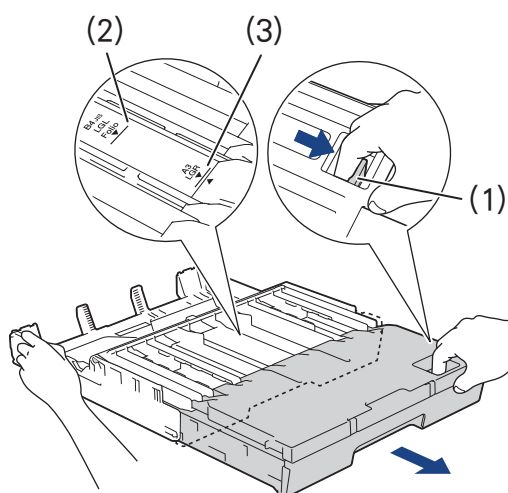


用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納 (2) してからトレイを引き出します。



2 A3、B4、レジャー、リーガルサイズ用の紙をセットする場合は、用紙トレイ 1 を引き伸ばす

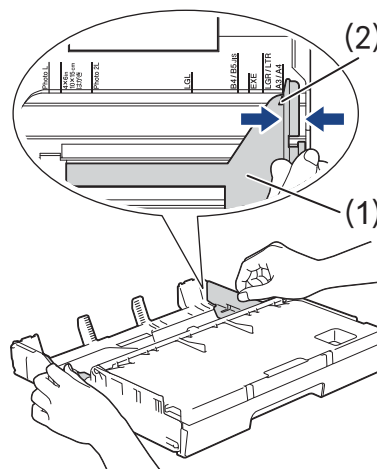
リリースボタン (1) をつまんだままトレイを引き伸ばして、トレイカバーの▲の目印を、B4 とリーガルサイズは (2) に、A3 とレジャーサイズは (3) の目盛りに合わせてみます。



用紙トレイ 2 を引き伸ばしてお使いの場合に、A4 または US レターサイズを用紙トレイ 1 にセットするときは、用紙トレイ 1 を引き伸ばします。
⇒ 17 ページ「用紙トレイ 2 にセットする」手順 12

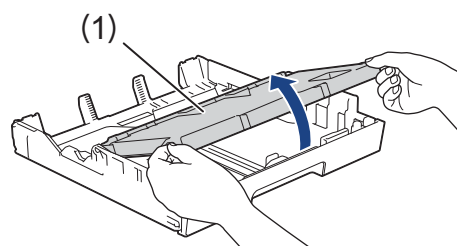
3 幅のガイド (1) の△の目印 (2) を、用紙サイズを目盛りに合わせて

幅のガイドは両手で動かしてください。

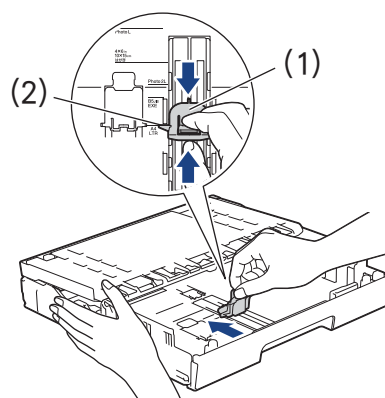


L 判サイズの用紙をセットする場合は、⇒ 手順 6 へ

4 トレイカバー (1) を開く



5 長さのガイド (1) の▽の目印 (2) を、用紙サイズを目盛りに合わせて



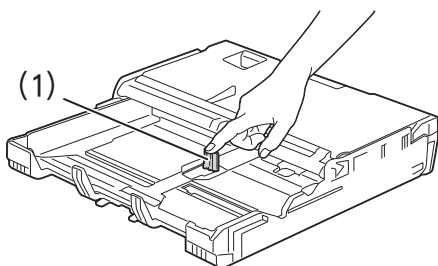
《第1章 はじめに》

ここから先の手順は、用紙の種類によって異なります。それぞれのタイトルに飛んでお読みください。

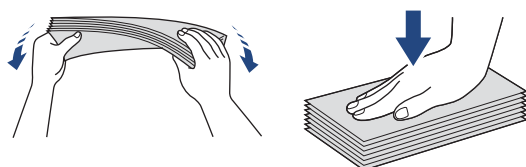
- L判サイズ用の紙
- A4サイズ以下の用紙（L判サイズを除く）
- A3、B4、レジャー、リーガルサイズの用紙

L判サイズの用紙

6 L判ストッパー（1）を起こす

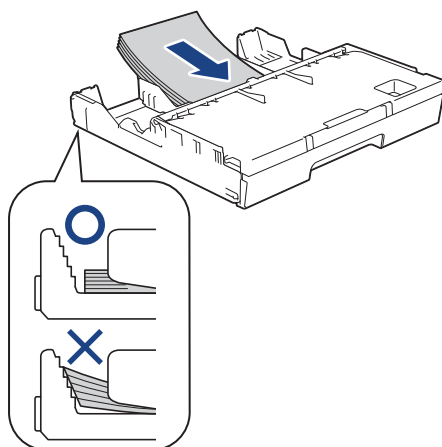


7 用紙にゆがみや折れがあればよくなり、上下左右をそろえる



8 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

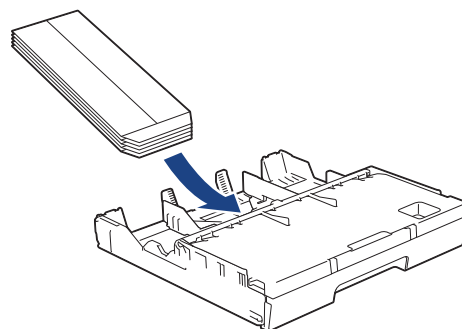


⇒手順 9 へ

A4サイズ以下の用紙（L判サイズを除く）

お願い

- インクジェット紙はがきと写真用光沢はがきは自動両面印刷できません。宛先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。
- 普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。
- 短辺にふたの付いた封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのある方向からセットしてください。



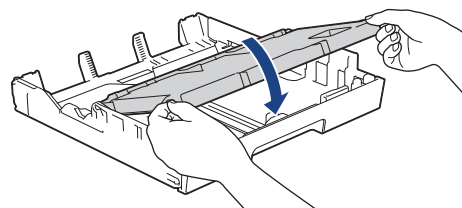
また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーで次の設定をしてください。

Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「[拡張機能] タブの設定」で [上下反転]

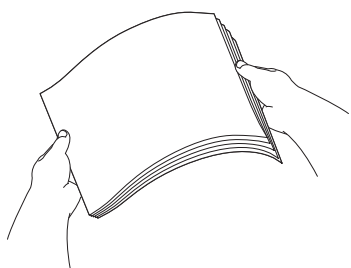
Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「レイアウト」で [ページの方向を反転]

- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、手差しトレイを使って、封筒を1枚ずつセットしてください。

6 トレイカバーを閉じる

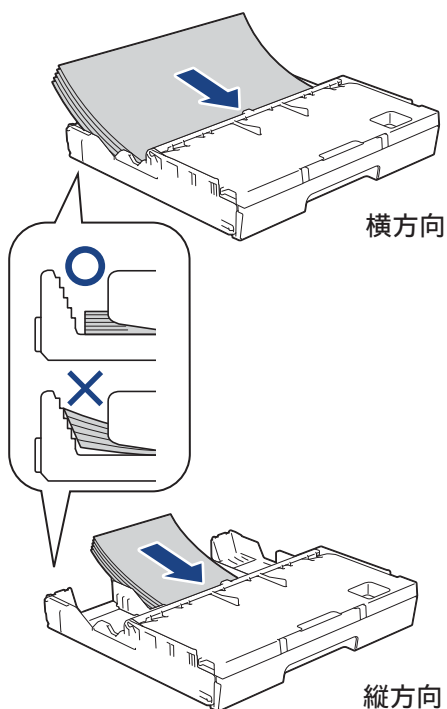


7 用紙をさばく



8 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

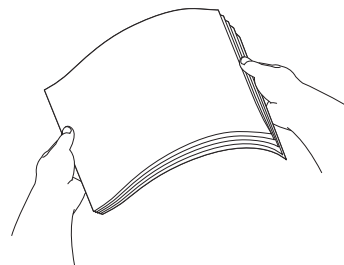
用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



⇒手順 9 へ

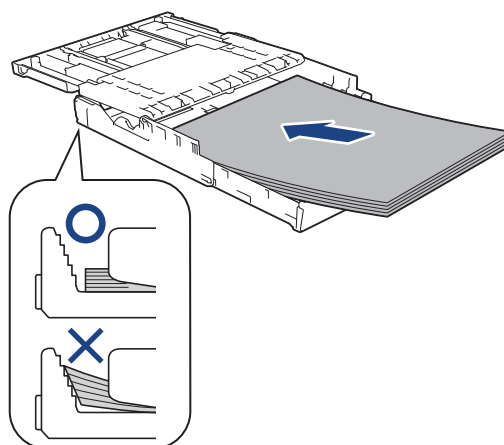
A3、B4、レジャー、リーガルサイズ の用紙

6 用紙をさばく

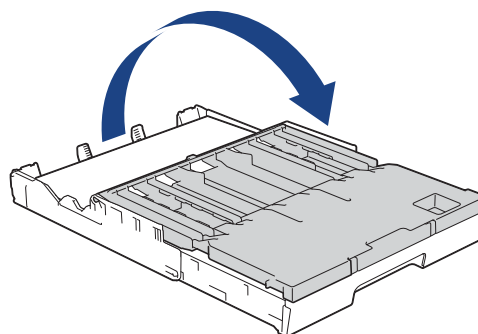


7 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



8 トレイカバーを閉じる



⇒手順 9 へ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

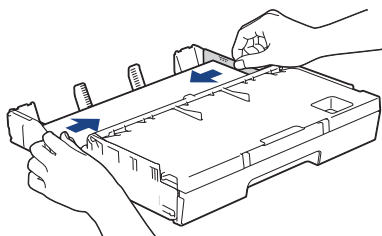
録
付

《第 1 章 はじめに》

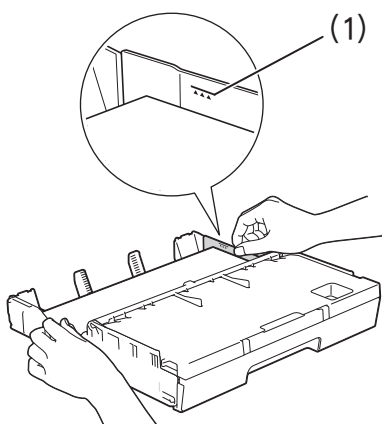
ここから先は、用紙の種類を問わず共通の手順になります。イラストは、A4 サイズを代表で使用しています。

9 幅のガイドを、用紙にぴったりと合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

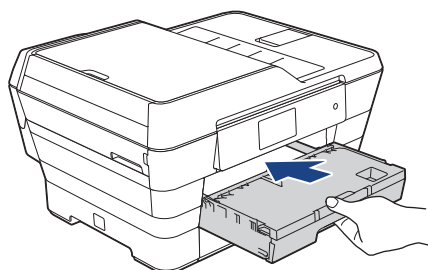


10 用紙がトレイ内側の△マーク (1) を超えていないことを確認する

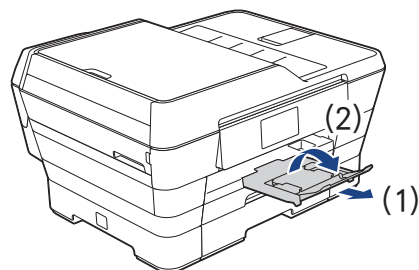


11 用紙トレイ 1 を元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。



12 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



13 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

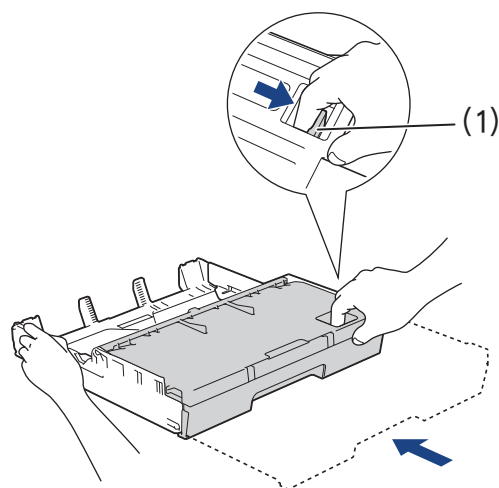
⇒ユーザズガイド 基本編「用紙トレイ 1 の用紙の種類とサイズを設定する」

⇒24 ページ「用紙トレイの設定をする」

 拡張したトレイを元に戻すには、以下の手順で行います。

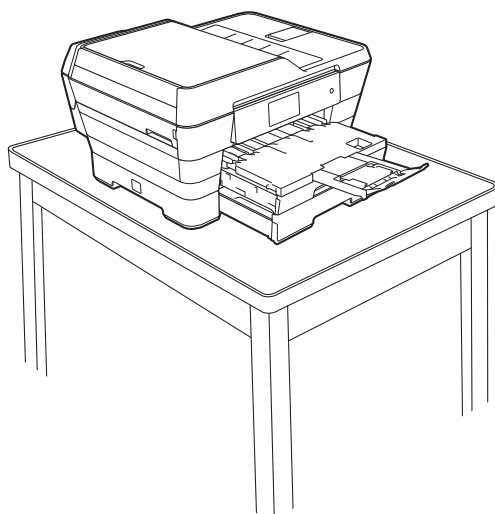
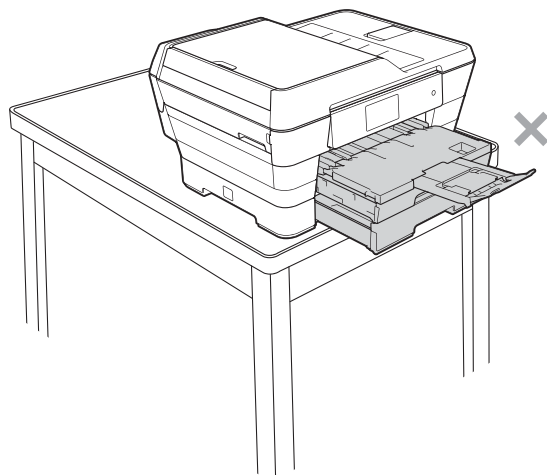
本体から用紙トレイ 1 を引き出し、トレイカバーを開いてセットされている用紙を取り除きます。

カバーを閉じ、リリースボタン (1) をつまんで、引き伸ばしたトレイを元の位置に戻します。



！ 注意

- A3 や B4 サイズなどの大きな用紙は、用紙トレイを拡張して使用します。その場合は、拡張した用紙トレイを含む本製品全体が収まる広さの、平らな場所に設置してください。拡張した用紙トレイは本体から突き出すため、設置面からはみ出していると、通りがかりにぶつかるなどして、けがや本製品の落下による事故につながるおそれがあります。



用紙トレイ 2 にセットする

お願い

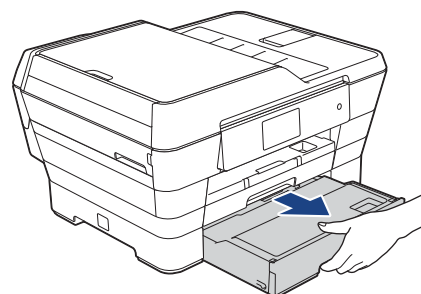
- 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。

- 用紙のサイズによってセットする向きが異なります。

• A4 • US レター	横方向
• A3 • B4 • レジャー • リーガル	縦方向（トレイを拡張して使用）

- 🔧 用紙サイズを変更した場合は、セットした用紙に合わせて設定を変更してください。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「用紙トレイ 2 の用紙サイズを設定する」
⇒ 24 ページ「用紙トレイの設定をする」

1 用紙トレイ 2 を引き出す



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

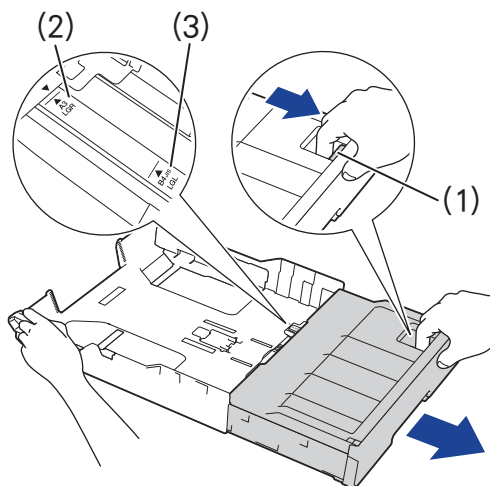
こんなときは

付録

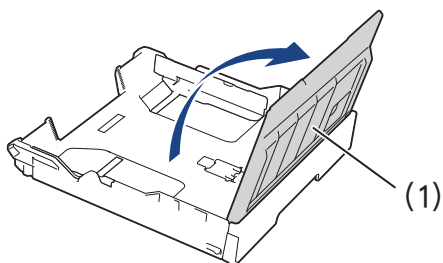
**2 A3、B4、レジャー、リーガルサイズ
の用紙をセットする場合は、用
紙トレイ 2 を引き伸ばす**

リリースボタン (1) をつまんだままトレイ
を引き伸ばし、トレイの▲の目印を用紙サ
イズの目盛りに合わせます。

▲の目印が用紙サイズと合っているか、カ
バーを開いて確認してください。A3 とレ
ジャーサイズは (2) に、B4 とリーガルサ
イズは (3) の目盛りに合わせます。

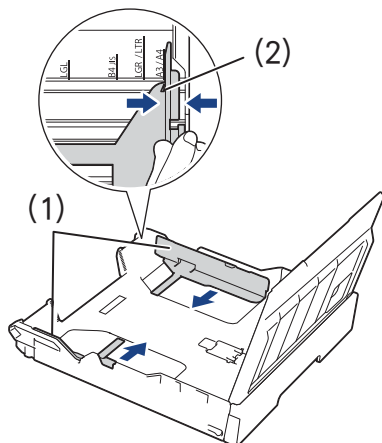


3 トレイカバー (1) を開く

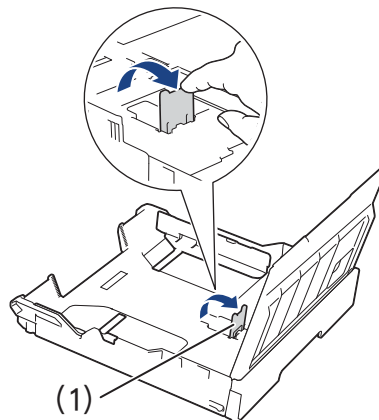


**4 幅のガイド (1) の△の目印 (2)
を、用紙サイズの見盛りに合わせる**

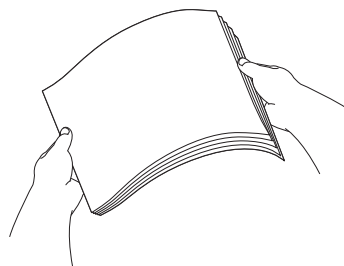
幅のガイドは両手で動かしてください。



**5 A4、US レターサイズの用紙を
セットする場合は、A4 ストッパー
(1) を起こす**

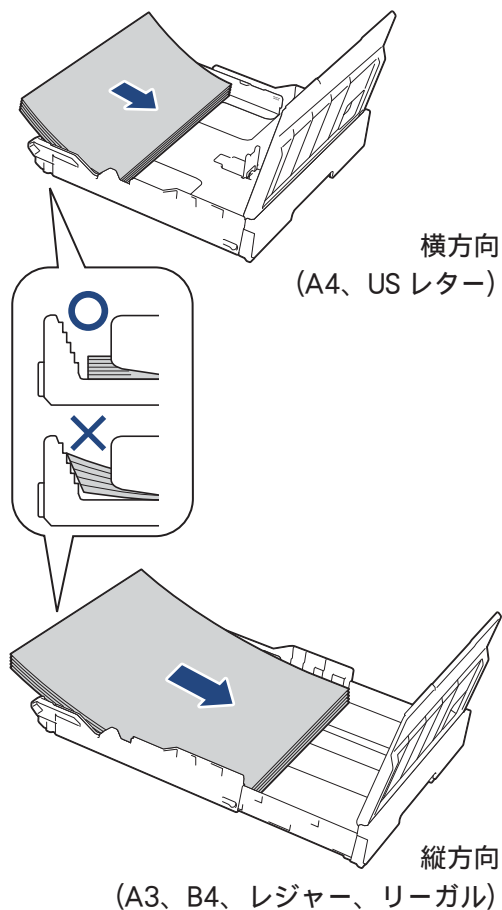


6 用紙をさばく



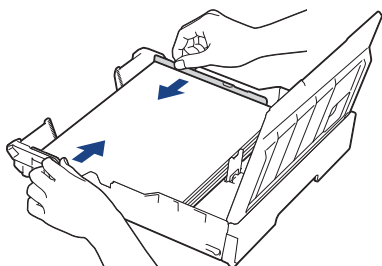
7 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

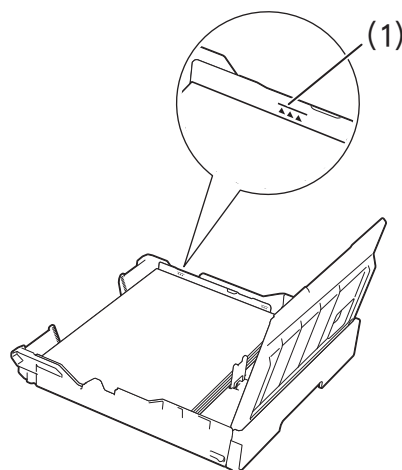


8 幅のガイドを、用紙にぴったりと合わせる

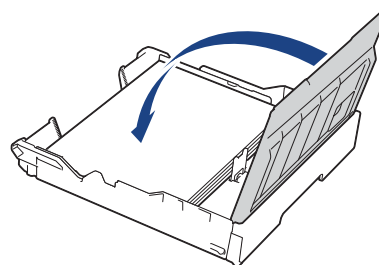
幅のガイドは両手で動かしてください。



9 用紙がトレイ内側の△マーク (1) を超えていないことを確認する

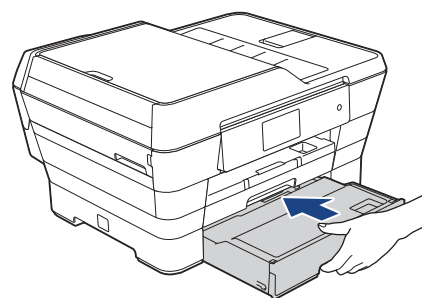


10 トレイカバーを閉じる



11 用紙トレイ 2 を元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。



A4、US レターサイズ of 用紙をセットした場合は⇒手順 13 へ
A3、B4、レジャー、リーガルサイズの用紙をセットした場合は、⇒手順 12 へ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

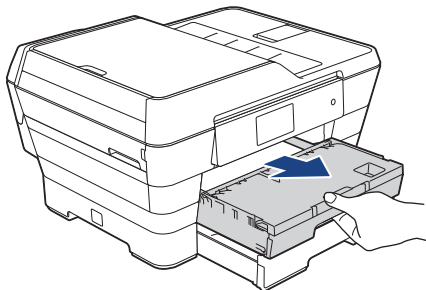
こんなときは

付録

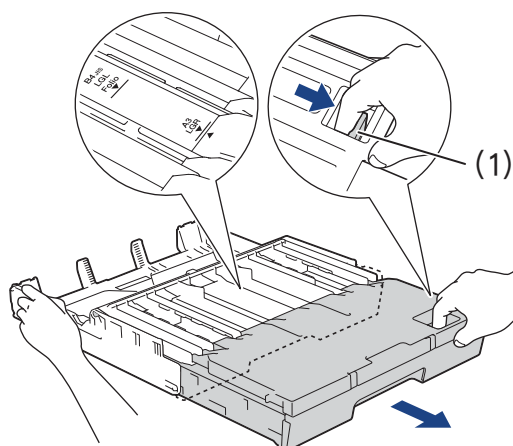
12 用紙トレイ 2 に A3、B4、レジャー、リーガルサイズ of 用紙をセットした場合は、用紙トレイ 1 を引き伸ばす

排紙時に用紙が落ちないように、用紙トレイ 1 も引き伸ばします。

(1) 用紙トレイ 1 を引き出す

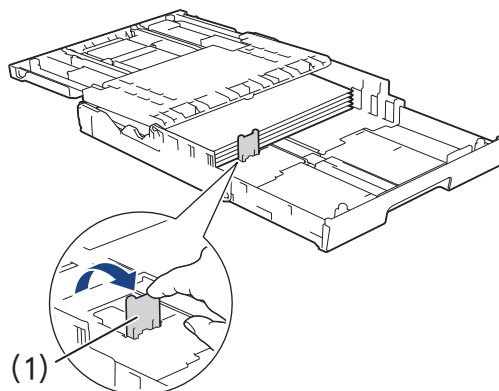


(2) リリースボタン (1) をつまんだまま、トレイを完全に引き伸ばす



(3) 用紙トレイ 1 に A4 または US レターサイズ of 用紙がセットされている場合は、トレイカバーを開いて、A4 ストッパー (1) を起こす

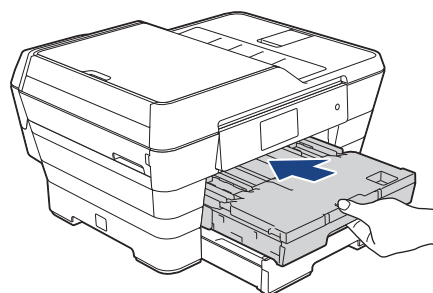
用紙をセットしたら、トレイカバーを閉じます。



 A4、US レターサイズより小さいサイズ of 用紙は、用紙トレイを引き伸ばした状態でセットすることはできません。

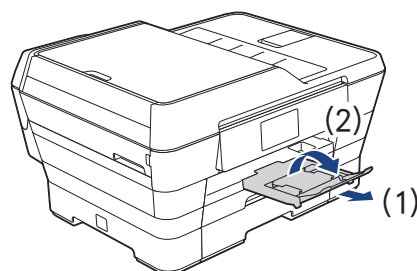
(4) 用紙トレイ 1 を元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。

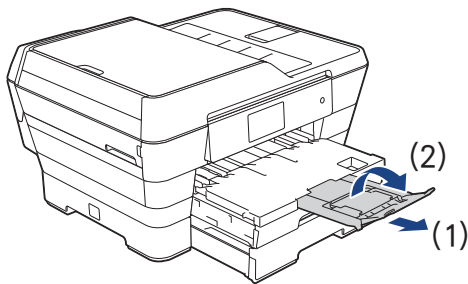


13 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)

- 用紙トレイ 2 に、A4、US レターサイズ of 用紙をセットした場合



- 用紙トレイ 2 に、A3、B4、レジャー、リーガルサイズ of 用紙をセットした場合



14 必要に応じて、用紙のサイズを設定する

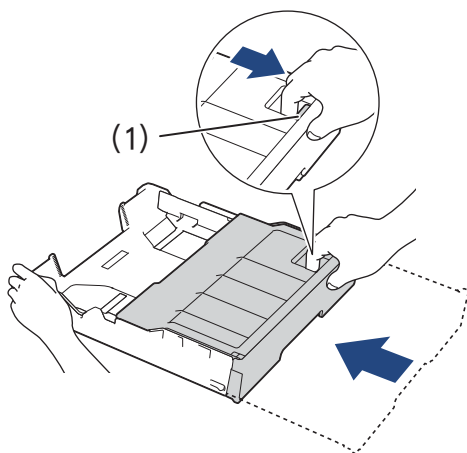
⇒ユーザーズガイド 基本編「用紙トレイ 2 の用紙サイズを設定する」

⇒24 ページ「用紙トレイの設定をする」

 拡張したトレイを元に戻すには、以下の手順で行います。

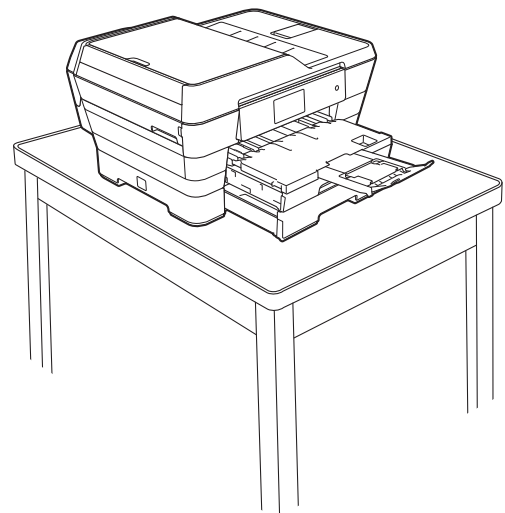
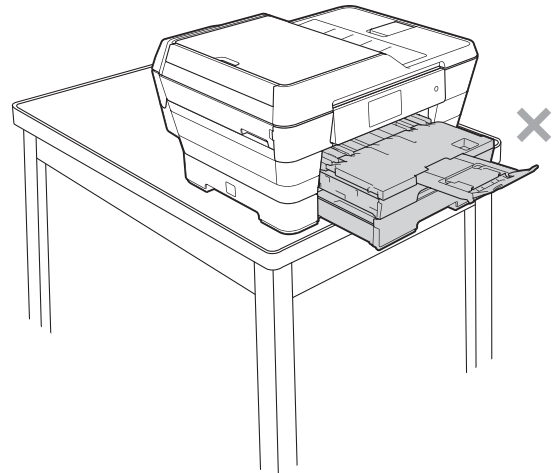
本体から用紙トレイ 2 を引き出し、トレイカバーを開いてセットされている用紙を取り除きます。

カバーを閉じ、リリースボタン (1) をつまんで、引き伸ばしたトレイを元の位置に戻します。



！ 注意

- A3 や B4 サイズなどの大きな用紙は、用紙トレイを拡張して使用します。その場合は、拡張した用紙トレイを含む本製品全体が収まる広さの、平らな場所に設置してください。拡張した用紙トレイは本体から突き出すため、設置面からはみ出していると、通りがかりにぶつかるなどして、けがや本製品の落下による事故につながるおそれがあります。



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

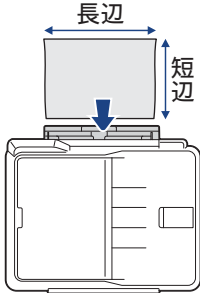
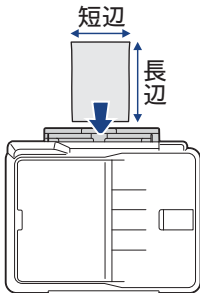
こんなときは

付録

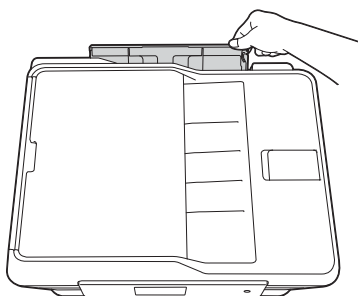
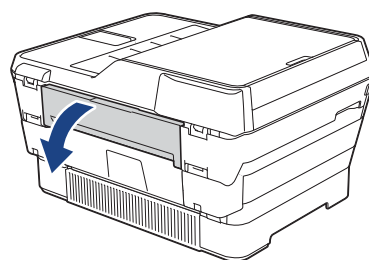
手差しトレイにセットする

用紙トレイの用紙を入れ替えることなく、すぐに 1 枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての用紙がセットできます。一度にセットできるのは 1 枚です。

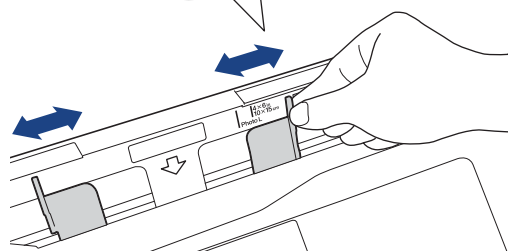
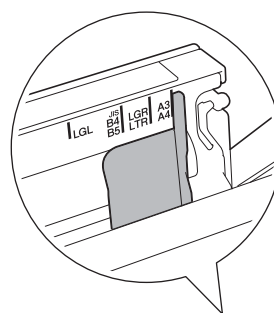
● 用紙のサイズによってセットする向きが異なります。

• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5	横方向  真上から見たところ
• A3 • B4 • レジャー • リーガル • A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • 往復ハガキ • ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒	縦方向  真上から見たところ

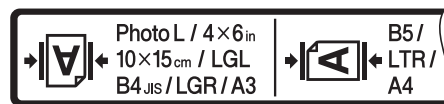
1 背面の手差しトレイを開く



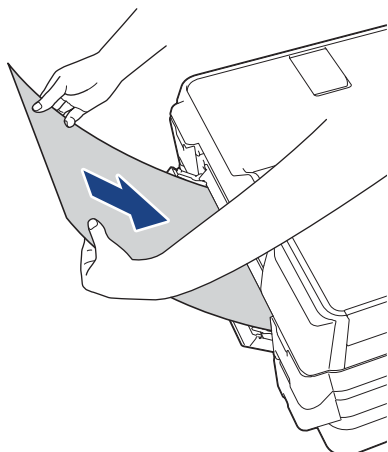
2 ガイドをつまんで動かし、用紙のサイズの目盛りに合わせて



手差しトレイの右側にセット方向を示すラベルがありますので、方向を確認しながらガイドを動かしてください。



3 印刷する面を上にして、用紙を 1 枚だけセットする

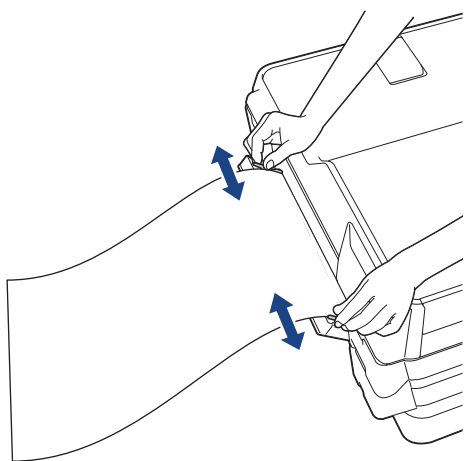


お願い

- 用紙を 2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙トレイからの印刷中に、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

4 ガイドを用紙のサイズに合わせる

用紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。



お願い

- ガイドで用紙を強くはさまないでください。用紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- 中央にセットされなかった場合は、用紙をいったん取り出してセットし直してください。

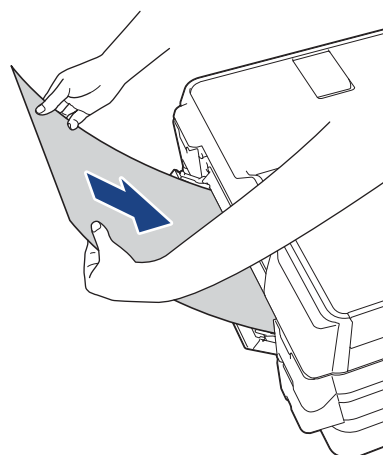
5 両手で用紙を挿入し、用紙が奥に当たるまで差し込む

用紙が奥に当たって、用紙が本製品に少し引き込まれたら手を離してください。

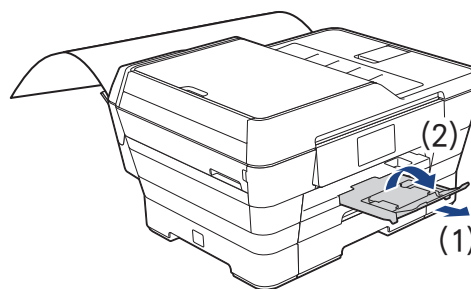
画面に【手差しトレイに用紙がセットされました】と表示されます。

お願い

- 封筒や厚紙は、本製品に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで、まっすぐに差し込んでください。



6 用紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



用紙の準備ができました。印刷（またはコピー）をスタートします。

- ☞ 印刷が終了してから手差しトレイを閉じてください。
- ☞ 用紙が手差しトレイにセットされていると、常に手差しトレイから給紙されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

用紙トレイの設定をする

【用紙トレイ設定】

コピー、ファックスのときに使用する用紙トレイをあらかじめ選択できます。

コピーのときに使うトレイを選択する

コピーのときに使用する用紙トレイを選択します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、 【用紙トレイ設定】、【トレイ選択： コピー】を順に押す

3 使用するトレイを選ぶ

- 【用紙トレイ #1】
常に用紙トレイ 1 を使用します。
- 【用紙トレイ #2】
常に用紙トレイ 2 を使用します。
- 【トレイ自動選択】
コピーモードの設定に合わせて、本製品が最適なトレイを選びます。

4 を押して設定を終了する

ファックスのときに使うトレイを選択する

ファックスのときに使用する用紙トレイを選択します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、 【用紙トレイ設定】、【トレイ選択： ファックス】を順に押す

3 使用するトレイを選ぶ

- 【用紙トレイ #1】
常に用紙トレイ 1 を使用します。
- 【用紙トレイ #2】
常に用紙トレイ 2 を使用します。
- 【トレイ自動選択】
受信したファックスに合わせて、本製品が最適なトレイを選びます。

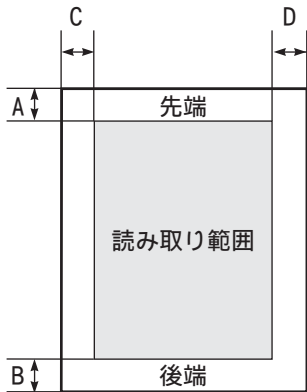
-  【トレイ自動選択】に設定すると、通常は用紙トレイ 1 を使用し、次の場合に用紙トレイ 2 を使用します。
- 用紙トレイ 1 と用紙トレイ 2 の用紙サイズが同じ設定の場合で、用紙トレイ 1 に普通紙がセットされていない。または、用紙トレイ 1 に用紙がない
 - 用紙トレイ 1 の用紙サイズがファックスの受信サイズに適していない

4 を押して設定を終了する

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

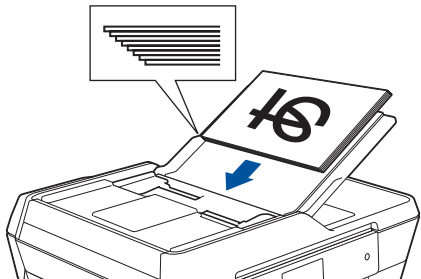
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



(単位：mm)

機能	原稿サイズ	A	B	C	D
ファクス	A3、B4	3		4.5	
	A4	3		原稿台ガラス：3 ADF（自動原稿送り装置）：1	
コピー	セット可能な全てのサイズ	3		3	
スキャン		2		2	

【ADF 高速モード】を使って、A4 サイズや B5 サイズの原稿をコピーまたはスキャンする場合は、原稿を横向き（原稿の長辺を ADF（自動原稿送り装置）に挿入）にセットします。



【ADF 高速モード】については、下記をご覧ください。

- コピー⇒50 ページ「設定を変えてコピーするには」
- スキャン⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

ファクス送受信テストをする

ファクスを送受信できるかを、弊社専用回線でテストできます。
下記テスト用ファクス番号にファクスを送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスをお送りします。

テスト用ファクス番号 : 052-824-4773

発信者番号を非通知で送信すると、自動返信されません。ファクス番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

第 2 章

お好みで設定する

日付と時刻を設定する	28	電話 / ファクス回線のいろいろな接続	43
タイムゾーンを変更する	29	ひかり電話をご利用の場合	44
音量を設定する	30	ADSL をご利用の場合	44
画面の設定を変更する	31	IP 電話などの IP 網をご利用の場合	45
ホーム画面を選ぶ	31	ISDN をご利用の場合	45
画面の明るさを設定する	31	電話番号が 1 つの場合	45
表示言語を「英語」に変更する	32	電話番号が 2 つの場合	45
電力を節約する	33	デジタルテレビを接続する場合	45
スリープモードに入る時間を設定する	33	構内交換機 (PBX) ・ビジネスホン	
印刷音を軽減する	34	ご利用の場合	46
お気に入り登録	35	本製品の外付け電話としてビジネスホンを	
お気に入り機能や設定条件を登録する	35	接続する	46
登録したお気に入りを呼び出す	37	本製品を構内交換機 (PBX) の内線電話として	
お気に入りを編集する	37	使用する	46
お気に入りの登録名を変更する	37		
お気に入りの設定条件を変更する	37		
登録したお気に入りを削除する	37		
セキュリティ機能ロックを設定する	38		
セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する	39		
管理者パスワードを登録する	40		
管理者パスワードを登録する	40		
管理者パスワードを変更する	40		
ユーザーを登録する	40		
セキュリティ機能ロックをオン / オフにする	41		
セキュリティ機能ロックをオンにする	41		
セキュリティ機能ロックをオフにする	41		
ユーザーを切り替える	41		
電話 / ファクス回線種別を設定する	42		

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、発信元登録をしてあればファクスを送信したときに相手側の用紙にも印刷されます。

発信元登録について、詳しくは⇒ユーザーズガイド 基本編「発信元を登録する」

1 を押す

2 画面右上の日付部分 (1) を押す



3 【日付】を押す

年の入力画面が表示されます。



4 画面に表示されているテンキーで西暦の下2桁を押し、【OK】を押す

2016 年の場合は、【1】【6】と押します。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を2桁で押し、【OK】を押す

1 月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を2桁で押し、【OK】を押す

21 日の場合は、【2】【1】と押します。

7 【時刻】を押す

時刻の入力画面が表示されます。

8 画面に表示されているテンキーで時刻を24時間制で押し、【OK】を押す

午後0時45分の場合は、
【1】【2】【4】【5】と押します。

9 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



タイムゾーンを変更する

タイムゾーン設定とは、世界標準時間と日本時間の時差の設定です。お買い上げ時は、日本国用のタイムゾーン（時差+ 9 時間）が設定されているので、特に設定し直す必要はありません。

1 を押す

2 画面右上の日付部分 (1) を押す



3 【タイム ゾーン】を押す

4 画面に表示されているテンキーで【0】、【9】と押す

世界標準時間に対し日本は9時間早いため、09:00の前に「+」が表示されていることを確認してください。世界標準より早いか遅いかは【+/-】で切り替えることができます。

 時刻の前に表示されている「UTC」は、協定世界時（Universal Time, Coordinated）のことで、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な国際標準時として使用されています。

5 【OK】を押す

時差+ 9 時間が設定されます。

6 を押して設定を終了する

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【音量】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 変更したい音を選ぶ

- 【着信音量】：
着信時のベルの音量を調整します。
- 【ボタン確認音量】：
操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。
- 【スピーカー音量】：
オンフック時の音量を調整します。

4 好みの音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

5 必要に応じて手順③、④を繰り返し、他の音も調整する

6 を押して設定を終了する

 着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。

- 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という再呼出音

 ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

ホーム画面を選ぶ

【ホームボタン設定】

MFC-J6973CDWは3タイプ5画面、MFC-J6990CDWは3タイプ6画面の中から自分が最も使う画面を選んで設定し、これをホーム画面とします。設定後は、を押したり無操作で時間が経過すると、ここで選んだホーム画面に戻ります。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【ホームボタン設定】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 好みの画面を選ぶ

- MFC-J6973CDW
【基本／便利な機能／お気に入り 1／お気に入り 2／お気に入り 3】から選びます。
 - MFC-J6990CDW
【基本／便利な機能 1／便利な機能 2／お気に入り 1／お気に入り 2／お気に入り 3】から選びます。
- お気に入りへの登録は別途行います。
⇒ 35 ページ「お気に入りを登録する」

4 を押して設定を終了する

画面の明るさを設定する

【画面の設定】

画面の明るさと、バックライトを暗くするまでの時間を設定できます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 変更したい項目を選ぶ

- 【画面の明るさ】：
画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウタイマー】：
画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなくても画面の表示は確認できます。）

4 目的の設定を選ぶ

- 画面の明るさ：
【明るく／標準／暗く】から選びます。
- 照明ダウタイマー：
【切／10秒／20秒／30秒】から選びます。

5 必要に応じて、手順③、④を繰り返し、画面設定を変更する

6 を押して設定を終了する

表示言語を「英語」に変更する

【表示言語設定】

画面の表示言語を英語に切り替えることができます。

- 1  を押す
- 2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】、【英語】を順に押す**
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3  を押して設定を終了する

電力を節約する

スリープモードに入る時間を設定する

【スリープモード】

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。

1  を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、
【スリープモード】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 希望の時間を選ぶ

【1分／2分／3分／5分／10分／30分／60分】から選びます。

4  を押して設定を終了する

印刷音を軽減する

静音モードを【オン】に設定すると、印刷速度を遅くして印刷音を減らすことができます。

- 1  を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、
【静音モード】を順に押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【オン】を押す
- 4  を押して設定を終了する

お気に入り登録する

「お気に入り」としてお好みの設定条件を登録することができます。

お気に入りには「1」～「3」があります。登録するときは「1」にファクス、「2」にコピー、「3」にスキャンというような機能別にしたり、「1」「2」「3」を使用者ごとに割り当てるなどして、あとでわかりやすいようにご利用ください。

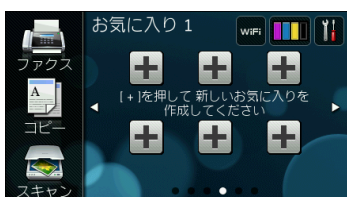
お気に入りに登録できるメニューおよび設定条件は次の通りです。設定条件を変更すると、さらに細かくお気に入りを登録できます。

機能	第1選択項目（メニュー）	第2選択項目（設定条件）
コピー	標準、高画質、ADF 高速モード、A3 等倍、片面⇒両面、両面⇒両面、A4 ⇒ A3 拡大、2in1（ID カード）、2in1、ポスター、インク節約、ブック	ADF 高速モード、コピー画質、用紙タイプ、用紙サイズ、用紙トレイ選択、拡大/縮小、コピー濃度、スタック/ソート、レイアウト コピー、レイアウト選択、傾き補正、両面コピー、便利なコピー設定
ファクス	相手先の電話番号	ファクス画質、両面ファクス、原稿濃度、ガラス面読取サイズ、同報送信、みてから送信、カラー設定、リアルタイム送信、海外送信モード
スキャン	ファイル OCR イメージ E メール添付	PC 名
	メディア	ADF 高速モード、両面スキャン、カラー設定、解像度、ファイル形式、スキャンサイズ、ADF 長尺原稿モード、ファイル名、おまかせ一括スキャン、ADF 傾き補正（MFC-J6990CDW のみ）、白紙除去、地色除去
	E メール送信 ^{*1}	相手先の E メールアドレス、ADF 高速モード、両面スキャン、カラー設定、解像度、ファイル形式、スキャンサイズ、ADF 長尺原稿モード
	ネットワーク FTP サーバー	プロファイル名
クラウド	ウェブサービスに、スキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができる機能をお気に入りに登録することができます。クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）	

^{*1} MFC-J6973CDW は、インターネットファクス機能のソフトウェアをインストールした場合に表示されます。

お気に入りに機能や設定条件を登録する

- 1 左右にフリックするか、◀/▶を押して、待ち受け画面を【お気に入り 1 (2) (3)】にする
- 2 未登録の  を押す



3 登録したい機能を選ぶ

【コピー/ファクス/スキャン/クラウド】から選びます。

コピーを選んだ場合

4 【OK】を押す

5 コピーメニューを選ぶ

6 必要に応じて設定条件を変更する

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

ファクスを選んだ場合

4 【OK】を押す

同報送信をお気に入り登録する場合は、このあと【設定変更】、【同報送信】を順に押し、送信先をすべて選択後、手順 7 に進みます。

5 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

【電話帳】または【履歴】から相手先を選ぶ場合は、【送信先に設定】または【送信先に設定】 / 【設定】と表示された画面で【送信先に設定】を押して番号を確定させます。

- 設定条件を変更する場合は、【設定変更】を押す
- 設定条件を変更しない場合は、⇒手順 7 へ

6 設定条件を変更し、【OK】を押す

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

スキャンを選んだ場合

スキャン機能をお気に入りに登録する場合は、あらかじめ以下のように準備をしておいてください。

- ファイル / OCR / イメージ / E メール添付：
本製品をパソコンに接続してください。
- メディア：
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットしてください。
- ネットワーク / FTP サーバー：
本製品をパソコンのネットワークに接続してください。

4 スキャンメニューを選ぶ

メニューが表示されていないときは上下にフリックするか、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

5 【OK】を押す

6 選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する

- ファイル / OCR / イメージ / E メール添付：
保存するパソコンを選び、【OK】を押します。⇒手順 8 へ

- メディア：
ファイルの保存条件を変更したい場合は【設定変更】を押して設定し直し、【OK】を押します。灰色表示される項目は設定できません。⇒手順 7 へ
- E メール送信：
(MFC-J6973CDW は、インターネットファクス機能のソフトウェアをインストールした場合に表示されます。)
【手動入力】または【電話帳】から相手先の E メールアドレスを入力または選択し、【OK】を押します。設定条件を変更したい場合は【設定変更】を押して設定し直し、【OK】を押します。灰色表示される項目は設定できません。⇒手順 7 へ
- ネットワーク / FTP サーバー：
プロファイル名を選び、【OK】を押します。プロファイル名は、パソコンのウェブブラウザからあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは、ユーザーズガイドパソコン活用編「スキャンキー操作（共通編）」をご覧ください。⇒手順 8 へ

クラウドを選んだ場合

クラウドをお気に入りに登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）からダウンロードできます。）

4 【OK】を押す

 を押すと、設定は中断されます。

5 クラウド サービスを選ぶ

メニューが表示されていないときは左右にフリックするか、◀ / ▶ を押して画面を送ります。

6 アカウントを選択して、【OK】を押す

アカウントが PIN コードを必要とする場合は、PIN コードも入力してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

⇒手順 8 へ

7 設定できたら【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

8 画面に表示されたキーボードで名前を入力して、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り 01 など）はいったん消してください。
⇒ 144 ページ「文字の入力方法」

【ファクス】を登録した場合は、登録した相手先が電話帳にも反映されるため【ヨミガナ】の編集画面が表示されます。必要に応じて読みがなを編集し、【OK】を押してください。

9 【OK】を押して登録を終了する

登録したお気に入り呼び出す

1 左右にフリックするか、◀/▶を押して、待ち受け画面を【お気に入り 1 (2) (3)】にする

2 呼び出したいお気に入りを押す



画面に設定条件が表示されます。スタートキーを押すと機能を実行できます。

お気に入りを編集する

お気に入りの登録名を変更する

1 待ち受け【お気に入り 1 (2) (3)】画面で、名前を編集したいお気に入りを 2 秒以上押す

2 【お気に入り名の編集】を押す

3 を押して古い名前を消去する
長押しすると登録名は一度に消去されます。

4 画面に表示されたキーボードで名前を再入力して、【OK】を押す

お気に入りの設定条件を変更する

1 変更したいお気に入りを呼び出す
⇒ 37 ページ「登録したお気に入り呼び出す」

2 設定条件を変更する
機能により、変更画面が違います。
⇒ 35 ページ「お気に入りを登録する」

このあと設定条件を保存せずにスタートすると、変更を一時的に有効にして機能を実行できます。

3 【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

4 【はい（上書き）】を押す

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。名前をつけて保存してください。

5 【OK】を押して設定を終了する

登録したお気に入りを削除する

1 待ち受け【お気に入り 1 (2) (3)】画面で、削除したいお気に入りを 2 秒以上押す

2 【消去】を選ぶ

3 【はい】を押す

セキュリティ機能ロックを設定する

管理者が「ユーザー名 (ID 名)」と「パスワード」を登録して利用者に割り振り、利用できる機能をユーザーごとに制限することができます。セキュリティ機能ロックは、初期の設定や利用制限管理をネットワーク上のパソコンから行うため、本製品もネットワークに接続されている必要があります。ご利用になる場合は、本製品をいったんネットワークに接続してください。⇒[かんたん設置ガイド](#)
設定後は、本製品単独でセキュリティ機能ロックのオン/オフを切り替えたり、ユーザーを切り替えたりできます。制限がかけられる機能は次のとおりです。

- PC プリント
- コピー
- スキャン
- ファクス送信
- ファクス受信
- メディア：プリント
- メディア：スキャン
- クラウド接続 アップロード
- クラウド接続 ダウンロード
- 印刷の枚数制限
- カラープリント

-  管理者だけが各ユーザーの機能ロックのオン/オフ、制限管理、変更を行えます。設定または変更するには、管理者パスワードが必要です。パスワードを忘れた場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
-  セキュリティ機能ロックを利用する場合は、個別ユーザー以外の一般ユーザー用に、「一般モード」の利用制限を設定してください。
-  セキュリティ機能ロックがオンの場合でも、【ファクス画質 / 両面ファクス / 原稿濃度 / ガラス面読取サイズ / 同報送信 / みてから送信 / カラー設定 / タイマー送信 / とりまとめ送信 / リアルタイム送信 / 海外送信モード / ポーリング送信・受信（ファクス送信とファクス受信の両方を利用制限せず、有効にしているときのみ）】は設定できます。ただし、すべてのユーザーにファクス送信が制限されている場合は、すべてのファクス設定がロックされます。
-  ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、受信ファクスはメモリーに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

ネットワーク上のパソコンでウェブブラウザを起動し、セキュリティ機能ロックの設定画面を表示させます。

ここで設定するパスワードは、本製品の設定画面を表示するためのものです。セキュリティ機能ロックの管理者パスワードではありません。

1 本製品の IP アドレスを調べる

設定には、本製品の IP アドレス情報が必要です。あらかじめ、「ネットワーク設定リスト」を印刷して、IP アドレスをご確認ください。
⇒ 142 ページ「本製品の設定内容や機能を確認する」

2 パソコンでウェブブラウザを起動する

3 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

例：192.168.1.2 の場合は、「<http://192.168.1.2/>」と入力します。

4 [ログイン] にパスワードを入力し、→をクリックする



はじめて設定画面を表示したときは、ここでパスワードを設定します。
パスワードを設定してください。

- (1) [パスワードを設定してください] をクリックする
- (2) [新しいパスワードの入力] にパスワードを入力する
32 文字まで入力できます。
- (3) [新しいパスワードの確認] に、パスワードをもう一度入力する
- (4) [OK] をクリックする

5 [管理者設定] タブー [セキュリティ機能ロック] をクリックする



セキュリティ機能ロックの設定画面が表示されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

管理者パスワードを登録する

管理者パスワードを登録する

「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」(⇒ 39 ページ) で設定画面を表示したあと、管理者パスワードを登録します。

セキュリティ機能ロックは、パスワードを知る管理者だけが設定できます。

パスワードを変更することもできます。

- 1 **セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する**
⇒ 39 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」
- 2 **【新しいパスワードの入力】に、管理者パスワードを4桁の数字で入力する**
- 3 **【新しいパスワードの確認】に、管理者パスワードをもう一度入力する**
- 4 **画面下部の【OK】をクリックし、管理者パスワードを登録する**

 パスワードを忘れた場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

管理者パスワードを変更する

- 1 **セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する**
⇒ 39 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」
- 2 **【新しいパスワードの入力】に、新しい管理者パスワードを4桁の数字で入力する**
- 3 **【新しいパスワードの確認】に、新しい管理者パスワードをもう一度入力する**
- 4 **画面下部の【OK】をクリックする**

ユーザーを登録する

一般モードと個別のユーザーを登録します。個別のユーザーは10人（ユーザー）まで登録できます。それぞれ名前とパスワード、利用できる機能を設定してください。セキュリティ機能ロックを【オン】にすると、個別のユーザーに切り替えない限り、本製品は常時一般モードとなります。

- 1 **セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する**
⇒ 39 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」
- 2 **【セキュリティ機能ロック】の【オン】をクリックする**
- 3 **【一般モード】で制限したい機能のチェックを外す**
一般モードは、本製品を利用するときにパスワード入力を必要としないモードです。
- 4 **未登録のユーザーを選び、【制限ID番号 / ID名】に、ユーザー名を入力する**
7文字まで入力できます。
- 5 **【パスワード】に、このユーザー用のパスワードを4桁の数字で入力する**

 他のユーザーと同じパスワードは設定できません。
- 6 **このユーザーに制限したい機能のチェックを外す**
印刷できるページ枚数を制限するには、[印刷制限]の【オン】にチェックを入れて、[最大ページ数]に枚数を入力します。
- 7 **必要に応じて、手順④～⑥を繰り返し、他のユーザーを登録する**
- 8 **画面下部の【OK】をクリックして登録を終了する**

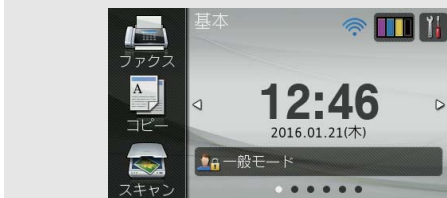
セキュリティ機能ロックをオン / オフにする

セキュリティ機能ロックをオンにする

セキュリティ機能ロックをオンにすると、一般モードが有効になります。個別ユーザーの設定を有効にするには、⇒41 ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

- 1  を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【セキュリティ 機能ロック】を押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【ロック オフ⇒オン】を押す
- 4 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを4桁の数字で入力し、【OK】を押す

セキュリティ機能ロックがオンに設定されます。



セキュリティ機能ロックをオフにする

- 1 待ち受け画面の  一般モード または  XXXXXX を押す
×××は現在の個別ユーザーの登録名です。
- 2 【ロック オン⇒オフ】を押す
- 3 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを4桁の数字で入力し、【OK】を押す

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックがオンのときに、登録されている個別のユーザーが本製品を使用できるように切り替えます。

- 1 待ち受け画面の  一般モード または  XXXXXX を押す
×××は現在の個別ユーザーの登録名です。
- 2 【ユーザー切替】を押す
- 3 切り替えたいユーザーを選ぶ
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 4 画面に表示されているテンキーで、このユーザー用に設定されたパスワードを入力し、【OK】を押す

-  一般モードに戻るには、 XXXXXX を押し、【一般モードへ切替】を押します。
-  個別のユーザーが本製品を使用したあと、一般モードに戻さず放置しても、1分後に自動で一般モードに戻ります。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

電話 / ファクス回線種別を設定する

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

- 1 【ファクス】、【オンフック】を順に押し、「ツー」という音が聞こえることを確認する

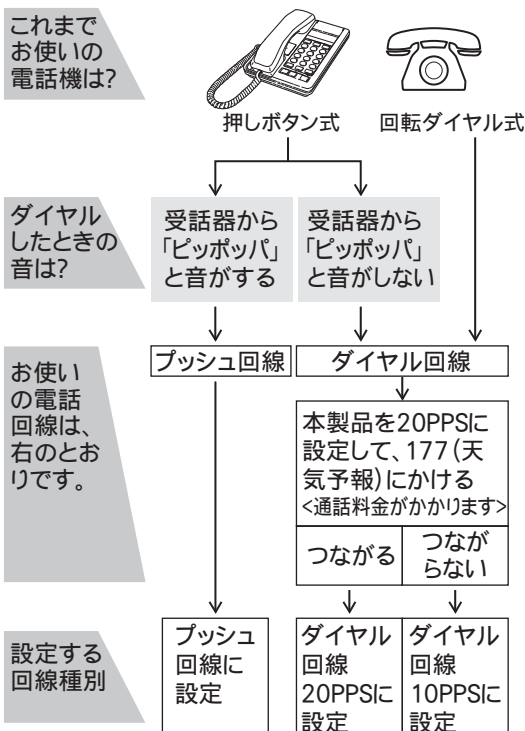
お願い

■ みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合は、【ファクス】、【ファクス送信】、【オンフック】の順に押し確認してください。

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
⇒かんたん設置ガイド
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

- 2 【オンフック】を押して回線を切り、を押す

- 3 回線種別を確認する



- 4 を押す

- 5 【全てのメニュー】、【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

- 6 回線種別を選ぶ

- ☞ 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ回線】、【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
- ☞ ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

- 7 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります)

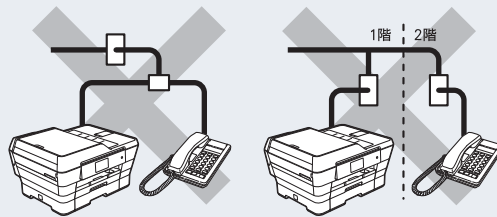
電話 / ファクス回線のいろいろな接続

本製品をファクスとして使用したり、本製品に外付け電話を接続してファクスや電話を使用したりする場合のいろいろな接続を説明します。

重要

- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
 ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
- ・ ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
 - ・ 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
 - ・ コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えるようになる可能性があります。
 - ・ 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
 - ・ 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
 - ・ ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
 - ・ パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

ブランチ接続（並列接続）



 ブランチ接続（並列接続）とは、一つの電話回線を分岐して複数台の電話機を接続することです。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

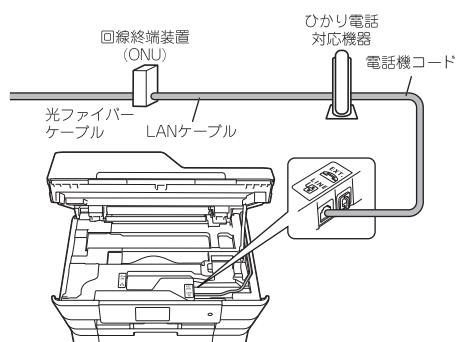
電話帳

転送・
リモコン機能

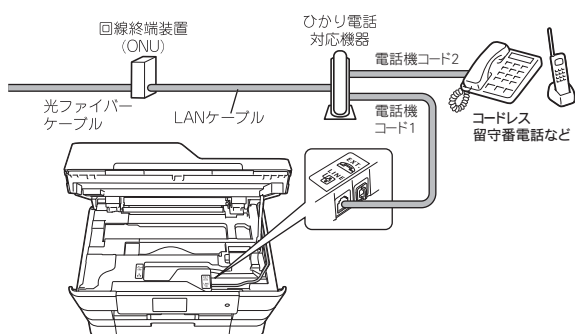
こんなときは

付録

ひかり電話をご利用の場合



● ひかり電話で複数番号を使う場合



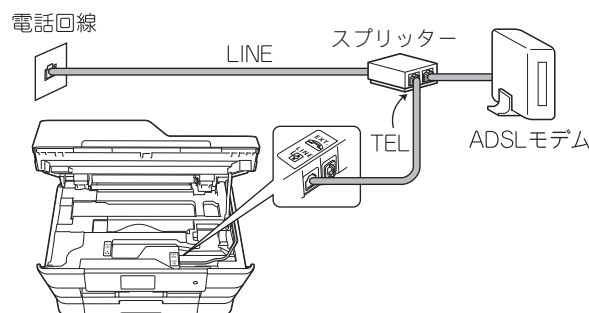
お願い

- ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。
⇒ 42 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」
- 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

- ☞ ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ☞ ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- ☞ 回線終端装置 (ONU)、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ☞ お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器がイラストと異なる場合があります。

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッターの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。
スプリッターに接続した状態で、ファクスを送受信できることを確認してください。



- ☞ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。
- ☞ 詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ☞ ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッターを交換すると改善する場合があります。

お願い

- ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

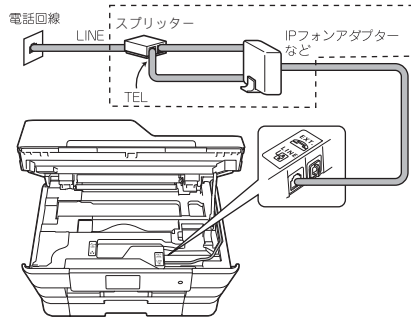
IP 電話などの IP 網をご利用の場合

(1) IP 電話をご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒42 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」

(2) IP 網を利用してファクス通信を行う場合

契約しているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。



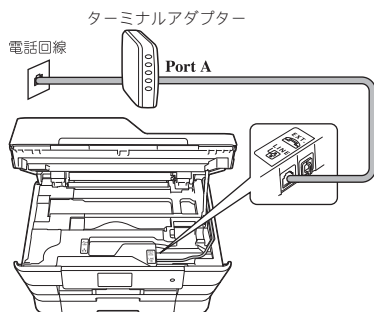
ISDN をご利用の場合

本製品を ISDN 回線のターミナルアダプターに接続するときは、以下の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプター：
本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるかを確認する

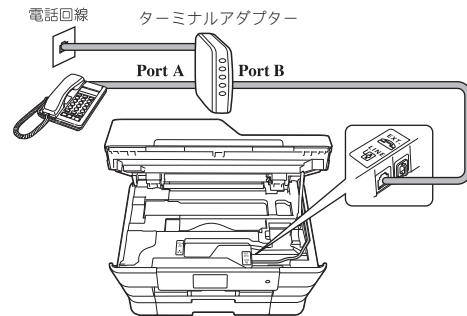
電話番号が1つの場合

本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。



電話番号が2つの場合

本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。



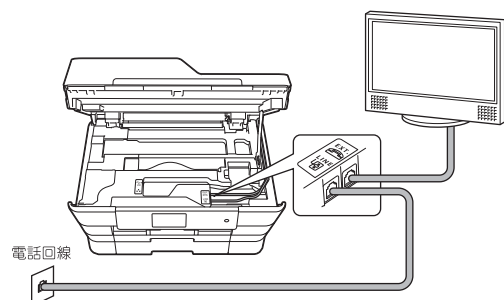
- ☞ 詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- ☞ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプター側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

お願い

- ISDN回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【光・ISDN】を設定してください。⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」
- 本製品が使用できないときは、⇒ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」をご覧ください。
また、ターミナルアダプターの設定を確認してください。ターミナルアダプターの設定の詳細は、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。また、製造メーカーにお問い合わせください。

デジタルテレビを接続する場合

本製品と CS チューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付け電話接続端子に接続してください。



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

構内交換機 (PBX)・ビジネスホンをご利用の場合

本製品を構内交換機などに接続する場合は、次のいずれかの方法で接続してください。

お願い

- 構内交換機、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 42 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」
- 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

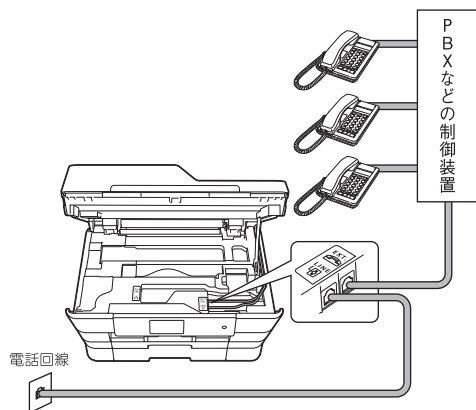


ビジネスホンとは

電話回線を3本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などのできる簡易交換機です。

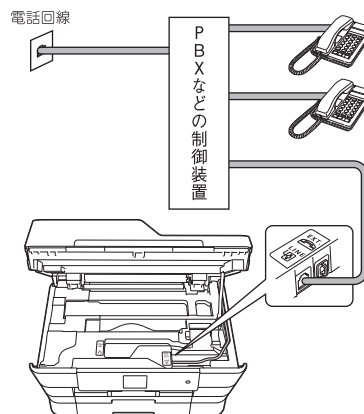
本製品の外付け電話としてビジネスホンに接続する

本製品の外付け電話接続端子に構内交換機 (PBX) などの制御装置を接続してください。



本製品を構内交換機 (PBX) の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。



PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。【特別回線対応】の設定を【PBX】に設定すると、本製品の【ナンバーディスプレイ】の設定は無効になります。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

第 3 章

コピー

いろいろなコピー	48
プリセットコピーメニューについて	48
設定を変えてコピーするには	50
スタック/ソートコピーする	52
レイアウトコピーする	53
2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べて コピーする (N in 1 コピー)	53
カードの両面を 1 枚の A4 用紙にコピーする (ID カードコピー)	54
1 枚の原稿を 2 枚に分けてコピーする (分割コピー)	55
1 枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する (ポスターコピー)	55
原稿の傾きを補正してコピーする	56
両面コピーする	57
インクを節約してコピーする	59
コピー時の裏写りを抑える	59
ブックコピーする	60
コピーに文字を重ねる	60
原稿の地色を除去してコピーする	61
A3 用紙を使った便利なコピー	62

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

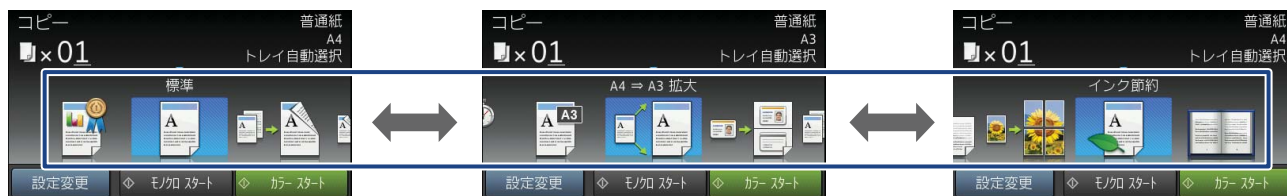
こんなときは

付 録

いろいろなコピー

プリセットコピーメニューについて

プリセットコピーとは、いろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されている機能です。通常のコピーを行う場合は【標準】を選択してください。次の表は、プリセットコピーメニューとそれぞれの初期設定値を表しています。■部分はプリセット機能を有効にする値であるため、変更しないでください。□部分は、向きや分割枚数の選択はできますが、オフにするとプリセット機能が無効になります。



設定変更 プリセット コピーメニュー		ADF 高速 モード	コピー 画質	用紙 タイプ	用紙 サイズ	用紙 トレイ 選択	拡大/ 縮小	コピー 濃度	スタッ ク/ ソート	レイア ウト コピー	レイア ウト 選択	傾き 補正	両面 コピー	便利な コピー 設定
高画質	写真やイラストなどをよりきれいにコピーします。	オフ	高画質	普通紙	A4	トレイ自動選択	100%	0	スタッ クコ ピー	オフ (1in1)	—	自動	オフ	オフ
標準	通常のコピーをします。お買い上げ時の設定です。		【全てのメニュー】で設定した値に自動で設定されます。								—	オフ		
片面⇒両面	片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーします。		—	A4	トレイ自動選択	—					自動	片面⇒両面 長辺綴じ原稿		
両面⇒両面	両面印刷された原稿を 1 枚の用紙両面にコピーします。		—			両面⇒両面								
ADF 高速モード	ADF (自動原稿送り装置) に横向きに原稿をセットして、高速でコピーします。	オン	標準	普通紙	—	—	—		—					
A3 等倍	A3 サイズの原稿をコピーします。	—			100%	オフ (1in1)	—		オフ					
A4⇒A3 拡大	A4 サイズの原稿を A3 サイズに拡大コピーします。	—			141%	—	—		オフ					
2in1 (ID カード)	カードサイズの原稿の両面を、1 枚の用紙に割り付けてコピーします。	—			—	2in1 (ID カード)	—		—					
2in1	2枚の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーします。	—			—	2in1 (タテ長)	—		オフ					
ポスター	原稿をポスターサイズに拡大し、複数の用紙に分割してコピーします。	—			—	ポスター (2×2)	—		—					

設定変更 プリセット コピーメニュー		ADF 高速 モード	コピー 画質	用紙 タイプ	用紙 サイズ	用紙 トレイ 選択	拡大/ 縮小	コピー 濃度	スタッ ク/ ソート	レイア ウト コピー	レイア ウト 選択	傾き 補正	両面 コピー	便利な コピー 設定
インク 節約	文字や画像などの 内側を薄く印刷し て、インクの消費 量を抑えます。	—	標準	普通 紙	A4	トレイ 自動 選択	100%	0	スタッ クコ ピー	—	—	自動	オフ	インク 節約 モード
ブック	本のように中央 でとじられた原 稿を開いてコ ピーするとき に、原稿の傾きを自 動で補正します。	—							—	—	—		—	ブック コピー

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

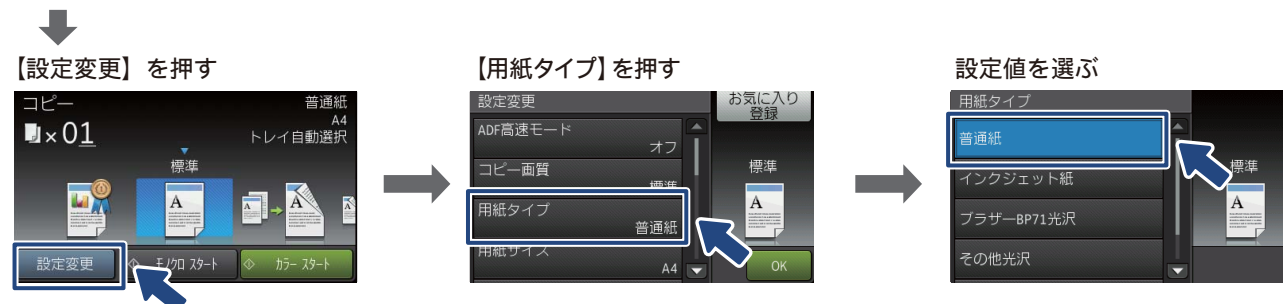
付録

設定を変えてコピーするには

待ち受け画面の【コピー】を押して、画面に表示される【設定変更】から、コピーの設定が変更できます。

例：用紙タイプ

待ち受け画面の【コピー】を押す



(1) ADF 高速モード

複数ページの A4、B5 原稿を複数部コピーする場合、ADF（自動原稿送り装置）に原稿を横向き（原稿の長辺を ADF（自動原稿送り装置）に挿入）にセットすることで、高速にコピーをすることができます。
⇒ 25 ページ「原稿のセット」

- 【オン】
ADF 高速モードでコピーします。
- 【オフ】
通常のコピーを行う場合に選びます。

(2) コピー画質

コピーの画質を設定します。

- 【標準】
通常のコピーを行う場合に選びます。
 - 【高画質】
写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。
- ※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。

(3) 用紙タイプ

使用する用紙に合わせて、用紙タイプを設定します。

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム】

※【用紙トレイ選択】で【用紙トレイ #2】が選択されている場合は【普通紙】に固定されるため設定できません。

(4) 用紙サイズ

使用する用紙に合わせて、用紙サイズを設定します。

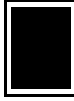
【用紙トレイ選択】で【用紙トレイ #1】または【トレイ自動選択】が選択されている場合
【A4／A3／B5／B4／A5／ハガキ／2L 判／L 判】

【用紙トレイ選択】で【用紙トレイ #2】が選択されている場合
【A4／A3／B4】

(5) 用紙トレイ選択

コピー時に使用する用紙をセットしたトレイを設定します。

【用紙トレイ #1／用紙トレイ #2／トレイ自動選択】

(6) 拡大 / 縮小	
倍率を変更してコピーします。 【等倍 100%】 【拡大】 • 【240% L判 ⇒ A4】 • 【204% ハガキ ⇒ A4】 • 【141% A4 ⇒ A3、B5 ⇒ B4】 • 【123% A4 ⇒ B4】 • 【115% B4 ⇒ A3、B5 ⇒ A4】 • 【113% L判 ⇒ ハガキ】*¹ 【縮小】 • 【86% A3 ⇒ B4、A4 ⇒ B5】 • 【81% B4 ⇒ A4、B5 ⇒ A5】 • 【69% A3 ⇒ A4、B4 ⇒ B5、A4 ⇒ A5】 • 【46% A4 ⇒ ハガキ】 • 【40% A4 ⇒ L判】 【用紙に合わせる】*² 【カスタム (25-400%)】*³	拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。 *¹ L判タテ向きの写真 (127mm × 89mm) をハガキにフィットさせます。  *² 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。 【用紙に合わせる】は次のような制約があります。 • 原稿を読み取るときに3°以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • ADF 高速モード、ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピー、地色除去コピーと同時に設定できません。 *³ 画面に表示されているテンキーや操作パネル上のダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。
(7) コピー濃度	
コピーの濃度を調整します。5段階の調整ができます。	
(8) スタック / ソート	
⇒ 52 ページ「スタック / ソートコピーする」	
(9) レイアウト コピー	
⇒ 53 ページ「レイアウトコピーする」	
(10) レイアウト選択	
⇒ 53 ページ「レイアウトコピーする」	
(11) 傾き補正	
⇒ 56 ページ「原稿の傾きを補正してコピーする」	
(12) 両面コピー	
⇒ 57 ページ「両面コピーする」	
(13) 便利なコピー設定	
その他のいろいろなコピーができます。 • 【インク節約モード】⇒ 59 ページ「インクを節約してコピーする」 • 【裏写り除去コピー】⇒ 59 ページ「コピー時の裏写りを抑える」 • 【ブックコピー】⇒ 60 ページ「ブックコピーする」 • 【透かしコピー】⇒ 60 ページ「コピーに文字を重ねる」 • 【地色除去コピー】⇒ 61 ページ「原稿の地色を除去してコピーする」	
(14) お気に入り登録	
設定変更をしたあとで、【お気に入り登録】を押すと、現在の設定がお気に入りとして登録できます。	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

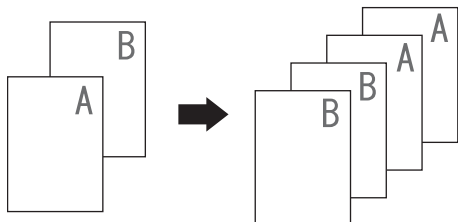
付録

スタック / ソートコピーする

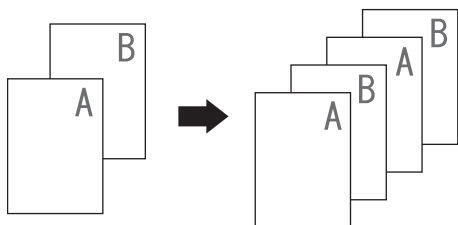
[スタック / ソート]

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

- スタックコピー
ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
一部ごとにまとめて排出します。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときまたは原稿台ガラスに原稿をセットして【スタックコピー】を選んだときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして【ソートコピー】を選んだときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると画面に、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【いいえ】を押す

レイアウトコピーする

【レイアウトコピー】

複数の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- 2in1 (タテ長)



- 2in1 (ヨコ長)



- 2in1 (ID カード)



- 4in1 (タテ長)



- 4in1 (ヨコ長)



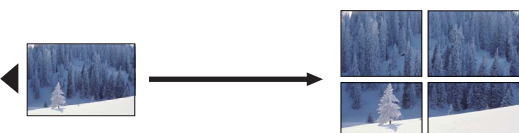
- 2 枚に分割



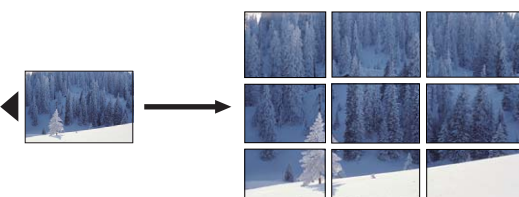
- ポスター (2x1)



- ポスター (2x2)



- ポスター (3x3)



2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーする (N in 1 コピー)

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーします。

使用できる用紙は、A3、B4、A4 サイズです。

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※2in1 コピー、4in1 コピーは、複数部数でカラーコピーができません。モノクロでコピーするか複数回に分けてコピーしてください。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 レイアウトの種類を選ぶ

【2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長) / 4in1 (タテ長) / 4in1 (ヨコ長)】から選びます。

- 用紙サイズが A3 または B4 のときに、【2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長)】を選んだ場合⇒手順 7 へ
- その他の場合⇒手順 9 へ

7 【レイアウト選択】を押す

8 レイアウトタイプを選ぶ

- 用紙サイズが A3 のときは、【A4x2 ⇒ A3x1 / A3x2 ⇒ A3x1】から選びます。
- 用紙サイズが B4 のときは、【B5x2 ⇒ B4x1 / B4x2 ⇒ B4x1】から選びます。

9 【OK】を押す

10 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 次の原稿がある場合⇒手順 11 へ
- 次の原稿がない場合⇒【いいえ】を押して、操作は終了です。コピーが開始されます。

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

【4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】を選択している場合は、以下の操作を行います。

- 次の原稿がある場合⇒この手順を繰り返します。
- 次の原稿がない場合⇒【いいえ】を押して、操作は終了です。コピーが開始されます。

カードの両面を1枚のA4用紙にコピーする（IDカードコピー）

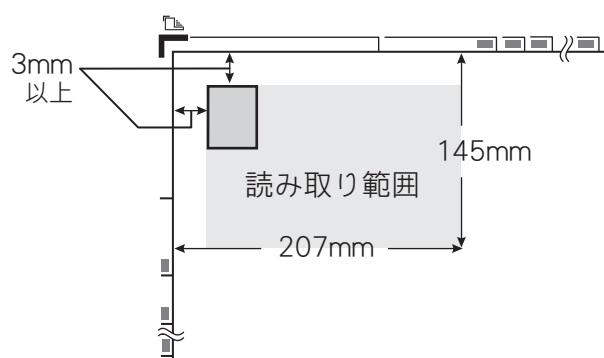
運転免許証のようなカードの両面を1枚のA4用紙片面に原寸のまま割り付けてコピーします。

 使用できる用紙は、A4サイズのみです。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から3mm以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。



2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※IDカードコピーは、複数部数でカラーコピーができません。モノクロでコピーするか複数回に分けてコピーしてください。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【2in1（IDカード）】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿を裏返してセットし、【OK】を押す

1 枚の原稿を 2 枚に分けてコピーする (分割コピー)

A3 サイズ 1 枚を、A4 サイズ 2 枚に分割してコピーします。なお、分割コピーは複数部数の指定はできません。

-  拡大 / 縮小されるわけではありません。
-  使用できる用紙は、A4 サイズのみです。

1 用紙が 2 枚以上セットされていることを確認する

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【コピー】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

6 【2 枚に分割】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

1 枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する (ポスターコピー)

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数の用紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

-  用紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。
-  使用できる用紙は、A3、A4 サイズです。

1 分割される枚数以上の用紙がセットされていることを確認する

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【コピー】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 レイアウトの種類を選ぶ

【ポスター (2x1) / ポスター (2x2) / ポスター (3x3)】から選びます。

- 用紙サイズが A3 のときに、【ポスター (2x2)】を選んだ場合⇒手順 7 へ
- その他の場合⇒手順 9 へ

7 【レイアウト選択】を押す

8 レイアウトタイプを選ぶ

【A4x1 ⇒ A3x4 / A3x1 ⇒ A3x4】から選びます。

9 【OK】を押す

10 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

原稿の傾きを補正してコピーする

【傾き補正】

原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーするときに、原稿の傾きを自動的に補正します。

-  以下のような原稿をセットした場合は、傾き補正は機能しません。
- B8 サイズよりも小さい原稿や B4 サイズより大きい原稿
 - 四角形ではない、不定形の原稿
 - 厚みのある原稿
-  読み込み時に原稿が 3° 以上傾いていた場合は、傾き補正は機能しません。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【傾き補正】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【自動】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

両面コピーする

【両面コピー】

原稿の両面を1度に読み取り、両面1枚または片面2枚にコピーできます。また、原稿の片面を1枚ずつ読み取り、両面1枚にコピーすることもできます。

ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

		印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
両面⇒両面			
片面⇒両面	長辺綴じ原稿		
	短辺綴じ原稿		
両面⇒片面	長辺綴じ原稿		
	短辺綴じ原稿		

- 【両面⇒両面】、【片面⇒両面 長辺綴じ原稿】、【片面⇒両面 短辺綴じ原稿】を選択したときに使用できる用紙は、A3、B4、A4、B5、A5 サイズの普通紙のみです。
- 【両面⇒両面／両面⇒片面 長辺綴じ原稿／両面⇒片面 短辺綴じ原稿】を選択した場合は ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」
- ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください（ただし1回にセットできるのは35枚までです）。2枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。
- 冊子を両面コピーする場合は、【片面⇒両面 長辺綴じ原稿／片面⇒両面 短辺綴じ原稿】を選択して、原稿台ガラスにセットしてください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【両面コピー】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 必要に応じて【あんしん設定】を選ぶ

紙詰まりや印刷汚れを軽減します。

- 【あんしん 1】：
印刷速度を落とします。
- 【あんしん 2】：
印刷速度を落とし、インク量を抑えます。

7 原稿の綴じ方を選ぶ

【両面⇒両面／片面⇒両面 長辺綴じ原稿／両面⇒片面 長辺綴じ原稿／片面⇒両面 短辺綴じ原稿／両面⇒片面 短辺綴じ原稿】から選びます。

8 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート】、【ソートコピー】を順に押す

9 【OK】を押す

10 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。読み取りが開始されます。

原稿1枚目を印刷すると用紙はいったん排出されますが、2枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで用紙に触れないでください。3枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは用紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次のページをセットして【スキャン】を押してください
全てのページが終わったら【完了】を押してください／スキャン／完了】と表示されます。

11 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【スキャン】、【OK】を順に押す

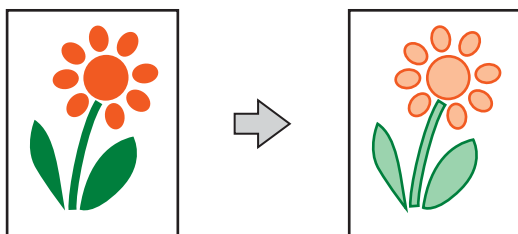
手順 8 で、ソートコピーを選択した場合は、原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 12 に進みます。

12 【完了】を押す

インクを節約してコピーする

【インク節約モード】

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc.の技術を使用しています。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】を順に押し、【OK】を押す

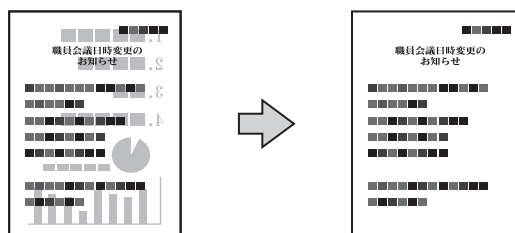
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピー時の裏写りを抑える

【裏写り除去コピー】

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc.の技術を使用しています。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】を順に押し、【OK】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

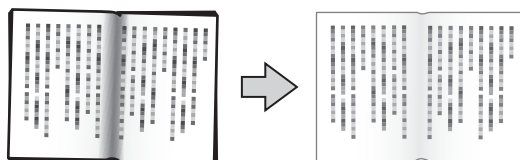
こんなときは

付録

ブックコピーする

【ブックコピー】

原稿台ガラスに本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。



お願い

- ADF（自動原稿送り装置）を使用してブックコピーはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

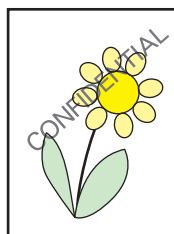


- 1 原稿台ガラスに原稿をセットする
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」
- 2 【コピー】を押す
- 3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する
- 4 【設定変更】を押す
- 5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】を順に押し、【OK】を押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピーに文字を重ねる

【透かしコピー】

コピーと同時に、設定した透かし文字をコピー画像に追加できます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：-45°
透過度：+2
色：黒

※ 右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

- 「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

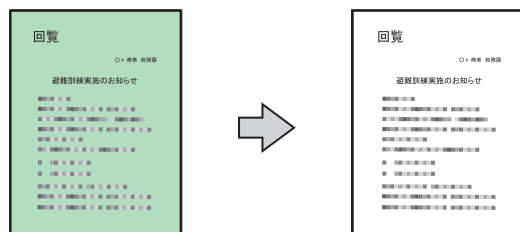


- 1 原稿をセットする
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」
- 2 【コピー】を押す
- 3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する
- 4 【設定変更】を押す
- 5 【便利なコピー設定】、【透かしコピー】を順に押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 6 透かしの設定を行う
【テキスト／位置／サイズ／回転／透過度／色】の項目を設定します。
それぞれの設定値を選び、【OK】を押します。
- 7 【OK】を押す
- 8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の地色を除去してコピーする

【地色除去コピー】

カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。白地でない用紙を使った原稿をコピーするときに、背景に色を付けるためにインクが消費されるのを防ぎます。



1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【地色除去コピー】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 設定を選ぶ

【弱／中／強】から選びます。

7 【OK】を押す

8 【カラー スタート】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

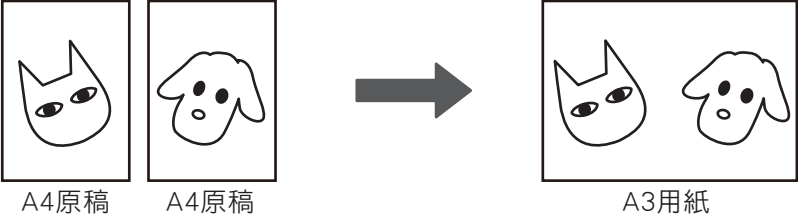
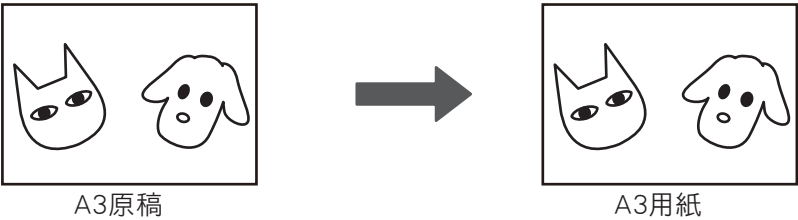
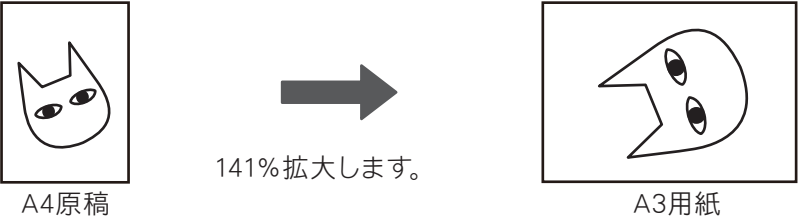
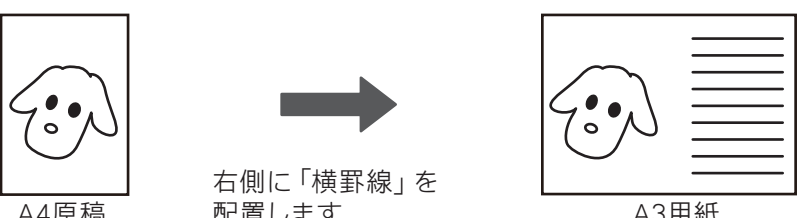
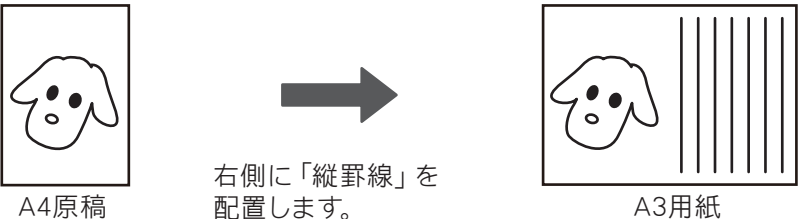
転送・
リモコン機能

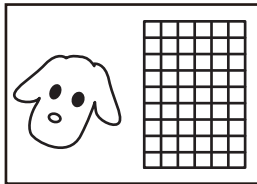
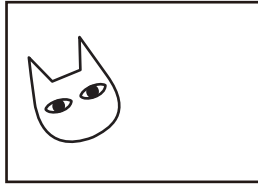
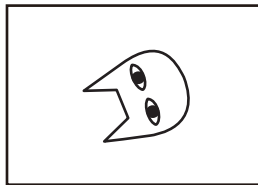
こんなときは

付録

A3 用紙を使った便利なコピー

本製品には、A3 原稿から A4 用紙または A4 原稿から A3 用紙にコピーする場合、各種の設定が簡単にできるように、【便利な A3 コピー】というメニューが、待ち受け画面に用意されています。原稿と用紙をセットしてメニューを選ぶだけの簡単操作で、サイズを間違えて用紙を無駄にすることはありません。また、製品内蔵の罫線を自動的に配置するなど、実用的なメニューもあります。

A3 2in1 原稿2枚を用紙1枚にまとめます。	 A4原稿 A4原稿 → A3用紙
A3 等倍 A3原稿を等倍でコピーします。お買い上げ時の設定です。	 A3原稿 → A3用紙
A4 ⇒ A3 拡大 拡大率や用紙サイズ設定でもう迷いません。	 A4原稿 → 141%拡大します。 → A3用紙
A3 ⇒ A4 縮小 拡大率や用紙サイズ設定でもう迷いません。	 A3原稿 → 69%縮小します。 → A4用紙
A4 + ノート(横) 資料とレポート用紙を組み合わせる。	 A4原稿 → 右側に「横罫線」を配置します。 → A3用紙
A4 + ノート(縦) 縦書きでもOK。趣味のサークルや授業の課題づくりに。横長原稿なら、下に横罫線が付くイメージです。	 A4原稿 → 右側に「縦罫線」を配置します。 → A3用紙

A4 + 方眼 幼児向け学習プリントを手作りで。絵を見ながら、字や作文を楽しく練習。	   A4原稿 右側に「方眼罫」を配置します。 A3用紙
A4 + メモ 会議の議事録を走り書きしても大丈夫。	   A4原稿 左側に寄せてコピーし右側を空けます。 A3用紙
A4 センター 注釈やアイデアを書き込む余白がまわりに欲しい！	   A4原稿 原寸のまま用紙の中央にコピーします。 A3用紙

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

- 1 原稿をセットする**
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

- 2 左右にフリックするか、◀/▶を押して【便利な機能】画面（MFC-J6990CDW は【便利な機能 1】画面）にする**

- 3 【便利な A3 コピー】を押す**

便利な A3 コピーについての案内が表示されます。内容を確認して【OK】を押します。次回からこの画面を表示しない場合は、チェックボックスにチェックを付けて【OK】を押します。

- 4 便利な A3 コピーメニューを選んで、【OK】を押す**

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。

- 5 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する**

※下記のメニューは、複数部数でカラーコピーができません。モノクロでコピーするか複数回に分けてコピーしてください。
【A3 2in1】、【A4 + ノート（横）】、【A4 + ノート（縦）】、【A4 + 方眼】、【A4 + メモ】

- 6 【設定変更】を押して必要な設定を行い、【OK】を押す**

- 7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す**

原稿台ガラスに原稿をセットして、【A3 2in1】メニューを選択した場合、1 枚目の原稿の読み取りが終わると【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押します。

手差しトレイに用紙をセットして、複数部数の指定をした場合は、印刷完了後、画面に表示される手順に従って手差しトレイに用紙をセットし、【OK】を押します。

Memo

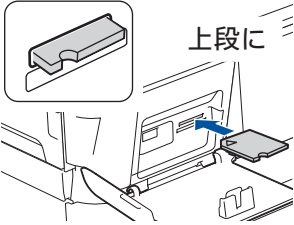
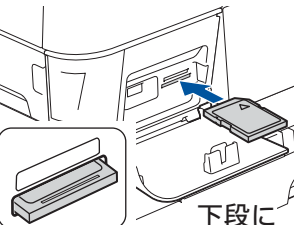
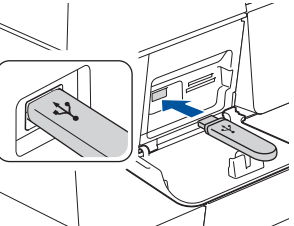
第 4 章

デジカメプリント

写真をプリントする	66
使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー	66
設定を変えてプリントするには	67
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする	69
動画プリントについて	70
インデックスシートをプリントする	70
インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする	71
多様な補正機能を使ってプリントする	73
色や明るさを補正する（お好み色補正）	73
画像の一部を切り取る（トリミング）	74
補正とトリミングを同時に行う（お好み色補正&トリミング）	75
証明写真プリントをする	76
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する	77
スライド表示の途中でプリントする	78
DPOF を使用してプリントするには	78
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする	79
PictBridge とは	79
デジタルカメラで行う設定	79
写真をプリントする	79

写真をプリントする

使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー

種類	セットする位置
メモリースティック デュオ™ (最大 128MB) メモリースティック PRO デュオ™ (最大 32GB)	 上段に
メモリースティック マイクロ™ (M2™) (最大 32GB)	
SD メモリーカード (最大 2GB) SDHC メモリーカード (最大 32GB) SDXC メモリーカード (最大 128GB) マルチメディアカード (最大 2GB) マルチメディアカード プラス (最大 4GB)	 下段に
miniSD カード (最大 2GB) microSD カード (最大 2GB) miniSDHC カード (最大 32GB) microSDHC カード (最大 32GB) マルチメディアカード モバイル (最大 1GB)	
USB フラッシュメモリー (最大 64GB)	

 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。

設定を変えてプリントするには

デジカメプリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。

例：明るさ



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
よりきれいにプリントする場合に選びます。

(2) 用紙タイプ

プリントする用紙の種類を選びます。

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを選びます。

【L 判／2L 判／ハガキ／A4／A3】

【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷

(4) 自動色補正

自動で色や明るさを補正します。【する】または【しない】を選びます。

(5) 明るさ

プリントの仕上がりの明るさを調整することができます。5 段階の調整ができます。

(6) コントラスト

プリントの仕上がりのコントラストを調整することができます。5 段階の調整ができます。【+】はコントラストが強くなり、【-】はコントラストが弱くなります。

(7) 画質強調

(1) 上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送り、【画質強調】を押す

(2) 更に【画質強調】を押して、【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】

画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。

- 【シャープネス】

画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。

- 【カラー調整】

画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) ◀/▶でレベルを調整し、【OK】を押す

(5) 手順(3)、(4)を繰り返して、3つの項目を調整する

(6) 【OK】を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。

メガピクセルクラスのカメラで撮影した100万画素以上の画像は【画質強調】を設定しないでください。

なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分かかる場合があります。

(8) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。

画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

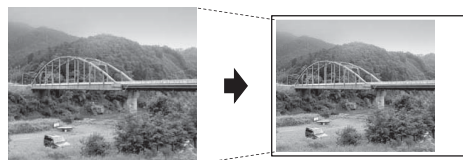
- 【する】

横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】

画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(9) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。

※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(10) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。

※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(11) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(12) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする

【全て 1 枚選択】

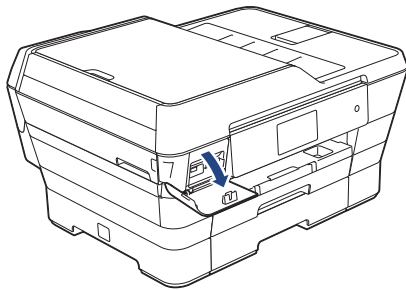
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像を 1 枚ずつまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。

1 用紙をトレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」

⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

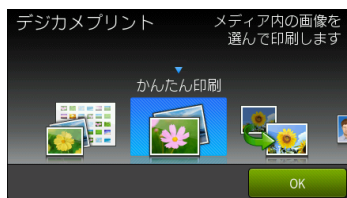


3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【かんたん印刷】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



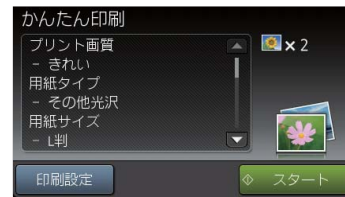
6 【全て 1 枚選択】を押す

【全ての写真選択枚数を 1 枚にしますか？
／はい／いいえ】と表示されます。

7 【はい】を押す

8 【OK】を押す

9 画面で設定を確認する



10 【スタート】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

《第 4 章 デジカメプリント》

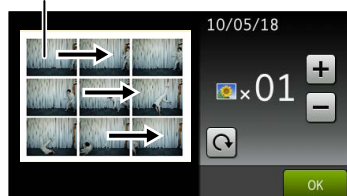
動画プリントについて

本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1 枚の用紙にプリントすることができます。

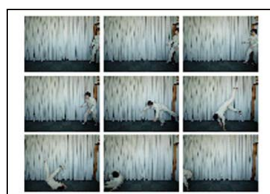


写真と共に保存されている動画も表示されます

1コマ目



印刷設定画面



出力例

- 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。

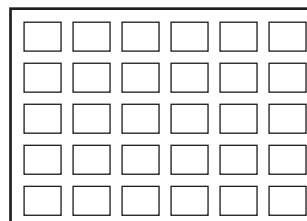
使用できないデータは、**?** と表示されます。

- 動画は日付プリントができません。

インデックスシートをプリントする

【インデックスシート】

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリントできます。A4 サイズの用紙 1 ページ内に最大 30 個の画像がプリントされます。

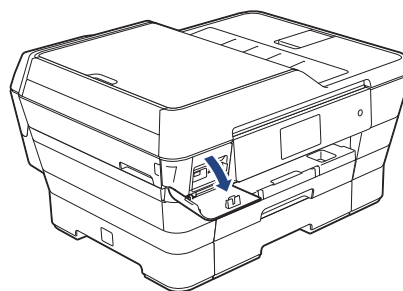


- インデックス番号が 1 から順に自動で割り振られます。パソコンで編集したファイル名は半角英数字で印字されます。全角文字は認識できません。
- インデックスシートをプリントする場合、用紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定値です。
- プリントされるのは JPEG（.JPG）および、MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。
- インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 A4 サイズの用紙をトレイにセットする

- ⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」
- ⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【インデックス】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



6 【インデックスシート】を押す

7 必要に応じて【印刷設定】を押し、用紙のタイプを変更する

8 【スタート】を押す

インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする

【番号指定プリント】

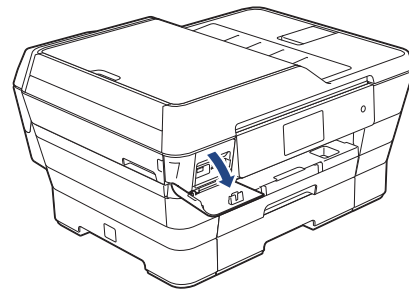
インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 用紙をトレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」

⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【インデックス】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



6 【番号指定プリント】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

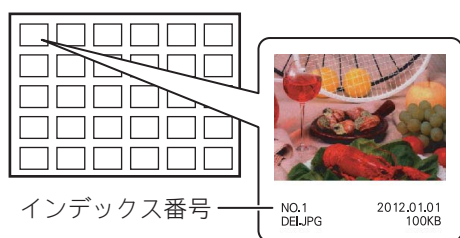
電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

- 7** 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像のインデックス番号を入力し、【OK】を押す



例1：1～5番をプリントしたいとき

「1-5」と入力する

例2：1、3、5番をプリントしたいとき

「1,3,5」と入力する

 区切り記号も含めて12文字まで入力できます。

- 8** 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

- 9** 画面で設定を確認する



- 10** 【スタート】を押す

多様な補正機能を使ってプリントする

【こだわり印刷】

色や明るさを補正する（お好み色補正）

本製品には、下記 10 種の写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真などを自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正*の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
夜景補正	夜景を美しくプリントしたいときに使用します。	なし
逆光補正	逆光による影を、明るく補正してプリントします。	なし
ホワイトボード補正	ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。	なし
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正 & 赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

* 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかったときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

「こだわり印刷」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



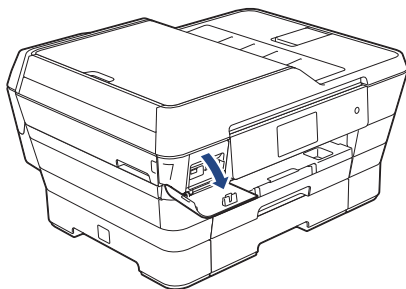
フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 用紙をトレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」

⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

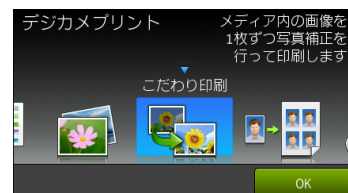


3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【こだわり印刷】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



6 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは左右にフリックするか、◀/▶を押して画面を送ります。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

7 【お好み色補正】を押す

8 目的に合った補正メニューを選ぶ

【自動色補正／肌色あかるさ補正／色あざやか補正／赤目補正／夜景補正／逆光補正／ホワイトボード補正／モノクロ／セピア／自動色補正＆赤目補正】から選びます。

9 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

10 【+】 / 【-】 でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

11 画面で設定を確認する



12 【スタート】を押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の中から必要な部分だけを切り取ってプリントできます。

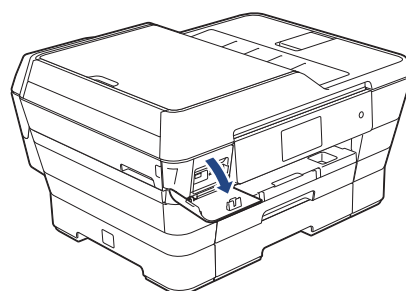
 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 用紙をトレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」

⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【こだわり印刷】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



6 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは左右にフリックするか、◀ / ▶ を押して、画面を送ります。

7 【トリミング】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

8 枠の位置とサイズを選び、【OK】を押す



を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

【-】で縮小、【+】で拡大します。

▲/▼/◀/▶で移動します。

9 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

10 【+】 / 【-】 でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

11 画面で設定を確認する



12 【スタート】を押す

**補正とトリミングを同時に行う
(お好み色補正&トリミング)**

【お好み色補正】で画像を補正をしながら、同時に【トリミング】で画像を切り取ってプリントできます。

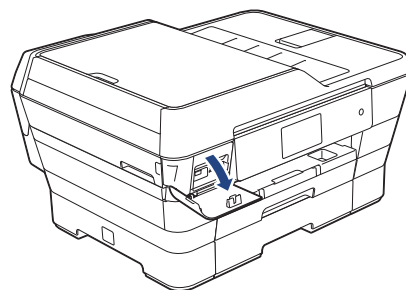
画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 用紙をトレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」

⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【こだわり印刷】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



6 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは左右にフリックするか、◀/▶を押して画面を送ります。

7 【お好み色補正&トリミング】を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

8 目的に合った補正メニューを選ぶ

【自動色補正／肌色あかるさ補正／色あざやか補正／赤目補正／夜景補正／逆光補正／ホワイトボード補正／モノクロ／セピア／自動色補正 & 赤目補正】から選びます。

9 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

10 枠の位置とサイズを選び、【OK】を押す



を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

【-】で縮小、【+】で拡大します。

▲/▼/◀/▶で移動します。

11 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

12 【+】 / 【-】 でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

13 画面で設定を確認する

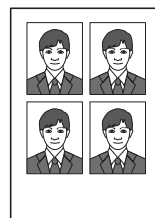


14 【スタート】を押す

証明写真プリントをする

【証明写真プリント】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーから画像を選び、履歴書やパスポートなどで必要とされる証明写真サイズにプリントすることができます。選べるサイズは 4 種類あり、1 枚につき同じ画像 4 枚が割り付けられます。



お願い

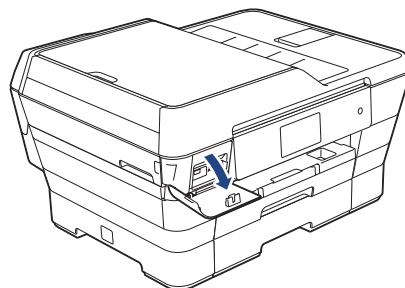
■ 証明写真プリントとトリミングを同時に行うことはできません。不要な部分は、パソコンやデジタルカメラなどであらかじめトリミングしてください。

1 用紙をセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」

⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【証明写真プリント】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



6 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは左右にフリックするか、◀/▶ を押して、画面を送ります。

7 1枚あたりの写真サイズを選ぶ

【30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm】から選びます。

8 選んだ画像を確認し、必要に応じて

🔄 で写真の向きを変更して【OK】を押す

9 画面で設定を確認する



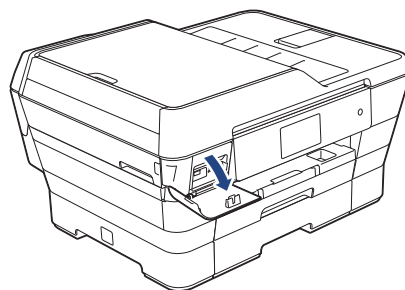
10 【スタート】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

【スライド表示】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい写真が表示されたときに画面を押すと、スライド表示中にプリントすることもできます。

1 メディアスロットカバーを開く

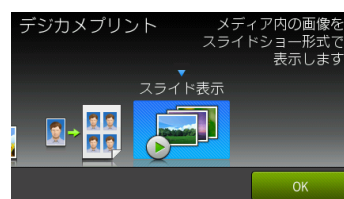


2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【スライド表示】を選んで【OK】を押す

メニューが表示されていないときは、左右にフリックして画面を送ります。



5 【切り替え時間】を押し、1枚あたりの表示時間を選ぶ

【3秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分】から選びます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

6 【スライドショー効果】を押し、好みの表示方法を選ぶ

【オフ／スライドイン／フェードイン／ズームイン】から選びます。ここで設定した値は、次に選び直すまで有効です。

- ・【オフ】：
定位置での単純な切り替えです。
- ・【スライドイン】：
画像が流れるように切り替わります。
- ・【フェードイン】：
画像が徐々に消えて次に切り替わります。
- ・【ズームイン】：画像が浮かび上がるように出てきて表示されます。

7 【開始】を押す

スライド表示が始まります。

8 終了するときは を押す

スライド表示の途中でプリントする

1 用紙をトレイにセットする

- ⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」
- ⇒ 22 ページ「手差しトレイにセットする」

2 スライド表示中、プリントしたい画像が表示されているときに、画面を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 画面で設定を確認する



5 【スタート】を押す

DPOF を使用してプリントするには

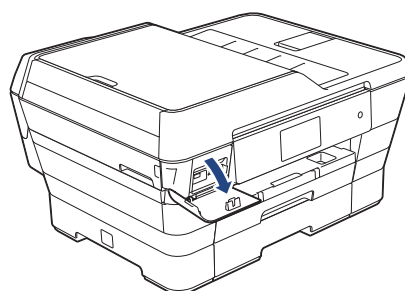
[DPOF]

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット) *1 を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、以下の手順で操作してください。

*1 DPOF は、デジタルカメラの記録フォーマットのひとつで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

 DPOF から動画のプリントはできません。

1 メディアスロットカバーを開く



2 DPOF 設定済みのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

3 【DPOF】を押す

4 【印刷設定】を押す

5 【用紙サイズ】を押す

6 用紙サイズを選ぶ

他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。設定を変更したら、【OK】を押してください。

7 【スタート】を押す

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。



重要

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

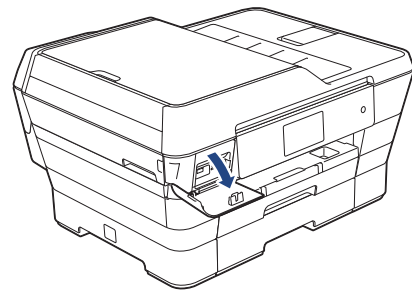
デジタルカメラで行う設定

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
用紙サイズ	A3、A4、L 判、2L 判、ハガキ
用紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF プリント	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

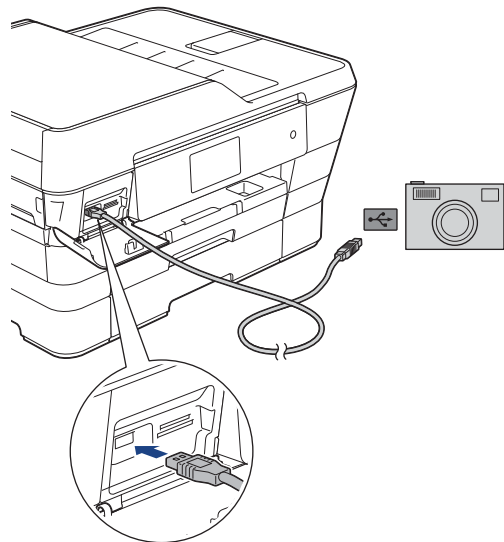
写真をプリントする

- 1 デジタルカメラの電源を切る
- 2 メディアスロットカバーを開く



- 3 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



- 4 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

5 デジタルカメラからプリントを実行する

お願い

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

6 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

第5章

ファクス

送信

ファクスの便利な送りかた	82
設定を変えてファクスするには	82
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	84
相手先の受信音を確認してから送る	85
送るのをやめるときは	85
ADF（自動原稿送り装置）から両面原稿を送る ...	86
複数の相手先に同じ原稿を送る	87
送るのをやめるときは	88
内容を確認してから送る	89
時間を指定して送る	91
同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信に まとめる	92
原稿をすぐに送る	93
相手の操作で原稿を送る	94
海外へ送る	95
ADF（自動原稿送り装置）から送る	95
原稿台ガラスから送る	95
パソコンからファクスを送る	97
自動再ダイヤルを解除する / 設定する	98
外線発信番号を設定する	99
ファクス誤送信防止機能を設定する （ダイヤル制限機能）	100
IP ファクスの設定をする（データコネクト設定）	101

受信

ファクスの見かた	102
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信） / 印刷する	102
みるだけ受信を設定する	102
新着ファクスを見る	102
既読のファクスを再度見る	103
必要なファクスのみを印刷する	103
すべてのファクスを印刷する	103
不要なファクスのみを消去する	104
すべてのファクスを消去する	104
ファクスを自動的に印刷する （みるだけ受信を解除する）	105
受信したファクスが印刷できないときは （メモリー代行受信）	105
ファクスの便利な受けかた	106

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）	106
親切受信を設定する	106
親切受信でファクスを受ける	106
自動的に縮小して受ける	107
本製品の操作で相手の原稿を受ける	108
ポーリング受信をする	108
複数の相手先からポーリング受信をする	109
順次ポーリング受信をやめるときは	110
本製品と接続している電話機の操作でファクスを 受信する	111
リモート受信を設定する	111
リモート受信の操作	111
ファクスをメモリーで受信する	112
ファクスをメモリーで受信する	112
メモリー受信したファクスを印刷する	112
ファクスを転送する	113
受信したファクスをパソコンに送る （Windows® のみ）	114
メモリー受信の設定を変更する	115
メモリー受信をやめる	115

通信管理

通信状態を確かめる	116
送信待ちファクスを確認・中止する	116
通信管理レポートを印刷する	117
通信記録をすぐに確認したいとき	117
出力間隔を変更する	117
送信結果レポートを印刷する	118
すぐに印刷する	118
印刷するタイミングと内容を設定する	118
着信履歴リストを印刷する	119

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

ファクスの便利な送りかた

送信

設定を変えてファクスするには

ファクス送信時、画面に表示されている【設定変更】から、ファクスを送るときの設定が変更できます。

例：リアルタイム送信



(1) ファクス画質

ファクス送信するときの画質を設定します。

- 【標準】
お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
 - 【ファイン】
原稿の文字が小さいときに選びます。
 - 【スーパーファイン】
原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
 - 【写真】
原稿に写真が含まれているときに選びます。
- ※【標準】以外の設定で送信すると、標準に比べて送信時間がかかります。
- ※【写真】で送信しても、相手側のファクス機が標準モードで受信した場合は、画像が劣化します。
- ※【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【カラー設定】が【カラー】のときは【ファイン】で送信されます。

(2) 両面ファクス

⇒ 86 ページ「ADF（自動原稿送り装置）から両面原稿を送る」

(3) 原稿濃度

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

- 【自動】
読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
 - 【濃く】
原稿が薄いときに選びます。
 - 【薄く】
原稿が濃いときに選びます。
- ※原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
- ※【ファクス画質】が【写真】のときや、【カラー設定】が【カラー】のときは【自動】で送信されます。

(4) ガラス面読取サイズ

原稿台ガラスからファクス送信するときの読み取りサイズを設定します。

【A4 / B4 / A3】

※ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、自動的にサイズを検知します。

(5) 同報送信
⇒ 87 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」
(6) みてから送信
⇒ 89 ページ「内容を確認してから送る」
(7) カラー設定
ファクス送信するときに、原稿をカラーまたはモノクロで送信するかどうかの設定をします。
(8) タイマー送信
⇒ 91 ページ「時間を指定して送る」
(9) とりまとめ送信
⇒ 92 ページ「同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信にまとめる」
(10) リアルタイム送信
⇒ 93 ページ「原稿をすぐに送る」
(11) ポーリング送信
⇒ 94 ページ「相手の操作で原稿を送る」
(12) ポーリング受信
⇒ 108 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受ける」
(13) 海外送信モード
⇒ 95 ページ「海外へ送る」
(14) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか？／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(15) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

 ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

3 【履歴】を押す

4 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

5 ファクスを送る相手先を選ぶ

相手先が表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【送信先に設定】を押す

7 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 9 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【いいえ】を押す

ファクスが送られます。

相手先の受信音を確認してから送る

【手動送信】

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

📄 「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。(1回に送ることができるのは1枚のみです。)

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【オンフック】を押したあと、相手先のファクス番号を入力する

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか？／送信／受信】と表示されます。⇒手順⑤へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

1 【送信中】表示中に❌を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

ファクスの送信が中止されます。

ADF（自動原稿送り装置）から両面原稿を送る

【両面ファクス】

両面印刷された原稿を1度の操作で読み取り、ファクス送信できます。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

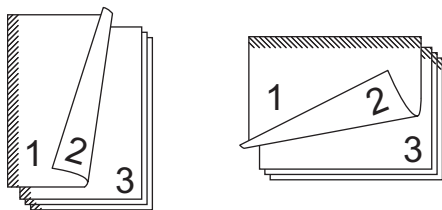
3 【設定変更】を押す

4 【両面ファクス】を押す

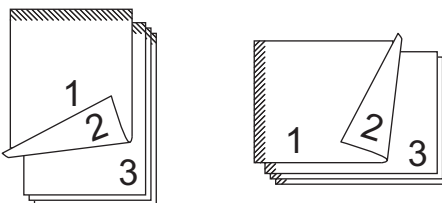
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 設定を選ぶ

- 【オフ】
両面ファクスを行いません。片面のみを読み取ります。
- 【両面スキャン：長辺綴じ原稿】
原稿の両面を読み取ります。長辺を綴じた原稿を送信する場合に選びます。



- 【両面スキャン：短辺綴じ原稿】
原稿の両面を読み取ります。短辺を綴じた原稿を送信する場合に選びます。



6 【OK】を押す

7 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

複数の相手先に同じ原稿を送る

【同報送信】

1回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、番号入力・電話帳・検索などの方法から、合わせて最大250箇所まで指定できます。

お願い

■ 同報送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【番号追加】を押す

6 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

7 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

7 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

 グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒125ページ「グループダイヤルを登録する」

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

【検索して選択】を選んだ場合

7 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押し、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

8 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

9 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 11 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。

11 【いいえ】を押す

すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

送るのをやめるときは

1 ダイヤル中にを押す

【同報送信をキャンセルします 現在のあて先のみか 全ての送信先かを選択してください／XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての同報送信】と表示されます。

2 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブを中止する場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※中止をやめる場合は、を押します。

3 【はい】を押す

- すべての同報送信を中止した場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。
- 送信中のジョブを中止した場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。

※中止をやめる場合は、【いいえ】を押します。

4 続けて中止する場合は 1 ～ 3 を繰り返す

 原稿読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、【中止する】またはを押して送信を中止するか、【読み取り分送信】を押して読み取られた分だけを送ります。

内容を確認してから送る

【みてから送信】

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。

お願い

■ みてから送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・機能
リモコン機能

こんなときは

録
付

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【みてから送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、画面にこれから送るファクスの内容が表示されます。⇒手順⑪へ

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順⑩へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順⑨へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順⑩に進みます。

10 【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

11 画面で、ファクスの内容を確認する

ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向に画面を送ります。
◀/▶	横方向に画面を送ります。
◀/▶	前のページ/次のページを表示します。
↻	90° ずつ右回転します。
🔍/🔍	拡大/縮小表示します。
【スタート】	ファクス送信を開始します。

A) ファクスを送る場合

12 【スタート】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

B) ファクス送信を中止する場合

12 を押す

画面に、【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

13 【はい】 を押す

送信が中止されます。

時間を指定して送る

【タイマー送信】

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

お願い

- タイマー送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 ② のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【タイマー送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 更に【タイマー送信】を押して、【する】を押す

6 【指定時刻】を押す

7 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

8 【OK】を押す

9 ファクス番号を入力するか、【電話帳】または【履歴】から相手先を選ぶ

 とりまとめ送信 (⇒ 92 ページ) するときは、同じダイヤル方法で相手先を選んでください。

10 【スタート】を押す

ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか? / はい / いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 ⑫ へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 ⑪ へ

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑫ に進みます。

12 【いいえ】を押して設定を終了する

同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信にまとめる

【とりまとめ送信】

タイマー送信を複数設定している場合に、相手先の番号と予約時刻が同じものを、1回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

この設定は、いったん設定すると以降は、タイマー送信設定されたファクスの中から相手先番号と予約時刻が同じものを、本製品が自動的に検出し、まとめて送信するようになります。

お願い

■ とりまとめ送信でひとつにまとめることができるのは、同じダイヤル方法（直接ダイヤル / 電話帳から選択 / 履歴から選択 / お気に入りから選択）で設定された相手先に限ります。とりまとめをするつもりでタイマー送信を設定するときは、ダイヤル方法は統一してください。

1 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順①のあとで、【ファクス送信】を押してください。

2 【設定変更】を押す

3 【とりまとめ送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【する】を押す

5 を押して設定を終了する

原稿をすぐに送る

【リアルタイム送信】

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。

メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。

- ❏ リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。複数の相手先に1回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ❏ ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- ❏ リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【リアルタイム送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

- 【する】：
リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
通常の送信で送ります。

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

相手の操作で原稿を送る

【ポーリング送信】

本製品に原稿を登録しておく、と、ポーリング機能のある他のファクス機を使って、その原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。

また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

お願い

■ ポーリング送信は、カラーでの送信はできません。モノクロで送るように設定してください。

 相手側のファクス機にポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。

 機密ポーリング送信は、相手側のファクス機もブラザー製の場合のみ行えます。

 ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 ② のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【ポーリング送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【標準】または【機密】を選ぶ

6 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで4桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

7 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 ⑨ へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 ⑧ へ

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑨ に進みます。

9 【いいえ】を押す

 ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

 ポーリング送信をやめるときは、、【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を押し、送信をやめるファクスを選び、【停止】を押します。
⇒ 116 ページ「送信待ちファクスを確認・中止する」

海外へ送る

【海外送信モード】

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。

海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

ADF（自動原稿送り装置）から送る

綴じや切り貼りのないサイズが揃った原稿の場合、ADF（自動原稿送り装置）の使用をお勧めします。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

ファクスが送られます。
カラーで送信した場合は、相手につながってから原稿の読み取りが始まります。

原稿台ガラスから送る

綴じられた資料や本など、ADF（自動原稿送り装置）にセットできない原稿は、原稿台ガラスを使用してください。

④ 原稿が複数枚あるときはカラーで送ることができないため、モノクロで送信するか、複数回に分けて送信してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【する】を押す

モノクロで送る場合

6 【カラー設定】を押す

7 【モノクロ】を押す

④ お買い上げ時の設定値である【モノクロ】を変更していない場合は、手順⑥、⑦のカラー設定を行う必要はありません。

④ 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒82ページ「設定を変えてファクスするには」

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
ファックス

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

8 【OK】を押す

9 相手先のファクス番号を入力する

10 【スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 **12** へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 **11** へ

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 **12** に進みます。

12 【いいえ】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

カラーで送る場合

6 【カラー設定】を押す

7 【カラー】を押す

8 【OK】を押す

9 相手先のファクス番号を入力する

10 【スタート】を押す

画面に【カラーファクスを1枚のみ送信します 複数枚送信したいときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットし直してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。

11 【はい（カラー送信）】を押す

【いいえ】を押すと、原稿台ガラスからは送ることができません。

操作は終了です。ファクスが送られます。

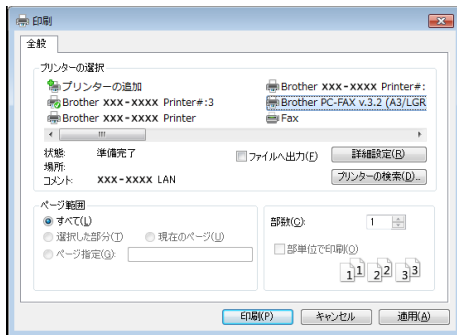
パソコンからファクスを送る

[PC-FAX 送信]

パソコンで作成した書類を、印刷することなく、本製品を経由してそのままファクスとして送ることができます。

⇒詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用編をご覧ください。

- 1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選ぶ
- 3 プリンターの選択で [Brother PC-FAX v.X] を選び [印刷] をクリックする



PC-FAX 送信画面が表示されます。

- 4 画面に表示されているテンキーでファクス番号を入力する



- 5  を押して、番号を確定する
- 6 [送信] をクリックする

ファクスが送信されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

自動再ダイヤルを解除する / 設定する

本製品は、相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、人の手で送信操作を繰り返さなくても自動で再ダイヤルするように設定されています。しかし、重要な書類を送信する場合など、送信結果を把握したいときは、自動再ダイヤルを解除することができます。この設定値は、次に設定変更するまで有効です。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、 【ファクス自動再ダイヤル】を順に 押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

解除した状態から再度設定する場合は、ここで【オン】を選んでください。

- 【オン】：
相手が通信中でも、3回まで自動的に再ダイヤルして送信を試みます。
- 【オフ】：
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信結果レポートが印刷されます。

4 を押して設定を終了する

外線発信番号を設定する

構内交換機（PBX）などを利用している電話回線の環境において、外線発信するときに必要な外線（識別）番号をあらかじめ登録しておくことができます。外線番号を押してからダイヤルしたり、外線番号を付けて電話帳に登録したりする必要がなくなります。

お願い

■ 電話回線をご利用の環境が、外線番号を必要としない場合は登録しないでください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【外線番号】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オン】を押す

- 【オン】：
ダイヤル時、外線番号を常に頭に付けて発信します。
- 【オフ】：
外線番号機能を利用しません。

4 【外線番号】を押す

5 画面に表示されているテンキーで外線（識別）番号を入力し、【OK】を押す

【0】～【9】、【*】、【#】、【!】を使って最大5桁まで登録できます。

- 【!】は、単独でしか使用できません。（他の数字、記号と組み合わせることはできません。）
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は【*】、【#】が登録できません。

6 を押して設定を終了する

 PC ファクス送信時は PC-FAX の外線番号の設定が優先されます。

ファクス誤送信防止機能を設定する（ダイヤル制限機能）

ファクス送信を禁止したり、間違った相手にファクスを送信しないようファクス番号の2度入力でダイヤルした番号の確認を強制したりできます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、 【ダイヤル制限機能】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 制限したい発信動作を選ぶ

- 【直接入力】：
操作パネル上のダイヤルボタンから直接ダイヤルして送信する場合です。
- 【電話帳】：
本製品の電話帳に登録した番号を選んで送信する場合です。
- 【お気に入り】：
登録したお気に入りから送信する場合です。

4 制限内容を選ぶ

- 【2度入力】：
ファクス番号の再入力が求められ、1度目に入力した番号と一致した場合のみ、ファクス送信されます。1度目とは異なった番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- 【オン】：
ファクス送信を禁止します。
- 【オフ】：
制限せず通常のファクス送信を行います。

5 必要に応じて、手順③、④を繰り返し、 制限したい発信動作についてすべて設定する

6 を押して設定を終了する

IP ファクスの設定をする（データコネクト設定）

データコネクトとは、NTT のフレッツ 光ネクストのご契約をされている場合に利用できるサービスです。次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使用する場合に設定します。（モノクロファクスのみ）

- ④ データコネクトとは、お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュリティ性が高く安定した帯域確保型データ通信を実現する NTT のフレッツ 光ネクストのサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。
- ④ 「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT 東日本 /NTT 西日本のサービスです。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【データコネクト設定】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【IP ファクス】を押す

4 送信動作を選ぶ

- 【専用】：
ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信およびポーリング送信の場合は、通常のファクス送信になります。
- 【優先】：
相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- 【オフ】：
通常のファクス送信のみとなります。

5 【送信速度】を押す

6 光ネクストのご契約内容に合わせて通信速度を選ぶ

- 【自動】：
本製品が回線にアクセスして判断します。
- 【標準】：64kbps
- 【高速】：512kbps
- 【最高速】：1000kbps

7 を押して設定を終了する

ファクスの見かた

受信

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信） / 印刷する

【みるだけ受信】

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、【しない（受信したら印刷）】に設定してください。お買い上げ時は、【しない（受信したら印刷）】に設定されています。

お願い

- みるだけ受信と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。ファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。
- みるだけ受信を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。画面で確認できない場合は、印刷されていないかどうかを確認してください。

みるだけ受信を設定する

1 を押す

2 【みるだけ受信】（1）を押す

ボタンには現在の状態が表示されています。



3 【する（画面で確認）】を押す

【みるだけ受信を [する（画面で確認）] にしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

【受信したファクスはメモリーに保存され画面で確認できます 印刷はされませんがよろしいですか？ / はい / いいえ】と表示されます。

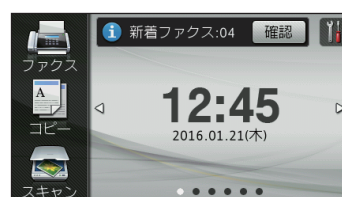
5 メッセージを確認して、【はい】を押す

6 を押して設定を終了する

新着ファクスを見る

みるだけ受信設定時には、ファクスを受信すると、待ち受け画面に、新着を知らせるメッセージが表示されます。

1 【確認】を押す



2 確認したいファクスを選んで押す

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリックするか、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

新着ファクスには、左側に新着マーク（青色）が表示されます。



3 下表を参考にして操作を行う



ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向に画面を送ります。
◀/▶	横方向に画面を送ります。
◀/▶ (with document icon)	前のページ/次のページを表示します。
90° (with document icon)	90° ずつ右回転します。
拡大/縮小 (with magnifying glass icon)	拡大 / 縮小表示します。
消去 (with trash can icon)	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 104 ページ「不要なファクスのみを消去する」
【スタート】	ファクスを印刷します。 ⇒ 103 ページ「必要なファクスのみを印刷する」

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- メモリーに保存できるファクスは99件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

既読のファクスを再度見る

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

3 確認したいファクスを選ぶ

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

4 新着ファクスを見るときと同様に画面を操作して内容を確認する

必要なファクスのみを印刷する

1 印刷したいファクスが画面に表示された状態で【スタート】を押す

- 見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。③に進んでください。
- 見ているファクスが複数ページあるときは、②に進んでください。

2 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する

- すべてのページを印刷する場合は、【全てのページをプリント】を押して、③に進みます。
- 見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、④に進みます。
- 見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、④に進みます。

3 ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す

4 家を押して操作を終了する

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 【印刷 / 消去】を押す

4 【全て印刷（新着ファクス）】または【全て印刷（既読ファクス）】を押す

【全て印刷（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

5 家を押して操作を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
メモ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

不要なファクスのみを消去する

- 1 消去したいファクスが画面に表示された状態で、を押す

【全てのページを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 2 【はい】を押す

ファクスのデータが消去されます。

- 3 を押して操作を終了する

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

- 1 【ファクス】を押す

- 2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

- 3 【印刷 / 消去】を押す

- 4 【全て消去（新着ファクス）】または【全て消去（既読ファクス）】を押す

【全て消去（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 5 【はい】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

- 6 を押して操作を終了する

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

【みるだけ受信】

【みるだけ受信】を【しない（受信したら印刷）】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

お願い

- みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
⇒ 103 ページ「必要なファクスのみを印刷する」
⇒ 103 ページ「すべてのファクスを印刷する」
- ファクスを印刷するときに使用する用紙は、【トレイ選択：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。用紙トレイの設定を行ってください。
⇒ 24 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

1 を押す

2 【みるだけ受信】(1) を押す

ボタンには現在の状態が表示されています。



3 【しない（受信したら印刷）】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。
【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

【メモリ受信】を設定している場合またはメモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。⇒手順 7 へ

5 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。⇒手順 6 へ

【全て印刷してから消去】を押すと、受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると自動的に印刷します。ここで操作は終了です。

6 【はい】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

7 を押して操作を終了する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信】を【しない（受信したら印刷）】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 用紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 用紙が詰まったとき
- 間違ったサイズ of 用紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※メモリー代行受信できるのは約 400 枚です。

ファクスの便利な受けかた

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

【親切受信】

本製品と接続している電話機で電話に出たときにファクスであれば、受話器を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。本製品を手動で操作する必要がないため、離れた場所で電話に出たときなどに便利です。

親切受信を設定する

- 1  を押す
- 2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【親切受信】を順に押す**
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 **【する】を押す**
- 4  を押して設定を終了する

親切受信でファクスを受ける

- 1 **着信音が鳴ったら、電話に出る**
ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。
- 2 **そのまま 7 秒待つ**
約 7 秒後に、自動的にファクスを受信します。
- 3 **画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す**

お願い

- 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【しない】にすることをお勧めします。

-  ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。
-  本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」
-  回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しない場合があります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」
-  親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」

自動的に縮小して受ける

【自動縮小】

用紙トレイにセットしてある用紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信します。

-  自動縮小を【する】に設定しても、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、複数枚の用紙に分割して印刷されます。
-  【トレイ選択：ファクス】で設定したトレイにセットしてある用紙の長さに対して有効です。
⇒ 24 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【する】または【しない】を押す

- 【する】：
自動縮小受信します。用紙トレイにセットしてある用紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
自動縮小受信しません。用紙トレイにセットしてある用紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

4 を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

本製品の操作で相手の原稿を受ける

【ポーリング受信】

本製品から操作して、相手側のファクス機にセットされた原稿を受けます。これを「ポーリング受信」といいます。

ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

-  相手側のファクス機にポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
-  機密ポーリング受信は、相手側のファクス機もブラザー製の場合のみ行えます。
-  ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。(カラーでの受信はできません。)
-  ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
-  相手側のファクス機がポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順①のあとで、【ファクス送信】を押してください。

2 【設定変更】を押す

3 【ポーリング受信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

4 設定を選ぶ

- 【標準】：
通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順⑥へ
- 【機密】：
パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
ポーリング受信を行いません。

5 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで4桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は24時間制で入力します。

午後3時5分の場合は、「1505」と入力します。

6 相手先のファクス番号を入力する

7 【スタート】を押す

 本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声聞こえるもの）とポーリング方式（ビーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。

 ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前にを入力してください。

 タイマーポーリング受信をやめるときは、



【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を押し、受信しないファクスを選び、【停止】を押します。

⇒ 116 ページ「送信待ちファクスを確認・中止する」

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。

順次ポーリングでは、1回の操作で、複数の相手先のファクス機にセットされた原稿を受けることができます。

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順①のあとで、【ファクス送信】を押してください。

2 【設定変更】を押す

3 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【番号追加】を押す

5 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

6 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順④へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑦へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

6 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順④へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑦へ

【検索して選択】を選んだ場合

6 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押し、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順④へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑦へ

7 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

8 【設定変更】を押す

9 【ポーリング受信】を押す

10 設定を選ぶ

- 【標準】：
通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順⑫へ
- 【機密】：
パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
ポーリング受信を行いません。

11 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで4桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は24時間制で入力します。

午後3時5分の場合は、「1505」と入力します。

12 【スタート】を押す

すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリングレポート」が印刷されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

順次ポーリング受信をやめるときは

1 ダイヤル中にを押す

【順次ポーリングをキャンセルします 現在のあて先か全ての送信先かを選択してください／ XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての順次ポーリング】と表示されます。

2 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブを中止する場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※中止をやめる場合は、を押します。

3 【はい】を押す

- すべての順次ポーリングを中止した場合は、順次ポーリングレポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。
- 送信中のジョブを中止した場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。

※中止をやめる場合は、【いいえ】を押します。

4 続けて中止する場合は ① ～ ③ を繰り返す

本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する

[リモート受信]

親切受信の設定が【しない】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【する】にします。また、リモート起動番号を変更することもできます。

- 1

を押す
- 2

【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【リモート受信】、【リモート受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3

【する】を押す

リモート起動番号が表示されます。

- 

リモート起動番号とは、本製品の外付け電話端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。
- 

リモート起動番号を変更するときは、【起動番号】を押して、1桁目は「#」のままで、下2桁の数字部分を変更してください。3桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

- 4

を押して設定を終了する

リモート受信の操作

- 1

着信音が鳴ったら本製品と接続している電話機の手話器をとる
- 2

本製品と接続している電話機の手話器を持ったまま、「#」「5」「1」を押す
「#51」は、リモート起動番号です。
- 3

画面に【受信中】と表示されたら、手話器を戻す

ファクスの受信が始まります。

- お願い

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機の手話ボタンを押して、トーン（ブッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

はじめに
お好みで設定する
コピー
デジタルファックス
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
こんなときは
付録

ファクスをメモリーで受信する

【メモリ受信】

メモリー受信を設定すると、受信したファクスを本製品のメモリーに保存したり別のファクスやパソコンなどに転送することができます。

メモリー受信には次の設定があり、1つのみ選ぶことができます。2つ以上の項目は同時に設定できません。

- ファクス転送⇒113ページ「ファクスを転送する」
- 電話呼び出し⇒131ページ「ファクスが届いたことを電話で知らせる」
- メモリ保持のみ⇒112ページ「ファクスをメモリーで受信する」
- PCファクス受信⇒114ページ「受信したファクスをパソコンに送る（Windows®のみ）」
- ファクスクラウド転送
⇒詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）
- オフ⇒115ページ「メモリー受信をやめる」

ファクスをメモリーで受信する

受信したファクスデータを本製品のメモリーに保存するとともに、自動的に印刷されます。

 【メモリ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

 保存されたファクスデータは画面で確認できません。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【メモリ保持のみ】を押す

4 を押して設定を終了する

 メモリー受信は最大400枚まで受信できます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。

メモリー受信したファクスを印刷する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【ファクス出力】を順に押す

3 【OK】を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

4 を押して設定を終了する

ファクスを転送する

受信したファクスを別のファクス機に転送したり、受信したファクスを画像データ (TIFF-F 形式) にして、指定した E メールアドレスにファイル添付して転送することができます。

(MFC-J6973CDW をお使いの場合、E メールアドレスへ転送するには、サポートサイト

(<http://support.brother.co.jp/>) からインターネットファクス機能インストールツールをダウンロードしてください。)

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

E メールアドレスへ転送するには、あらかじめネットワークの接続と設定が必要です。

- ④ 【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- ④ 【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- ④ 「みただけ受信」と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【ファクス転送】を押す

4 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号または E メールアドレスを入力し、【OK】を押す

④ E メールアドレスを入力する場合は、 を押して E メールアドレス入力用キーボードに切り替えます。

④ すでに転送先のファクス番号または E メールアドレスが登録されているときは、登録済みのファクス番号または E メールアドレスが表示されます。

転送先を変更する場合は  を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

- みただけ受信を【する (画面で確認)】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 ⑥ へ
- みただけ受信を【しない (受信したら印刷)】に設定している場合⇒手順 ⑤ へ

5 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

6 を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

受信したファクスをパソコンに送る (Windows® のみ)

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

 カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【PC ファクス受信】を押す

4 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

5 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選び、【OK】を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

 このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

- みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 7 へ
- みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 6 へ

6 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

7 を押して設定を終了する

 手順 6 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

メモリー受信の設定を変更する

メモリー受信の設定を変更する場合、印刷や転送状況に応じて、異なるメッセージが表示されます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリー受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 変更する設定を選ぶ

【オフ/ファクス転送/電話呼び出し/メモリー保持のみ/PCファクス受信/ファクスクラウド転送】から選びます。

受信ファクスの印刷や転送状況により、異なるメッセージが表示されます。

(A) 受信したファクスがすべて印刷されている場合

【ファクスを消去しますか？/はい/いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押すと、メモリーからすべてのファクスメッセージが消去され、メモリー受信の設定が変更されます。
- 【いいえ】を押すと、設定は変更されません。

(B) メモリー内に印刷されていないファクスがある場合

【全てのファクスをプリントしますか？/はい/いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押すと、メモリー内のすべてのファクスメッセージが印刷後消去され、メモリー受信の設定が変更されます。
- 【いいえ】を押すと、設定は変更されません。

(C) 未転送のファクスがある場合

メモリー受信の設定を【PCファクス受信】に変更した場合に、未転送のファクスがあるときは、【<USB>】またはネットワークに接続されているパソコン名を選び、【OK】を押します。

メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスをPCに転送しますか？/はい/いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押した場合、メモリーに保存されたファクスは、変更前のパソコンに転送されます。
- 【いいえ】を押した場合、設定は変更されません。

4 を押して設定を終了する

メモリー受信をやめる

いったん設定したメモリー受信をやめ、通常のファクス受信方法に戻す場合は、次の手順で行います。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリー受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

みるだけ受信の設定により、以下のメッセージが表示されることがあります。

- 【ファクス転送】、【PCファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：【全てのファクスをプリントしますか？/はい/いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：【ファクスを消去しますか？/はい/いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去（または印刷後消去）され、メモリー受信の設定が解除されます。

5 を押して設定を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

通信状態を確かめる

通信管理

送信待ちファクスを確認・中止する

【通信待ち一覧】

ファクスを送りたい相手が通信中などの場合、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

保留されている通信の一覧が表示されます。

- ・確認を終了するとき⇒手順 5 へ
- ・送信をやめたいとき⇒手順 3 へ

3 送信をやめるファクスを選び、【停止】を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

送信が中止されます。

5 を押して設定を終了する

通信管理レポートを印刷する

【通信管理レポート】

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。通信管理レポートは、モノクロで印刷されます。

-  A4 より小さなサイズ of 用紙は使用できません。
-  レポート印刷で使用する用紙は、【トレイ選択：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 24 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

- 1 用紙を用紙トレイにセットする
⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」
⇒ 17 ページ「用紙トレイ 2 にセットする」
- 2  を押す
- 3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 4 【OK】を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

- 5 印刷が終了したら、 を押す

出力間隔を変更する

- 1  を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【通信管理レポート】、【通信管理レポート】を順に押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 印刷間隔を選ぶ
【レポート出力しない / 50 件ごと / 6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと / 7 日ごと】から選びます。

A) 【レポート出力しない / 50 件ごと】を選んだ場合

- (1)  を押して設定を終了する

B) 【6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと】を選んだ場合

- (1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で入力し、【OK】を押す
- (2)  を押して設定を終了する

C) 【7 日ごと】を選んだ場合

- (1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で入力し、【OK】を押す
- (2) 【曜日指定】を押して、曜日を選ぶ
- (3)  を押して設定を終了する

-  通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

【送信結果レポート】

送信結果を印刷します。送信結果レポートは、モノクロで印刷されます。

-  A4 より小さなサイズの下紙は使用できません。
-  レポート印刷で使用する下紙は、【トレイ選択：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 24 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

すぐに印刷する

- 1 用紙を下紙トレイにセットする
⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」
⇒ 17 ページ「用紙トレイ 2 にセットする」
- 2  を押す
- 3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 4 【OK】を押す
- 5 印刷が終了したら、 を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

- 1  を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 設定を選ぶ
 - 【オン】：
ファクス送信後に、毎回送信結果レポートを印刷します。
 - 【オン＋イメージ】：
ファクス送信後に、毎回送信結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
 - 【オフ】：
A3、B4 サイズの原稿を送信した際に相手側のファクス機の機能に合わせてサイズが縮小されたとき、または送信エラーのときに送信結果レポートを印刷します。
 - 【オフ＋イメージ】：
A3、B4 サイズの原稿を送信した際に相手側のファクス機の機能に合わせてサイズが縮小されたとき、または送信エラーがあるときに送信結果レポートと送信したファクスの 1 ページ目を印刷します。
 - 【オフ 2】：
送信エラーがあるときだけ、送信結果レポートを印刷します。
 - 【オフ 2＋イメージ】：
送信エラーがあるときだけ、送信結果レポートと送信したファクスの 1 ページ目を印刷します。

 カラーで送信した場合や【リアルタイム送信】した場合には、送信結果レポートに画像は印刷されません。

- 4  を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

【着信履歴リスト】

着信履歴を印刷します。着信履歴リストは、モノクロで印刷されます。

-  A4 より小さなサイズの下紙は使用できません。
-  レポート印刷で使用する下紙は、【トレイ選択：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 24 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

1 用紙を下紙トレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」

⇒ 17 ページ「用紙トレイ 2 にセットする」

2 を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【OK】を押す

5 印刷が終了したら、 を押す

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

Memo

第 6 章

電話帳

電話帳を利用する	122
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	122
発信履歴や着信履歴を削除する	123
電話帳の内容を変更する	124
電話帳の内容を削除する	124
こんなときは～電話番号に登録するとき～	124
グループダイヤルに登録する	125
グループダイヤルに登録されている相手先を 変更する	126
グループダイヤルを削除する	126
パソコンを使って電話帳に登録する	126

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

電話帳を利用する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。

- ☞ ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- ☞ 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。
- ☞ 記録できる件数は、発信履歴、着信履歴とも最新の 30 件です。

1 【ファクス】を押す

2 【履歴】を押す

3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

4 電話帳に登録したい番号を選ぶ

5 【設定】を押す

6 【電話帳に登録】を押す

7 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す



名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 144 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

8 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。



- 読みがなを編集する場合⇒手順 **9** へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 **10** へ

9 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す

10 【宛先 1】に番号が入力されていることを確認する

変更したい場合は、【宛先 1】を押し、番号を変更して【OK】を押します。
必要に応じてこの相手先の 2 つ目の番号も登録できます。【宛先 2】を押して番号を入力し、【OK】を押します。

11 【OK】を押す

12  を押して登録を終了する

発信履歴や着信履歴を削除する

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【履歴】を押す
- 3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す
- 4 削除する相手先を選ぶ
- 5 【設定】を押す
- 6 【消去】を押す

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 7 【はい】を押す

選んだ番号が消去されます。
- 8 を押して操作を終了する

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

電話帳の内容を変更する

[電話帳]

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【電話帳】、【設定】、【変更】を順に押す
- 3 変更したい相手先を選ぶ
- 4 変更したい項目を選ぶ
- 5 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す
- 6 複数の項目を変更する場合は、手順 4、5 を繰り返す
- 7 【OK】を押す
- 8 を押して操作を終了する

変更した内容が反映されます。

電話帳の内容を削除する

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【電話帳】、【設定】、【消去】を順に押す
- 3 消去したい相手先を選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
- 4 【はい】を押す
- 5 を押して操作を終了する

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

選んだ番号が削除されます。

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A) 「186」または「184」を付ける場合

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。

例)

○ 186 XXX XXX XXXX

(市外局番) (市内局番) (相手先番号)

× 186 XXX XXXX

(市内局番) (相手先番号)

(B) 構内交換機 (PBX) で “0” 発信の場合

“0” のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。

(C) 国際電話の場合

国番号のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合

010+ 国番号 + ポーズ + 市外局番 + 電話番号

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合

(国際電話サービス会社指定の番号) +010+

国番号 + ポーズ + 市外局番 + 電話番号

※入力したポーズは「p」と表示されます。

グループダイヤルを登録する

【グループ登録】

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。このグループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 87 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するとき 사용합니다。グループは、6 つまで登録できます。グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

お願い

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

1 【ファクス】を押す

2 【電話帳】、【設定】、【グループ登録】を順に押す

3 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力し、【OK】を押す



名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 144 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

4 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。



- 読みがなを編集する場合⇒手順 5 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 6 へ

5 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す

6 【追加／消去】を押して、グループに登録する相手先を選んでチェックマークを付ける

7 登録する番号をすべて選び終わったら、【OK】を押す

8 登録内容を確認し、【OK】を押す

9 を押して登録を終了する

グループダイヤルに登録されている相手先を変更する

- 1 **【ファクス】を押す**
- 2 **【電話帳】、【設定】、【変更】を順に押す**
- 3 **登録内容を変更したいグループを選ぶ**
- 4 **【追加／消去】を押す**
キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲／▼を押して画面を送ります。
- 5 **追加または削除する相手先を選び、【OK】を押す**
追加したい相手を押してチェックマークを付けます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。
- 6 **変更内容を確認し、【OK】を押す**
変更内容が反映されます。
- 7 **を押して操作を終了する**

グループダイヤルを削除する

- 1 **【ファクス】を押す**
- 2 **【電話帳】、【設定】、【消去】を順に押す**
- 3 **削除するグループダイヤルを選んでチェックマークを付け、【OK】を押す**
【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 4 **【はい】を押す**
- 5 **を押して操作を終了する**

パソコンを使って電話帳に登録する

【リモートセットアップ】

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録／編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。

「リモートセットアップ」の使用方法については、ユーザーズガイド パソコン活用編をご覧ください。

第 7 章

転送・リモコン機能

外出先から本製品を操作する	128
暗証番号を設定する	128
暗証番号をリセットするときは	128
外出先から本製品を操作する	129
外出先からの操作	129
リモコンコード	130
外出先に転送する	131
ファクスが届いたことを電話で知らせる	131
電話呼び出しをやめる	131

外出先から本製品を操作する

外出先から本製品を操作できます。
電話回線のトーン信号を使って「リモコンコード」を入力し、本製品を操作します。

暗証番号を設定する

【暗証番号】

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3桁の数字または記号と*）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

お願い

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す

【0】～【9】、【*】、【#】で、頭の3桁を設定します。4桁目は強制的に「*」が付きます。暗証番号「123 *」の場合は、【1】、【2】、【3】と押し、【OK】を押します。

 暗証番号の4桁目の「*」は変更できません。

 いったん設定した暗証番号を変えるときは、手順 ③ で、以前の番号に上書きします。

4 を押して設定を終了する

暗証番号をリセットするときは

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 を長押しする

4 【OK】を押す

暗証番号が設定されていないお買い上げ時の状態に戻ります。

5 を押す

外出先から本製品を操作する

お願い

- リモコンアクセスをするときは、暗証番号の入力が必要です。あらかじめ暗証番号を設定してください。
⇒ 128 ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

外出先からの操作

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されている電話機やファクス機、またはトーン信号が送出できる電話機やファクス機からダイヤルします。

2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号（末尾*を含む4桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
ファクスメッセージが記憶されていません。
その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順③に進みます。

3 リモコンコードを入力する

⇒ 130 ページ「リモコンコード」

例) 外付け留守電モードに変更する場合は「9」「8」「1」を押します。

4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が1回聞こえます。
正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
カメラ

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第 7 章 転送・リモコン機能》

リモコンコード

コード	操作内容	
設定		
951	【メモリ受信】を【オフ】にする。(電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます。) ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する。(転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません。)	
954	ファクス転送先を設定する。	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	【メモリ受信】を有効にする。(【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります。)	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す。	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く。
971	ファクスが記憶されているかを確認する。	記憶されているとき：「ピー」という音をする。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音をする。
受信モード変更		
981	外付け留守電モードにする。	
982	自動切換えモードにする。	
983	ファクス専用モードにする。	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する。	

-  外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ 112 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
-  リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「受信モード / 着信回数の設定」
- ファクス専用モードの場合
応答後、約 4 秒間無音になるとき、またはファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
 - 自動切換えモードの場合
応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
 - 外付け留守電モードの場合
本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- ※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

外出先に転送する

ファクスが届いたことを電話で知らせる

【電話呼び出し】

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクス機からリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒ 129 ページ「外出先からの操作」

- ☞ 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
- ☞ 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
- ☞ 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更できません。
- ☞ 【電話呼び出し】を設定しても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、 【受信設定】、【メモリ受信】を順に 押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【電話呼び出し】を押す

☞ すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。

電話番号を変更する場合は  を押していったん消去し、入力し直します。
⇒ 手順 4 へ
変更しない場合は【OK】を押します。
⇒ 手順 5 へ

4 画面に表示されているテンキーで呼び出し先の電話番号を入力し、 【OK】を押す

5 を押して設定を終了する

電話呼び出しをやめる

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、 【受信設定】、【メモリ受信】を順に 押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

4 を押す

電話呼び出しが解除されます。

Memo

第 8 章

こんなときは

本章では、主に日常のお手入れについて説明しています。本製品の使いかた、機能の設定 / 解除方法については、⇒ 146 ページ「機能一覧」でご確認いただき、目的に応じたページまたはマニュアルをお読みください。

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	134
タッチパネルを清掃する	134
本製品の外側を清掃する	134
排紙ローラーを清掃する	135
本体内部を清掃する	136
インクがなくなったときは	138
インクカートリッジを交換する	139
インクカートリッジを捨てるときは	140
インク残量を確認する	140
印刷品質が良くないときは	141
定期メンテナンスについて	141
プリントヘッドをクリーニングする	141
用紙送り量を補正する	141

困ったときは

こんなときは	142
本製品の設定内容や機能を確認する	142

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

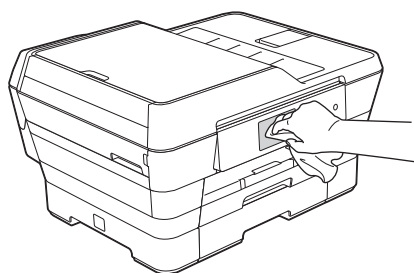
重要

- 液体の洗浄剤は使用しないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お願い

- タッチパネルを清掃するときは、誤作動を避けるため本製品の電源をオフにしてください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

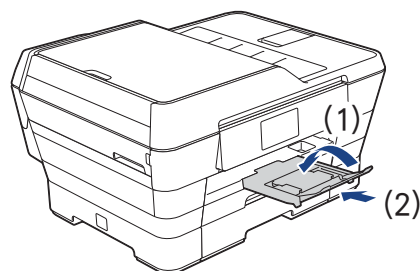


本製品の外側を清掃する

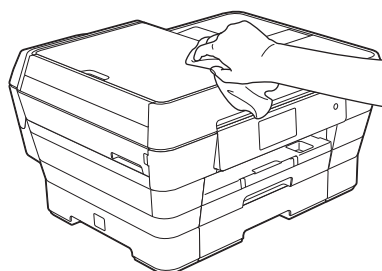
警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になるおそれがあります。

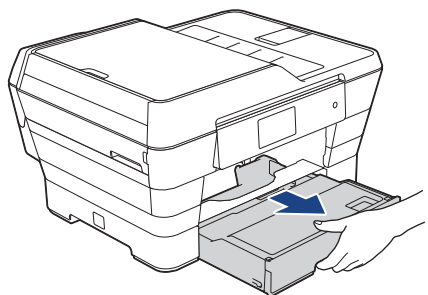
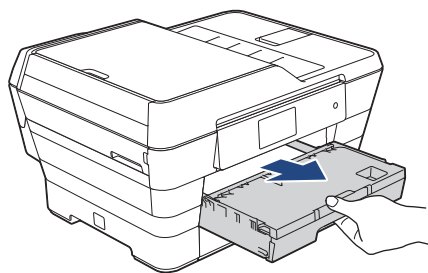
- 1 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



- 2 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く

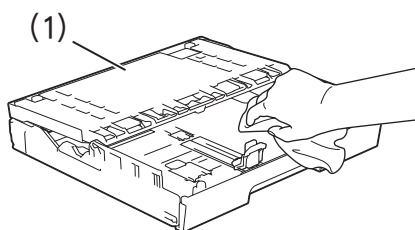


3 用紙トレイ 1、2 を引き出す

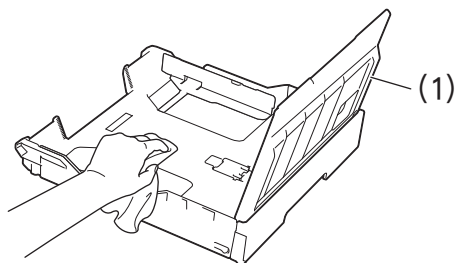


4 トレイカバー (1) を開けて用紙トレイから用紙を取り除き、用紙トレイの内側、外側を軽く拭く

●用紙トレイ 1



●用紙トレイ 2



5 トレイカバーを閉じて、用紙トレイ 1、2 を元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。

トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。

排紙ローラーを清掃する

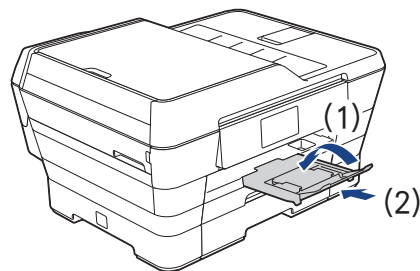
排紙ローラーが汚れていると、用紙が排出されなかったり、自動両面印刷ができなくなったりします。

排紙ローラーを拭いたあとは、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

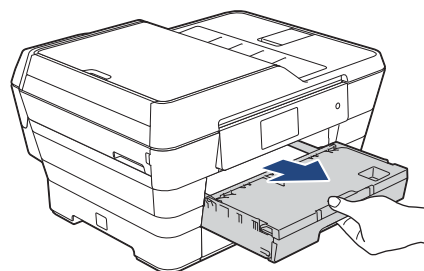
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



4 用紙トレイ 1 を引き出す



はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

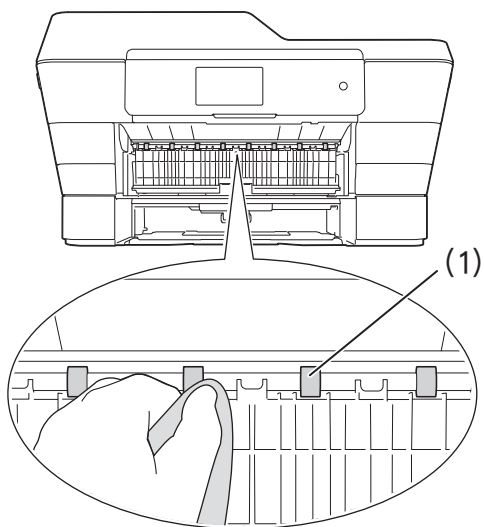
電話帳

転送・
リモコン機能

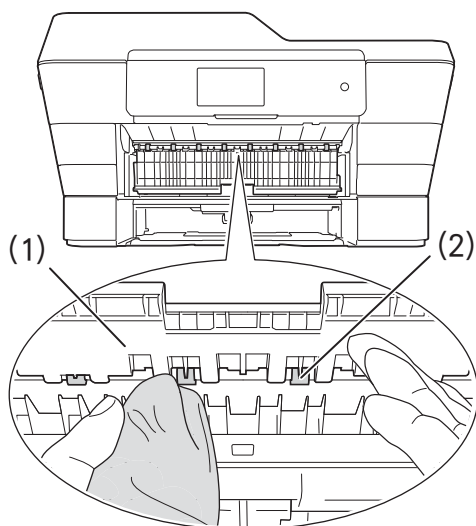
こんなときは

録
付

5 排紙ローラー (1) を拭く



**6 フラップ (1) を手前に持ち上げて
排紙ローラー (2) の裏側を拭く**



**7 用紙トレイ1をゆっくりと確実に本
体に戻す**

8 電源プラグをコンセントに差し込む

本体内部を清掃する

用紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で用紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れていることが考えられます。

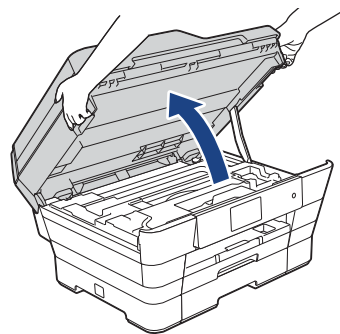
！ 警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

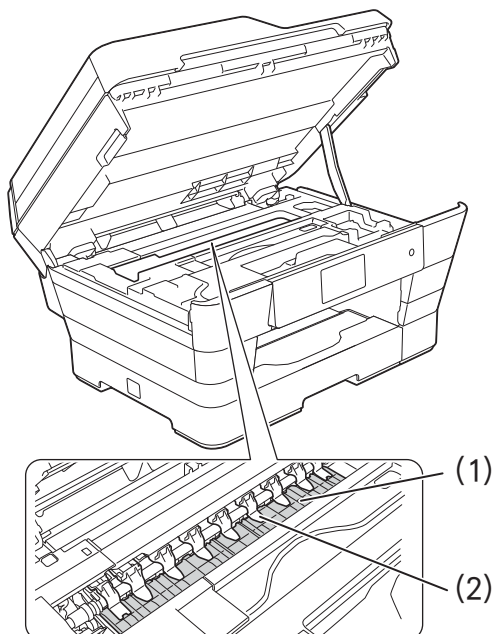


3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン (1) を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。

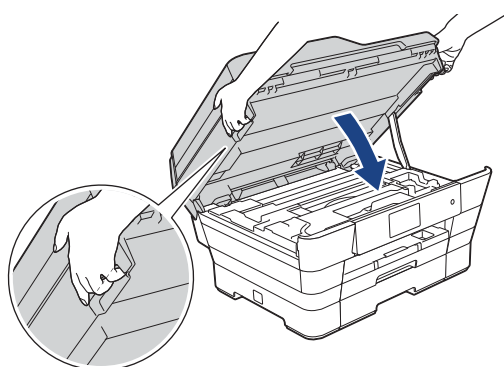
重要

■ ツメ (2) (9箇所) を触らないでください。本製品が損傷する恐れがあります。



4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。

インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

• インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】

• インクがなくなったとき：【印刷できません インク交換】

 【モノクロ片面印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を [普通紙]、カラーを [モノクロ] に設定する必要があります。
- コピーの場合は用紙タイプが【普通紙】に、ファクスの場合は用紙タイプが【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

！ 注意

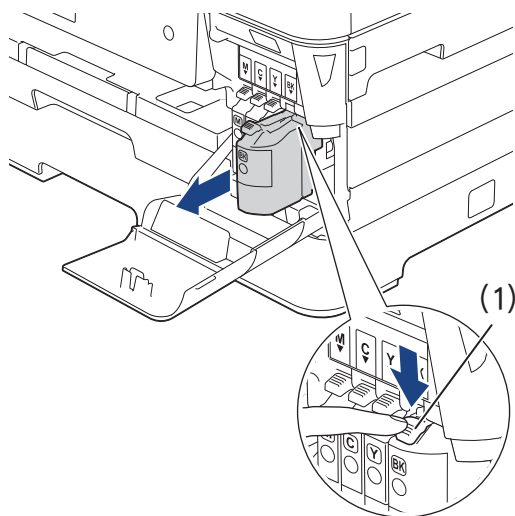
- 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

重要

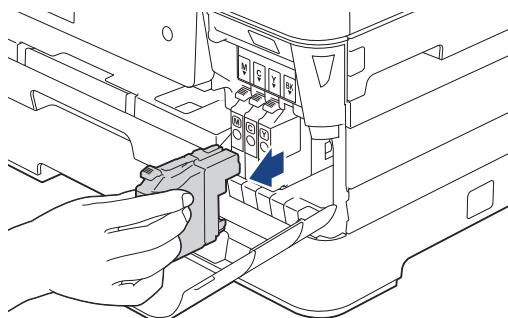
- インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー (1) を押し下げる

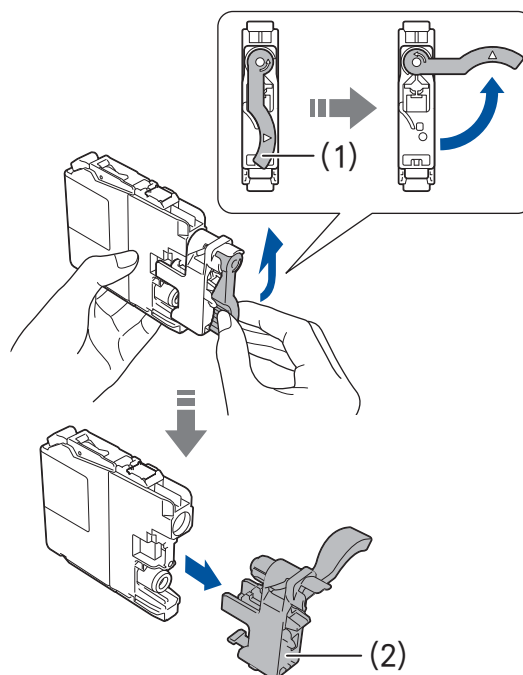


3 インクカートリッジを取り出す



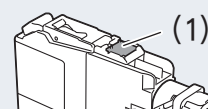
4 新しいインクカートリッジを準備する

緑色の取っ手 (1) を図のように回して封印を開放し、オレンジ色の保護カバー (2) を引き抜きます。



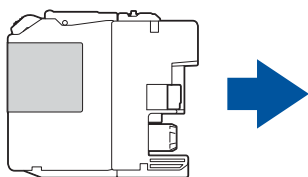
重要

- インクカートリッジの基板 (1) に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

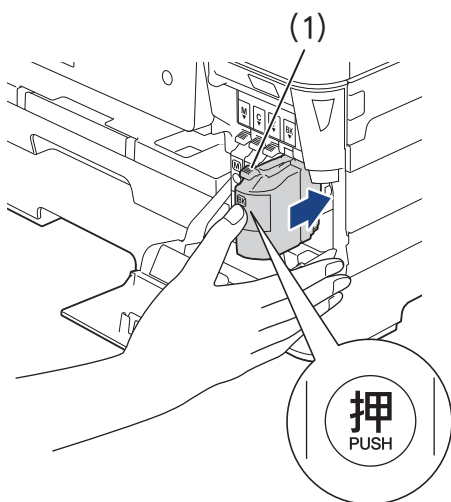


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。



リリースレバー (1) が上がるまで、「押」の部分を押込みます。



6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／(交換したインク色)／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。(インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。)

また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。

⇒ユーザーズガイド 基本編「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

【インク残量】

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 を押す

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。

 インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。

 (インク残量が少ない)

 (インクカートリッジが空)

 (インクカートリッジに問題がある)

3 を押して確認を終了する

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、状況に応じて以下の操作を行ってください。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は、自動で定期的にプリントヘッドをクリーニングします。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用ください。

プリントヘッドをクリーニングする

【ヘッドクリーニング】

印刷品質が良くないと感じたら、自動クリーニングを待たずに、下記の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを5回行っても問題が解決しない場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

 ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

- 1  を押す
- 2 **【ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決】** を押す
- 3 **クリーニングする色を選ぶ**
【ブラック／カラー／全色】から選びます。
- 4 **【スタート】** を押す

ヘッドクリーニングが開始されます。

用紙送り量を補正する

【用紙送り量の補正】

用紙送り量を補正し、印刷面に出る規則的な筋を減らすことができます。

- 1 **用紙を用紙トレイ 1 にセットする**
⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」
- 2  を押す
- 3 **【印刷品質のチェックと改善 - かすれ、スジ、ずれの改善】** を押す
- 4 **【用紙送り量の補正 - 周期スジの改善】** を押す
- 5 **【次へ】** を押し、画面の指示に従って設定を行う
- 6 **【スタート】** を押す
「用紙送り量チェックシート」が印刷されます。
- 7 印刷されたチェックシートの (A) ~ (E) パターンで、最も筋が目立たない番号を選び、**【OK】** を押す

こんなときは

困ったときは

本製品の設定内容や機能を確認する

【レポート印刷】

-  レポート印刷で使用する用紙は、【トレイ選択：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 24 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

1 用紙を用紙トレイにセットする

- ⇒ 12 ページ「用紙トレイ 1 にセットする」
⇒ 17 ページ「用紙トレイ 2 にセットする」

2 を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して画面を送ります。

4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
⇒ 118 ページ「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
電話帳に登録されている内容を印刷します。電話帳リストは、モノクロで印刷されます。
- 【通信管理レポート】：
⇒ 117 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
⇒ 119 ページ「着信履歴リストを印刷する」

5 【OK】を押す

選んだレポートが印刷されます。

第 9 章

付録

文字の入力方法	144
入力画面例	144
ひらがな / カタカナの文字の割り当て	144
機能ボタンの使いかた	145
入力制限（入力できる文字の種類や文字数）	145
入力例	145
機能一覧	146
メニューボタン	146
全てのメニューボタン	148
インクボタン	157
Wi-Fi 設定ボタン	157
セキュリティ印刷ボタン (MFC-J6990CDW のみ)	158
クラウドボタン	158
便利な A3 コピーボタン	158
インク節約コピーボタン (MFC-J6990CDW のみ)	158
お気に入りボタン	158
デジカメプリントボタン	159
ファクスボタン	162
コピーボタン	164
スキャンボタン	166
仕様	169
使用環境	176
用語解説	177
索引	179

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

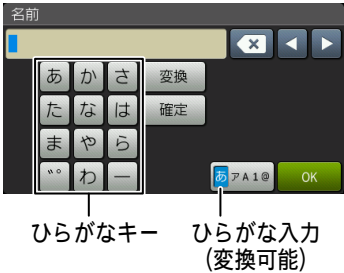
付 録

文字の入力方法

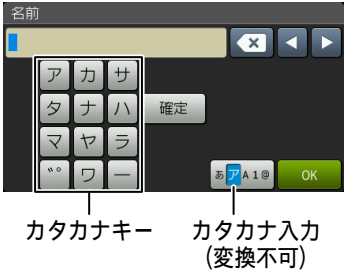
発信元登録、電話帳の登録などでは、タッチパネルの画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

入力画面例

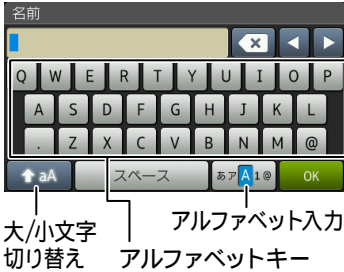
● ひらがな / 漢字入力画面



● カタカナ入力画面



● アルファベット入力画面



● 数字入力画面



● 記号入力画面



ひらがな / カタカナの文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお あいうえお	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよやゆよ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【ゝ 〃】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ アイウエオ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨヤユヨ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【ゝ 〃】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
	文字を消去します。
	カーソルを左に戻します。
	カーソルを右に移動します。 同じボタンで続けて入力する場合には、  を押します。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
	大文字と小文字を切り替えます。
【スペース】	スペースを挿入します。
【あアA1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。 押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または、数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。

 変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○*1	20
読み仮名	×	○	○	16
名前*2	○	○	○	10

1 電話帳での電話番号入力時は、0～9、「」、「#」、ポーズ（約3秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。

発信元登録での電話番号入力時は0～9、「+」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

*2 発信元登録では、16文字まで入力できます。

 漢字はJIS第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：タッチパネルを使って、「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を3回押す	す
 を1回押す	す
【さ】を3回押す	すす
【ゝ】を1回押す	すすゝ
【か】を2回押す	すすき
【変換】を1回押す	スズキ すすき 鈴木 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1@】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を4回押す	鈴木エ
【ラ】を2回押す	鈴木エリ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

機能一覧

操作パネル上のボタンを押して設定できる内容や機能は次のとおりです。画面のメッセージに従って操作してください。

メニューボタン

待ち受け画面の  を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
時計セット (現在の 設定時間 を表示)	日付	日付を設定します。	－ (2016.01.01)	⇒ 28 ページ
	時刻	時刻を設定します。	－ (00:00)	
	タイムゾーン	タイムゾーン (時刻帯) を設定します。	－ (UTC + 09:00)	⇒ 29 ページ
受信モード		現在の受信モードを表示します。		⇒基本編
メンテナンス	印刷品質の チェックと改善 - かすれ、スジ、 ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ、白スジの改善	⇒基本編
			罫線ずれの補正 - 罫線ずれ、文字ぶれ改善	⇒基本編
			用紙送り量の補正 - 周期スジの改善	インクボタン () 参照 ⇒157ページ
	ヘッドクリー ニング - ノズル詰まりの 解決	ヘッドクリーニングを行いま す。	ブラック／カラー／全色	インクボタン () 参照 ⇒157ページ
	詰まった紙片の 除去 - 繰り返し紙詰ま りの解決	詰まった紙片を取り除きます。	－	⇒基本編
	インク残量	インク残量を表示します。	－	インクボタン () 参照 ⇒157ページ
Wi-Fi	TCP/IP	TCP/IP プロトコルの設定を行 います。	－	⇒ネット ワーク編
	接続アシスタ ント	付属のドライバー&ソフトウェ アCD-ROMを使用して無線LAN 設定を行います。	－	－
	無線接続ウィ ザード	無線 LAN の機器を検索し、接続 を行います。	－	⇒かんたん 設置ガイド
	WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自 動接続を行います。	－	
	WPS (PIN コー ド)	WPS 対応の無線 LAN アクセス ポイントで PIN コードを入力し てセキュリティの設定を行いま す。	－	⇒ネット ワーク編
	無線状態	無線LANの接続状態を表示しま す。	－	
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	－	
みるだけ受信		ファクスの受信方法を表示しま す。押すとみるだけ受信にする ／しないを設定できます。	する (画面で確認) / しない (受 信したら印刷)	⇒102ページ

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
トレイ 1 (現在の用紙のサイズを表示)	用紙トレイ 1 にセットした用紙の種類とサイズを設定します。また、用紙サイズの設定値が表示されます。	用紙タイプ	普通紙 ／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム	⇒基本編
		用紙サイズ	A4 ／ A3 ／ B5 ／ B4 ／ A5 ／ ハガキ ／ 2L 判 ／ L 判	
トレイ 2 (現在の用紙のサイズを表示)	用紙トレイ 2 にセットした用紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	用紙サイズ	A4 ／ B4 ／ A3	⇒基本編
全てのメニュー	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	－		⇒148ページ

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

全てのメニューボタン

待ち受け画面の、【全てのメニュー】を押して表示される画面で、次の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
基本設定	メンテナンス	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，スジ，ずれの改善	印刷テストを行います。		印刷品質のチェックと改善 - かすれ，白スジの改善 ⇒基本編
			罫線ずれの補正 - 罫線ずれ，文字ぶれ改善		⇒基本編
			用紙送り量の補正 - 周期スジの改善		インクボタン () 参照 ⇒157ページ
		ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。		ブラック／カラー／全色 インクボタン () 参照 ⇒157ページ
		詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。		－ ⇒基本編
	インク残量		インク残量を表示します。		－ インクボタン () 参照 ⇒157ページ
	用紙トレイ設定	用紙トレイ #1	用紙トレイ 1 にセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム メニューボタン参照 ⇒146ページ
				用紙サイズ	A4／A3／B5／B4／A5／ハガキ／2L 判／L 判
		用紙トレイ #2	用紙トレイ 2 にセットした用紙のサイズを設定します。	用紙サイズ	A4／B4／A3 メニューボタン参照 ⇒146ページ
		トレイ選択：コピー	コピー時に使用する用紙トレイを設定します。	用紙トレイ #1／用紙トレイ #2／ トレイ自動選択	
		トレイ選択：ファクス	ファクス受信時に使用する用紙トレイを設定します。	用紙トレイ #1／用紙トレイ #2／ トレイ自動選択	
	静音モード		印刷時に発生する音を軽減するかどうかを設定します。		オン／ オフ ⇒ 34 ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／ 中 ／大	
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／ 小 ／中／大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／ 中 ／大	

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
基本設定	画面の設定	画面の明るさ	明るく／標準／暗く	⇒ 31 ページ
		照明ダウンタイマー	切／10 秒／20 秒／ 30 秒	
	ホームボタン設定		(MFC-J6973CDW) 基本 ／便利な機能／お気に入り 1 ／お気に入り 2／お気に入り 3 (MFC-J6990CDW) 基本 ／便利な機能 1／便利な機能 2／お気に入り 1／お気に入り 2 ／お気に入り 3	⇒ 31 ページ
	スリープモード		スリープ状態にするまでの 時間を設定します。	⇒ 33 ページ
	セキュリティ機能ロック	パスワード 設定	－	⇒ 38 ページ
		ロック オフ ⇒ オン	－	

● お気に入り設定

機能	設定項目	機能説明	参照
お気に入り設定	(お気に入りボタンを選択)	お気に入り名の編集や消去をします。	⇒ 35 ページ
		お気に入り名の 編集	
		消去	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第9章 付録》

● ファクス

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
ファクス	受信設定	受信モード	ファクスの受信方法を選びます。	FAX=ファクス専用 ／F/T=自動切換え／留守=外付け留守電／TEL=電話	⇒基本編
		呼出ベル回数	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、自動受信するまでの呼出ベル回数を設定します。	0～10（初期設定は 4 ）	⇒基本編
		再呼出ベル回数	「自動切換えモード」のとき、着信音の後に鳴る呼出音の回数を設定します。	8 ／15／20	⇒基本編
		みるだけ受信	みるだけ受信するかどうかを設定します。	する（画面で確認）／ しない（受信したら印刷）	⇒102ページ
		親切受信	自動受信する前に電話をとった場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	する／ しない	⇒106ページ
		リモート受信	本製品と接続している電話機からファクスを受信する機能を設定します。	する／ しない	⇒111ページ
		自動縮小	【用紙サイズ】で設定した用紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかどうかを設定します。	する ／しない	⇒107ページ
		メモリ受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	オフ ／ファクス転送／電話呼び出し／メモリ保持のみ／PCファクス受信／ファクスクラウド転送 ※みるだけ受信が設定されていない状態で、ファクス転送、PCファクス受信を選択した場合は、本体で印刷する／しないを設定します。	⇒112ページ ⇒131ページ
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン＋イメージ／オフ／ オフ＋イメージ ／オフ2／オフ2＋イメージ	⇒118ページ
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／ 50件ごと ／6時間ごと／12時間ごと／24時間ごと／2日ごと／7日ごと	⇒117ページ
				印刷時刻指定（初期設定は 00:00 ）	
				曜日指定 月曜日ごと ／火曜日ごと／水曜日ごと／木曜日ごと／金曜日ごと／土曜日ごと／日曜日ごと	
	ファクス出力		みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	－	⇒112ページ
	暗証番号		外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	－ － － *	⇒128ページ
	ダイヤル制限機能	直接入力	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。送る状況によって、別々の設定ができます。	2度入力／オン／ オフ	⇒100ページ
		電話帳			
		お気に入り			
	通信待ち一覧		送信待ちデータなどの設定を確認したり送信をやめたりできます。	－	⇒116ページ

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
ファクス	ナンバーディスプレイ	ナンバー・ディスプレイサービスを使用する/しないを設定します。	あり（本製品に表示）／あり（外付け電話に表示）／ なし	⇒基本編
	データコネクト設定	IPファクス	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒101ページ
		送信速度	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	
			専用／優先／ オフ	
			自動 ／標準／高速／最高速	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

《第 9 章 付録》

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合は、ユーザズガイド ネットワーク編をご覧ください。

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。 Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			サブネット マスク	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ノード名	BRNxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	Auto / Static
			WINS サーバー	—
			DNS サーバー	—
			APIPA	オン / オフ
			IPv6	オン / オフ
		イーサネット		Auto / 100B-FD / 100B-HD / 10B-FD / 10B-HD
		有線 LAN 状態		アクティブ 100B-FD / アク ティブ100B-HD / アクティブ 10B-FD / アクティブ10B-HD / 未接続 / 有線 LAN オフ
		MAC アドレス		—
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			サブネット マスク	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ノード名	BRWxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	Auto / Static
			WINS サーバー	—
			DNS サーバー	—
			APIPA	オン / オフ
			IPv6	オン / オフ
		接続アシスタント		—

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定)	
ネットワーク	無線 LAN	無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－	
		WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－	
		WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	－	
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
			電波状態	無線 LAN の電波状態を 4 段階 (強い／普通／弱い／なし) で表示します。	－
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID (ネットワーク名) を表示します。	(32 文字まで表示)
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	－
	MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－	
	Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続		ボタンを押すだけで簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－
		PIN コード接続		WPS (PIN 方式) で簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－
		手動接続		手動で Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－
		グループ オーナー		本製品をグループオーナーに設定できます。	オン／オフ
		デバイス情報	デバイス名	デバイス名を表示します。	－
			SSID	グループオーナーの SSID (ネットワーク名) を表示します。(自分の SSID) ／ (接続相手の SSID) ／ 未接続	－
			IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。	－
		接続情報	接続状態	接続状態を表示します。	－
			電波状態	電波状態を 4 段階 (強い／普通／弱い／なし) で表示します。	－
		インターフェース有効		Wi-Fi Direct® 接続の有効 / 無効を設定します。	オン／ オフ
	NFC		NFC 機能の有効／無効を切り替えます。	オン ／オフ	
	E メール /iFAX *1	メール アドレス		本製品のメールアドレスを設定します。	xxxxx@example.com (60 文字以内)
		サーバー設定	SMTP サーバー	SMTP メールサーバーの IP アドレスまたはサーバー名を設定します。	名前／ IP アドレス
			SMTP ポート	SMTP メールサーバーのポートを指定します。	1 ～ 65535 (初期値 25)
			SMTP Auth.	ユーザー認証を必要とする SMTP サーバーを経由して E メールを送信する場合、認証の設定を行います。	認証しない ／SMTP Auth.／POP before SMTP

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

《第 9 章 付録》

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	E メール / FAX *1	サーバー設定	SMTP over SSL/TLS	認証しない / SSL / TLS
			SMTP 証明書の検証	オン / オフ
			POP3 サーバー	名前 / IP アドレス
			POP3 ポート	1 ～ 65535 (初期値 110)
			アカウント名	—
			パスワード	—
			POP3 over SSL/TLS	認証しない / SSL / TLS
			POP3 証明書の検証	オン / オフ
			APOP	オン / オフ
		メール 受信設定	自動受信	定期的に POP3 サーバーへメールが届いているかチェックします。
			ポーリング間隔	自動受信で【オン】を選んだ場合に、POP3 サーバーへアクセスする間隔を設定します。
			ヘッダー印刷	インターネットファクス、E メール受信時にヘッダーの印刷を行うかどうかを設定します。
			エラーメール削除	POP3 サーバーから取得できなかったメールを削除します。
			受信確認	インターネットファクス受信時に、送信者に受信したことを通知するよう設定します。
		メール 送信設定	メール タイトル	E メール送信時のタイトルを設定します。
			サイズ制限	1MBを超えるEメール受信時にメール送信を中断するよう設定できます。
			受信確認要求	インターネットファクス送信時に、受信側から確認メッセージを受け取るよう設定します。

機能	設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	Eメール /FAX *1	リレー 設定	リレー 許可	リレー配信を行うかどうかを設定します。	オン／ オフ
			許可 ドメイン	本製品を経由して転送が可能なドメイン名を設定します。	－
			リレー レポート	本製品を経由してインターネットファクス転送が行われたとき、レポートを出力するかどうかを設定します。	オン／ オフ
		手動受信		POP3 サーバーへメールが届いているかを手動でチェックします。	－
	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／ オフ
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	－
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	(8080)
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	－
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	－
	有線／無線切替え			有線LAN／無線LANを切り替えます。	有線 LAN ／無線 LAN
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	－

^{*1} MFC-J6973CDW は、インターネットファクス機能のソフトウェアをインストールした場合に表示されます。
サポートサイト (<http://support.brother.co.jp/>) からインターネットファクス機能インストールツールをダウンロードしてください。

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒ 118 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒ 142 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒ 117 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 142 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワーク接続(有線 LAN または無線 LAN) の設定内容を印刷します。	⇒ 142 ページ
	無線 LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 142 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒ 119 ページ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒ 基本編
	ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。	⇒ 基本編

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

録
付

《第9章 付録》

● 初期設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
初期設定	日時設定	日付	－ (2016.01.01)	メニュー ボタン参照 ⇒146ページ
		時刻	－ (00:00)	
		タイムゾーン	－ (UTC + 09:00)	
	発信元登録	ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス：－ 名前：－	⇒基本編
	回線種別設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ダイヤル 20PPS ／自動設定	⇒ 42 ページ
	ファクス自動再ダイヤル	ファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	オン／オフ	⇒ 98 ページ
	ダイヤルトーン設定	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	検知する／検知しない	⇒基本編
	外線番号	構内交換機 (PBX) などを使用している場合に、ファクス番号の頭にダイヤルする必要のある識別番号をあらかじめ設定しておくことができます。	オン／オフ	⇒ 99 ページ
	特別回線対応	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	一般／PBX／光・ISDN	⇒基本編
	安心通信モード	安心通信モードに設定します。	高速／標準／安心 (VoIP)	⇒基本編
	工場出荷 設定リセット	機能設定リセット	－	⇒基本編
		ネットワーク設定リセット	－	
		電話帳 & ファクスリセット	－	
		全設定リセット	－	
	表示言語設定	画面に表示される言語を設定できます。This Setting allows you to change LCD Language to English.	日本語／英語	⇒ 32 ページ

● サービス (エラーが発生したときにのみ表示されます)

機能	設定項目	機能説明	参照
サービス	ファクス転送	ファクスが印刷できない場合に、待機中のファクスデータを別のファクス機に転送することができます。	⇒基本編
	レポート転送	ファクスが印刷できない場合に、通信管理レポートを別のファクス機で印刷することができます。	⇒基本編

インクボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
インク残量	インク残量を表示します。	—	⇒140ページ
印刷品質のチェックと改善 - かすれ, スジ, ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ, 白スジの改善	⇒基本編
		罫線ずれの補正 - 罫線ずれ, 文字ぶれ改善	⇒基本編
		用紙送り量の補正 - 周期スジの改善	⇒141ページ
ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック/カラー/全色	⇒141ページ
詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	—	⇒基本編

Wi-Fi 設定ボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、無線 LAN の設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	⇒かんたん 設置ガイド
PC を使って設定する	パソコンから無線 LAN を設定します。	
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	⇒ ネット ワーク編
WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

セキュリティ印刷ボタン（MFC-J6990CDW のみ）

セキュリティ印刷が設定されたデータを印刷する場合に使用します。

待ち受け【便利な機能 1】画面の  を押して表示される画面で、ユーザー名、印刷ジョブの順に指定し、パスワードを入力して、印刷を実行します。

セキュリティ印刷の設定や印刷方法について詳しくは、「ユーザーズガイド パソコン活用編」をご覧ください。

クラウドボタン

待ち受け【便利な機能】画面（MFC-J6990CDW は【便利な機能 1】画面）の  を押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）からダウンロードできます。）

便利な A3 コピーボタン

待ち受け【便利な機能】画面（MFC-J6990CDW は【便利な機能 1】画面）の  を押して表示される画面で、A3 原稿や A3 用紙を使ったいろいろなコピーができます。

設定項目	機能説明	参照
A3 2in1	A4 原稿 2 枚を A3 用紙 1 枚に並べてコピーします。	⇒ 62 ページ
A3 等倍	A3 原稿 1 枚を等倍（100%）でコピーします。	
A4 ⇒ A3 拡大	A4 原稿 1 枚を A3 用紙 1 枚に拡大（141%）してコピーします。	
A3 ⇒ A4 縮小	A3 原稿 1 枚を A4 用紙 1 枚に縮小（69%）してコピーします。	
A4 + ノート（横）	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に横罫線を配置します。	
A4 + ノート（縦）	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に縦罫線を配置します。	
A4 + 方眼	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に方眼罫を配置します。	
A4 + メモ	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側いっぱいを空白にします。	
A4 センター	A4 原稿 1 枚を原寸で A3 用紙の中央にコピーします。	

インク節約コピーボタン（MFC-J6990CDW のみ）

待ち受け【便利な機能 2】画面の  を押すと、インク節約コピーモードになります。文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。

お気に入りボタン

待ち受け画面の【お気に入り】を押して表示される画面で、よく使う機能や設定を「お気に入り」として登録することができます。⇒ 35 ページ「お気に入りを登録する」

デジカメプリントボタン

待ち受け【便利な機能】画面（MFC-J6990CDW は【便利な機能 2】画面）の  を押して表示される画面で、画像の閲覧、プリントおよび関連する各種の設定ができます。
デジカメプリントのメニューを選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、より細かいプリント条件が【印刷設定】メニューから変更できます。【印刷設定】メニューについては、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
インデックス	インデックスシートの印刷または番号を指定して写真のプリントをします。	インデックスシート		⇒70ページ
		番号指定プリント		⇒71ページ
かんたん印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。	(サムネイル)		⇒基本編
		全て1枚選択	写真のプリント枚数をすべて1枚に設定します。 設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。	⇒69ページ
こだわり印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。	(サムネイル)	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正 ^{*1} 色あざやか補正 ^{*1} 赤目補正 夜景補正 ^{*1} 逆光補正 ^{*1} ホワイトボード補正 モノクロ セピア 自動色補正 & 赤目補正
			トリミング	－
			お好み色補正 & トリミング (お好み色補正とトリミングを順番に行います。)	
証明写真プリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を証明写真用のサイズで複数並べてプリントします。	(サムネイル)	写真サイズ	30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm
スライド表示	スライド表示の写真1枚あたりの表示時間や効果の設定ができます。	切り替え時間		3秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分
		スライドショー効果		オフ / スライドイン / フェードイン / ズームイン

^{*1} 画像を補正した結果を基点に±1色調の変更ができます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第9章 付録》

プリント前に表示される確認画面で【印刷設定】を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	デジカメプリントの種類							
			インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷			証明写真プリント	スライド表示中のプリント
			インデックスシート	番号指定プリント		お好み色補正	トリミング	お好み色補正&トリミング		
印刷設定	プリント画質*1	プリント時の画質を設定します。	標準／ きれい		○	○	○	○	○	○
	用紙タイプ	用紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ ブラザーBP71光沢／その他光沢		○	○	○	○	○	○
			普通紙／インクジェット紙／ ブラザーBP71光沢／その他光沢	○						
	用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。	L判 ／2L判／ハガキ／A4／A3*2		○	○	○	○	○	○
	プリントサイズ	用紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm／9x13cm／10x15cm／13x18cm／15x20cm／ 用紙全体に印刷		○	○	○	○		○
	自動色補正*1	自動で色や明るさを補正します。	する／ しない			○				○
	画像補正*1	自動で色や赤目を補正します。	オフ ／自動色補正／赤目補正／自動色補正&赤目補正						○	
	明るさ	プリントの明るさを調整します。	-2／-1／ 0 ／+1／+2		○	○		○		○
	コントラスト	プリントのコントラスト(色の濃度)を調整します。	-2／-1／ 0 ／+1／+2		○	○		○		○
	画質強調	<ホワイトバランス>画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2／-1／ 0 ／+1／+2 しない		○	○		○		○
		<シャープネス>画像の輪郭部分のシャープさを調整します。			○	○		○		○
		<カラー調整>画像のカラー全体の濃度を調整します。			○	○		○		○
	画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	する ／しない		○	○	○	○		○
	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	する ／しない		○	○	○	○		○
	日付印刷*1	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／ しない		○	○	○	○		○

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	デジカメプリントの種類						
				インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷			証明写真プリント スライド表示中のプリント
				インデックスシート	番号指定プリント		お好み色補正	トリミング	お好み色補正&トリミング	
印刷設定	設定を保持する	変更した設定を保持します。	—		○	○	○	○	○	○
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—		○	○	○	○	○	○

*1 DPOF 印刷の場合は表示されません。

*2 証明写真プリントの場合は、A3 サイズは表示されません。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

《第9章 付録》

ファクスボタン

待ち受け画面の【ファクス】を押して表示される画面で、ファクスの送受信、閲覧および関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信*1 設定変更	オンフック	受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。			—
	再ダイヤル (ポーズ)	直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルから、ポーズボタンに変わります。			—
	電話帳	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	検索		—
			設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去	⇒基本編 ⇒124ページ
			送信先に設定		⇒基本編
	履歴	発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前も表示)	送信先に設定		⇒84ページ
			設定	電話帳に登録／消去	⇒122ページ
	ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	標準 / ファイン / スーパーファイン / 写真		⇒82ページ
	両面ファクス	両面印刷された原稿を1度の操作で読み取り、ファクス送信できます。	オフ / 両面スキャン：長辺綴じ原稿 / 両面スキャン：短辺綴じ原稿		⇒86ページ
	原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	自動 / 濃く / 薄く		⇒82ページ
	ガラス面読取サイズ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	A4 / B4 / A3		⇒82ページ
	同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	番号追加	番号追加 電話帳から選択 検索して選択	⇒87ページ
	みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する / しない		⇒89ページ
	カラー設定	相手にモノクロ / カラーのどちらで送るかを設定します。	モノクロ / カラー		⇒83ページ
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	タイマー送信	する / しない	⇒91ページ
			指定時刻	— (現在時刻を表示)	
	とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する / しない		⇒92ページ
	リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する / しない		⇒93ページ
	ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	標準 / 機密 / しない		⇒94ページ
	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準 / 機密 / タイマー / しない		⇒108ページ

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信 ^{*1}	設定変更	海外送信モード	する／ しない		⇒ 95 ページ
		設定を保持する	変更した以下の設定を保持できます。 ファクス画質・原稿濃度・ガラス面読取サイズ・みてから送信・リアルタイム送信・カラー設定		⇒ 83 ページ
		設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。		⇒ 83 ページ
	お気に入り登録		ファクスに関する下記の設定を名前を付けて登録しておくことができます。 送信先・ファクス画質・両面ファクス・原稿濃度・ガラス面読取サイズ・同報送信・みてから送信・カラー設定・リアルタイム送信・海外送信モード		—
受信ファクス ^{*1}		受信したファクスの一覧を表示します。画面で閲覧ができます。	印刷／消去	全て印刷 (新着ファクス)／ 全て印刷 (既読ファクス)／ 全て消去 (新着ファクス)／ 全て消去 (既読ファクス)	⇒103ページ
電話帳 ^{*1}		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	検索		—
			設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去	⇒基本編 ⇒124ページ
			送信先に設定		⇒基本編
履歴 ^{*1}		発信／着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前も表示)	送信先に設定		⇒ 84 ページ
			設定	電話帳に登録／消去	⇒122ページ

^{*1} みるだけ受信をするように設定しているときにのみ表示されるメニューです。みるだけ受信をしない場合は、【ファクス】のあと、【ファクス送信】の次階層のメニューが直接表示されます。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

コピーボタン

待ち受け画面の【コピー】を押して表示される画面で、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
	高画質	よく使う機能として、本製品にあらかじめ設定されているコピーのメニューです。（プリセット）		⇒ 48 ページ
	標準			
	片面 ⇒ 両面			
	両面 ⇒ 両面			
	ADF 高速モード			
	A3 等倍			
	A4 ⇒ A3 拡大			
	2in1（ID カード）			
	2in1			
	ポスター			
	インク節約			
	ブック			
設定変更	ADF 高速モード	ADF（自動原稿送り装置）から A4 サイズの原稿を横向きに読み取ります。	オン／ オフ	⇒ 50 ページ
	コピー画質	印刷品質に合わせて設定します。	標準 ／高画質	⇒ 50 ページ
	用紙タイプ	用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	普通紙 ／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム ※【用紙トレイ選択】で【用紙トレイ #2】が選択されている場合は【普通紙】に固定されるため設定できません。	⇒ 50 ページ
	用紙サイズ	用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	【用紙トレイ選択】で【用紙トレイ #1】または【トレイ自動選択】が選択されている場合 A4 ／A3／B5／B4／A5／ハガキ／2L 判／L 判 【用紙トレイ選択】で【用紙トレイ #2】が選択されている場合 A4 ／A3／B4	⇒ 50 ページ
	用紙トレイ選択	使用する用紙トレイを設定します。	用紙トレイ #1／用紙トレイ #2／ トレイ自動選択	⇒ 50 ページ
	拡大／縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	等倍 100%	⇒ 51 ページ
			拡大	
			縮小	
			用紙に合わせる	
			カスタム (25-400%)	
	コピー濃度	濃度を調整します。	- 2 / - 1 / 0 / + 1 / + 2	⇒ 51 ページ
	スタック／ソート	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	スタックコピー ／ソートコピー	⇒ 52 ページ

設定変更

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照	
レイアウト コピー		複数枚の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	オフ（1in1）／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 2in1（ID カード）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ 2 枚に分割／ポスター（2x1）／ポスター（2x2）／ポスター（3x3）		⇒ 53 ページ	
レイアウト 選択		A3またはB4サイズ of 用紙をセットし、【レイアウト コピー】で【2 in1】または【ポスター（2x2）】を選択した場合に設定します。	B4 サイズで【2in1】選択時 B5x2 ⇒ B4x1／B4x2 ⇒ B4x1 A3 サイズで【2in1】選択時 A4x2 ⇒ A3x1／A3x2 ⇒ A3x1 A3 サイズで【ポスター（2x2）】選択時 A4x1 ⇒ A3x4／A3x1 ⇒ A3x4			
傾き補正		原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーするときに、原稿の傾きを自動的に補正します。	自動／オフ		⇒ 56 ページ	
両面コピー		原稿の両面を 1 度に読み取り、両面 1 枚または片面 2 枚にコピーできます。また、原稿の片面を 1 枚ずつ読み取り、両面 1 枚にコピーすることもできます。	オフ／両面⇒両面／ 片面⇒両面 長辺綴じ原稿／ 両面⇒片面 長辺綴じ原稿／ 片面⇒両面 短辺綴じ原稿／ 両面⇒片面 短辺綴じ原稿		⇒ 57 ページ	
			あんしん設定	オフ／あんしん 1 ／あんしん 2		
便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	－		－	
	インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	－		⇒ 59 ページ	
	裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	－		⇒ 59 ページ	
	ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。	－		⇒ 60 ページ	
	透かしコピー	コピー画像に5種類のテキストの中から 1 つを選んで、好みの位置、角度、濃度、色で重ねることができます。	テキスト	CONFIDENTIAL／重要／ COPY／社外秘／至急		⇒ 60 ページ
			位置	A／B／C／D／E／ F／G／H／I／ 全面に印刷		
			サイズ	小／中／大		
			回転	-90°／-45°／0°／ 45°／90°		
			透過度	-2／-1／0／+1／+2		
			色	黒／緑／青／紫／赤／ オレンジ／黄		
地色除去コピー	カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。	弱／中／強		⇒ 61 ページ		
お気に入り登録		以下のコピーの機能を好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。 ADF 高速モード・コピー画質・用紙タイプ・用紙サイズ・用紙トレイ選択・拡大 / 縮小・コピー濃度・スタック / ソート・レイアウト コピー・レイアウト選択・傾き補正・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー			⇒ 51 ページ	

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

スキャンボタン

待ち受け画面の【スキャン】を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、ファイルの保存条件が変更できます。スキャンファイルの設定変更については、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
OCR	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
ファイル	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	PC 選択	
イメージ	スキャンした画像をパソコンに保存します。	PC 選択	
メディア	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	－	
E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	PC 選択	
E メール送信 *1	スキャンした画像を E メール の添付ファイルにして送信します。	電話帳	
		手動入力	
FTP サーバー	スキャンしたデータを指定した FTP サーバーに保存します。	プロファイル名選択	
ネットワーク	スキャンしたデータをネットワーク上のパソコンに保存します。	プロファイル名選択	
Web サービス *2	スキャンした画像を Web サービススキャンで使用することができます。	スキャン	
		電子メール用にスキャン	
		FAX 用にスキャン	
		印刷用にスキャン	

*1 MFC-J6973CDW は、インターネットファクス機能のソフトウェアをインストールした場合に表示されます。
サポートサイト (<http://support.brother.co.jp/>) からインターネットファクス機能インストールツールをダウンロードしてください。

*2 Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

スキャンの種類を選んだあと、保存するファイルの以下の設定内容を変更および確認することができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定 値)	スキャンの種類							
			OCR	ファイル	イメージ	メディア	Eメール添付	Eメール送信 ^{*1}	FTPサーバー	ネットワーク
設定変更	両面スキャン	両面印刷された原稿を1度の操作で読み取り、スキャンします。	○	○	○	○	○	○	○	○
	本体から設定する ^{*2}	スキャンの設定を本体から変更できます。	○	○	○		○			
	ADF 高速モード ^{*3}	ADF（自動原稿送り装置）から A4 や B5 サイズの原稿を横向きに読み取ります。	○	○	○	○	○	○	○	○
	カラー設定 ^{*3}	カラーを設定します。	○							
				○	○	○	○	○	○	○
	解像度 ^{*3*4}	解像度を設定します。	○	○	○		○			
						○		○	○	○
	ファイル形式 ^{*3*5}	ファイル形式を設定します。	○							
				○	○	○	○	○	○	○
	スキャンサイズ ^{*3}	スキャンする原稿のサイズを設定します。	○	○	○	○	○	○	○	○
	ADF 長尺原稿モード	ADF（自動原稿送り装置）にセットした原稿サイズでスキャンします。				○		○	○	○
	ファイル名	ファイル名を設定します。				○			○	○

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

《第9章 付録》

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定 値)	スキャンの種類							
				OCR	ファイル	イメージ	メタデータ	Eメール添付	Eメール送信 ^{*1}	FTPサーバー	ネットワーク
設定変更	地色除去 ^{*3}	原稿の地色（用紙色または背景色）を消して読み取ります。	オフ／弱／中／強		○	○	○	○		○	○
	ユーザー名	ユーザー名を設定します。								○	○
	設定を保持する	以下の設定を好みの値で保持します。 ADF 高速モード・カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・おまかせ一括スキャン・ADF 傾き補正 (MFC-J6990CDW のみ)・地色除去					○				
		以下の設定を好みの値で保持します。 ADF 高速モード・カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード							○		
	設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。					○		○		
お気に入り登録		PC 名をお気に入りに登録できます。		○	○	○		○			
		以下の設定を好みの値でお気に入りに登録できます。 ADF 高速モード・両面スキャン・カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード・ファイル名・おまかせ一括スキャン・ADF 傾き補正 (MFC-J6990CDW のみ)・白紙除去・地色除去					○				
		以下の設定を好みの値でお気に入りに登録できます。 送信先・ADF 高速モード・両面スキャン・カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード							○		
		プロファイル名をお気に入りに登録できます。								○	○

^{*1} MFC-J6973CDW は、インターネットファクス機能のソフトウェアをインストールした場合は表示されます。
サポートサイト (<http://support.brother.co.jp/>) からインターネットファクス機能インストールツールをダウンロードしてください。

^{*2} 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト **ControlCenter** がインストールされていない場合は表示されません。

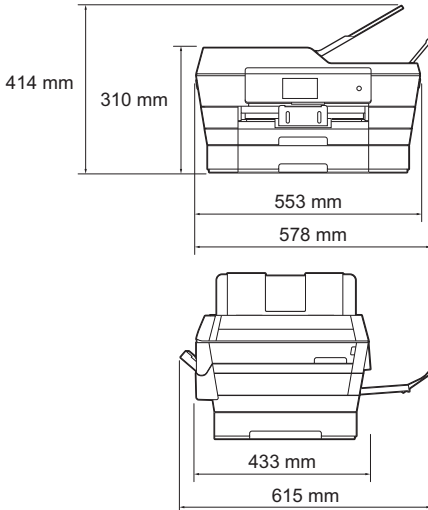
^{*3} OCR、ファイル、イメージ、Eメール添付では、【本体から設定する】で【オン】に設定した場合にのみ選択できます。

^{*4} 選択できる設定値は、スキャンの種類によって異なります。

^{*5} 【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。灰色表示される形式は選べません。

仕様

基本設定

記録方式	インクジェット式
メモリー容量	256MB
LCD（液晶ディスプレイ）	Wide 3.7型 TFTカラー LCD（Wide 9.3cm/93.4mm TFT Color LCD）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 ^{*1}	コピー時：約30W ^{*2} 稼動準備時：約5.5W ^{*3} スリープモード時：約1.5W ^{*3} 電源OFF時：約0.04W ^{*3*4}
外形寸法	
製品重量 ※インクカートリッジを含む	16.5kg
稼動音（音圧レベル）	動作時：約50dB（A） ^{*5}
稼働音（音響レベル） ^{*6}	コピー時（モノクロ）： 6.26B（A） コピー時（カラー）： 6.21B（A） スタンバイ時： 3.03B（A）
温度	動作保証温度： 10～35℃ 最高印刷品質保証温度： 20～33℃
湿度 ※結露なきこと	動作保証湿度： 20～80% 最高印刷品質保証湿度： 20～80%
ADF（自動原稿送り装置） 積載枚数	35枚（用紙坪量：80g/m ² 、A4）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大297mm 長さ：最大431.8mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：148mm～297mm 長さ：148mm～431.8mm

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

《第 9 章 付録》

- *1 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。
- *2 ADF 使用、片面印字、片面読取、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン
- *3 IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。
- *4 ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度電源 OFF 状態となります。
- *5 お使いの機能により数値は変わります。
- *6 表示 A 特性音響パワーレベル L_{wAd} が 6.30B (A) を超える画像機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。

印刷用紙

給紙	用紙トレイ 1 ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙 ^{*1} 、OHPフィルム ^{*1 *2} ■用紙サイズ^{*3}： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル、A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、DL封筒、Com-10、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：250枚（80g/m² 普通紙）
	用紙トレイ 2 ■用紙タイプ： 普通紙 ■用紙サイズ^{*3}： 《横方向》 A4、USレター 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：250枚（80g/m² 普通紙）
	手差しトレイ ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙 ^{*1} 、OHPフィルム ^{*1 *2} 、封筒 ■用紙サイズ^{*3}： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル、A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、DL封筒、Com-10、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：1枚
排紙	最大50枚（80g/m ² 普通紙）（用紙は印刷面を上にして排出されます。）

^{*1} 光沢紙や OHP フィルムを使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

^{*2} OHP フィルムは、インクジェット印刷に推奨のものをご使用ください。

^{*3} 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒10ページ「使用できる用紙」

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

ファクス

型式	ITU-T Super Group3
通信速度	最大33,600bps（自動フォールバック機能付き）
最大有効読取幅	原稿台ガラス使用時：288mm（A3原稿読み取り時） ADF（自動原稿送り装置）使用時：288mm（A3原稿読み取り時）
最大有効読取幅（両面）	288mm（A3原稿読み取り時）
最大有効記録幅	291mm
ハーフトーン	モノクロ：8ビット（256階調） カラー：24ビット（一色につき8ビット/256階調）
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85本/mm • ファイン/写真：7.7本/mm • スーパーファイン：15.4本/mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7本/mm • ファイン：7.7本/mm • 「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号またはEメールアドレス ^{*1}
グループ登録	最大6件
同報送信	250件（200件（電話帳）/50件（ダイヤルボタン））
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 ^{*2}	最大400枚
メモリー代行受信 ^{*2}	最大400枚

^{*1} MFC-J6973CDW は、インターネットファクス機能のソフトウェアをインストールした場合に E メールアドレスを使用できます。サポートサイト（<http://support.brother.co.jp/>）からインターネットファクス機能インストールツールをダウンロードしてください。

^{*2} A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本/mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー/モノクロ	対応/対応
コピー読み取り幅	291mm（A3原稿読み取り時）
連続複写枚数	スタック/ソート 最大99枚
拡大縮小	25～400（%）
解像度	最大1200dpi×2400dpi
自動両面コピー	• 用紙タイプ：普通紙 • 用紙サイズ：A3、B4（JIS）、A4、B5（JIS）、A5

デジカメプリント

互換性のあるメディア ^{*1}		・メモリースティック デュオ™ (16MB－128MB) ・メモリースティック PROデュオ™ (256MB－32GB) ・メモリースティック マイクロ™ (M2™) (256MB－32GB) (アダプターが必要です。) ・マルチメディアカード (32MB－2GB) ・マルチメディアカード プラス (128MB－4GB) ・マルチメディアカード モバイル (64MB－1GB) (アダプターが必要です。) ・SDメモリーカード (16MB－2GB) ・miniSDカード (16MB－2GB) (アダプターが必要です。) ・microSDカード (16MB－2GB) (アダプターが必要です。) ・SDHCメモリーカード (4GB－32GB) ・miniSDHCカード (4GB－32GB) (アダプターが必要です。) ・microSDHCカード (4GB－32GB) (アダプターが必要です。) ・SDXCメモリーカード (48GB－128GB) ・USBフラッシュメモリー ^{*2}
解像度		最大1200dpi×6000dpi
拡張ファイル	メディア ファイル フォーマット	DPOF形式 (ver.1.0、ver.1.1)、 Exif形式/DCF形式 (ver. 2.1まで)
	対応画 ファイル フォーマット	写真プリント：JPEG ^{*3} 、AVI ^{*4} 、MOV ^{*4} メディア保存：JPEG、PDF (カラー) TIFF、PDF (モノクロ)
ふちなし印刷用紙		A3、A4、ハガキ、L判、2L判 ^{*5}

^{*1} メモリーカード、アダプター、USB フラッシュメモリードライブは含まれません。

^{*2} USB2.0 規格
16MB ～ 64GB の USB マスストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

^{*3} プログレッシブ JPEG フォーマットには対応していません。

^{*4} モーション JPEG のみです。

^{*5} 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

 本製品は、著作権保護機能には対応していません。

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

スキャナー

カラー / モノクロ	対応/対応
TWAIN 対応	あり (Windows® XP*1/Windows Vista® /Windows® 7/Windows® 8) (Mac OS X v10.8.5、10.9.x、10.10.x)
WIA 対応	あり (Windows® XP*1/Windows Vista® /Windows® 7/Windows® 8)
ICA 対応	あり (Mac OS X v10.8.5、10.9.x、10.10.x)
カラー階調	入力：48ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：16ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi (補間) *2 最大2400×2400dpi (原稿台ガラス) 最大2400×1200dpi (ADF (自動原稿送り装置))
最大原稿読み取り幅	原稿台ガラス使用時 幅：293mm 長さ：427.8mm ADF (自動原稿送り装置) 使用時 幅：293mm 長さ：427.8mm
最大原稿読み取り幅 (両面読取)	ADF (自動原稿送り装置) 使用時 幅：293mm 長さ：427.8mm

*1 Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

*2 WIA ドライバー (Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 対応) では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。(「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。)

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
最大印刷幅 *1	291mm [297mm (ふちなし印刷) *2]
ふちなし印刷用紙 *3	A3、レジャー、A4、USレター、A6、ポストカード、インデックスカード、ハガキ、L判、2L判
自動両面印刷	- 用紙タイプ：普通紙 - 用紙サイズ：A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A4、USレター、エグゼクティブ、B5 (JIS)、A5、ハガキ

*1 A3 用紙を印刷した場合。

*2 ふちなし印刷を設定した場合。

*3 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

インターフェイス

USB ^{*1*2}	5.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
LAN ^{*3}	カテゴリー 5以上の非シールドツイストペアケーブル（UTP）をご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャ通信、アドホック通信） IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct [®] 接続）
NFC	対応

^{*1} 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

^{*2} サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

^{*3} ネットワークの仕様について詳しくは、「ネットワーク（LAN）」（⇒ 175 ページ）をご覧ください。または「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

ネットワーク（LAN）

 ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-FAX 送信機能、PC-FAX 受信機能（Windows[®] のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BRAdmin Light^{*1} も使用できます。

^{*1} 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）から、Brother BRAdmin Professional ユーティリティの最新バージョンをダウンロードして使用してください。（Windows[®] のみ）

無線セキュリティ	SSID（最大32桁まで）、WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）
無線セットアップサポート ユーティリティ	AOSS [™] 対応
	WPS 対応

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジタル
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付録

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		インターフェイス			プロセッサ	必要なディスク容量	
		USB *2	10/100Base-TX (イーサネット)	無線 LAN IEEE802.11b/g/n		ドライバー	その他のソフトウェア (ドライバーを含む)
Windows®	Windows® XP Home *1 Windows® XP Professional *1	プリント PC-FAX *3 スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) *4 ネットワークメディアアクセス (LAN 接続時) *4			32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサ	150MB	1GB
	Windows Vista® *1					500MB	1.3GB
	Windows® 7 *1 Windows® 8 *1 Windows® 8.1*1					650MB	
	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 R2 Windows Server® 2008	なし	プリント	64 ビット (x64) のプロセッサ	50MB	なし	
	Windows Server® 2008 R2 Windows Server® 2012 Windows Server® 2012 R2						
	Macintosh	OS X v10.8.5 OS X v10.9.x OS X v10.10.x	プリント PC-FAX 送信 *3 スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) *4 ネットワークメディアアクセス (LAN 接続時) *4			Intel® プロセッサ	80MB

^{*1} WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。

^{*2} サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

^{*3} PC-FAX はモノクロのみ対応しています。

^{*4} リムーバブルディスクおよびネットワークメディアアクセスはメモリーカードアクセスの機能です。

- 最新のドライバーは <http://support.brother.co.jp/> からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語解説

=あ=

● アプリケーションソフトウェア

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● インクジェット

専用のインクをプリントヘッドのノズルから用紙に吹き付けて印刷する方式です。

● インターフェイス

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● ウィザード

Windows®などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● オプション機能

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

=か=

● 回線種別

電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● 画質強調

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● 機密ポーリング

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● 原稿台ガラス

コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

=さ=

● 親切受信

ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● スプリッター

ADSL環境で必要な機器の1つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

=た=

● ターミナルアダプター

ISDN回線で必要な機器の1つです。パソコンや電話機をISDN回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● タスクバー

Windows®の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● デバイス

ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス

1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 同報送信

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● とりまとめ送信

メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

=な=

● ナンバー・ディスプレイ

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。(有料)

=は=

● ファクス転送

受信したファクスメッセージを、指定したファクス機に転送する機能です。

● プリンタードライバ

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● ポーリング通信

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● ポスターコピー

1枚の原稿を分割し、複数の用紙に拡大コピーします。

=ま=

● メモリー送信

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー受信

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● メモリー代行受信

用紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。用紙をセットすると印刷されます。

=ら=

● リアルタイム送信

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモートセットアップ

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン (ログイン)

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

= 数字 =

● 2 枚に分割

A3 サイズ 1 枚の原稿を原寸のまま、A4 サイズ 2 枚の用紙に分けてコピーする機能です。

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● ADF (自動原稿送り装置)

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線 (アナログ回線) で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン (Cyan)、マゼンタ (Magenta)、イエロー (Yellow)、黒 (Black) によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑 (RGB) による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青 (シアン)、赤紫 (マゼンタ)、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ (,) を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP 電話

インターネットで使われている IP (インターネット・プロトコル) 技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System (オペレーティングシステム) の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX (構内交換機)

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer (パーソナルコンピュータ) の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス) の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard (vcf 形式)

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 で標準サポートされています。

索引

数字

0 発信	99
2in1 (ID カード) コピー	54
2in1 コピー	53
4in1 コピー	53

英字

ADF 高速モード	25
ADF 高速モード (コピー)	50
ADSL 接続	44
CPU	176
DPOF	78
E メールアドレスに転送	113
E メール添付	166
ID カードコピー	54
IP ファクス	101
ISDN 接続	45
Macintosh	176
microSD カード	66
miniSD カード	66
OCR	166
OS	176
PBX	124
PC ファクス受信	114
PictBridge	79
SD メモリーカード	66
USB フラッシュメモリー	66
USB フラッシュメモリー差し込み口	66
USB フラッシュメモリーのセット/取り出し	66
Wi-Fi 設定ボタンの機能	157
Windows®	176

あ行

赤目補正	73
明るさ (画面)	31
明るさ (デジカメプリント)	67
暗証番号	128
色あざやか補正	73
いろいろなコピー	48
インクカートリッジの交換	139
インクカートリッジの廃棄	140
インク残量チェック	140
インク節約コピーボタンの機能	158
インク節約モード	59
インクボタンの機能	157
印刷が汚い	141
印刷範囲	12
インデックスプリント	70
薄い (コピー/印刷)	141
裏写り除去コピー	59
お気に入り登録	35

お気に入りの呼び出しかた	37
お手入れ	134
音量設定	30

か行

海外送信	95
外出先からの操作	128
外出先に転送	131
回線種別の設定	42
外線発信	99
外線番号	99
拡大/縮小	51
画質が悪い	141
画質強調	68
かすれる (コピー/印刷)	141
画像トリミング	68
画像の一部をプリントする	74
傾き補正	56
画面の設定	31
カラー調整	68
機能一覧	146
逆光補正	73
クラウドボタンの機能	158
クリーニング (プリントヘッド)	141
グループダイヤル	125
原稿の読み取り範囲	25
言語選択	32
構内交換機 (PBX)	46
こだわり印刷	73, 159
コピー	
画質	50
設定変更	50
濃度	51
コピーボタンの機能	164
コントラスト	67

さ行

再ダイヤル	98
地色除去コピー	61
自動色補正	73
自動印刷する (ファクス)	105
自動再ダイヤル	98
自動縮小受信	107
シャープネス	68
写真補正	73
写真をトリミングする	74
写真をプリントする	66
写真をプリントする (PictBridge)	79
手動送信	85
仕様	169
使用環境	176
消去 (ファクスをメモリーから)	115
証明写真プリント	76

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

《第9章 付録》

照明ダウンタイマー	31
親切受信	106
透かしコピー	60
スキャンボタンの機能	166
スタックコピー	52
スピーカー音量	30
スライド表示	77
スリープモード	33
静音モード	34
清掃	134
セキュリティ印刷ボタンの機能	158
セキュリティ機能ロック	38
設定内容リスト	142
セットできる用紙	10
セピア色でプリント	73
送信結果レポート	118
送信の中止	85, 88, 116
送信待ちファクス	116
ソートコピー	52

た行

タイマー送信	91
タイムゾーン	29
ダイヤル回線	42
ダイヤル制限機能	100
ダウンタイマー (照明)	31
タッチパネル操作	8
着信音量	30
着信履歴	84
着信履歴から電話帳に登録	122
着信履歴からファクスを送る	84
着信履歴リスト	119
通信管理レポート	117
定期メンテナンス	141
データコネクト	101
テキストデータ変換	166
手差しトレイにセット	22
デジカメプリント	66
デジカメプリントボタンの機能	159
デジタルテレビ接続	45
電話がかけられない	42
電話帳	122
削除	124
パソコンから登録	126
変更	124
履歴から登録	122
電話帳リスト	142
電話呼び出し	131
同報送信	87
同報送信の中止	88
時計セット	28
とりまとめ送信	92
トリミング	74

な行

入力方法	144
ネットワーク設定リスト	142

は行

廃棄 (インクカートリッジ)	140
排紙ローラーの清掃	135
白紙 (コピー / 印刷)	141
パソコンからファクスを送る	97
パソコンで電話帳に登録	126
肌色あかるさ補正	73
発信履歴	84
発信履歴から電話帳に登録	122
発信履歴からファクスを送る	84
番号指定プリント	71
ひかり電話接続	44
ビジネスホン	46
日付印刷	68
表示言語設定	32
ファクス	
印刷	102, 112
画質	82
原稿濃度	82
受信	106
消去	104
設定変更	82
送信	82
転送	113, 114, 131
メモリーで受信する	112
ファクス誤送信防止	100
ファクス送受信テスト	26
ファクスボタンの機能	162
フォルダー保存	166
ふちなし印刷	68
ブックコピー	60
プッシュ回線	42
プラテン清掃	136
プリント画質	67
プリントサイズ	67
プリントヘッド	141
分割コピー	55
ヘッドクリーニング	141
便利な A3 コピーボタンの機能	158
便利な A3 コピー	62
便利なコピー設定	51
ホームボタン設定	31
ポーリング受信	108
ポーリング送信	94
ポスターコピー	55
ボタン確認音量	30
ホワイトバランス	68
ホワイトボード補正	73

ま行

まとめてプリント	69
マルチメディアカード	66
みてから送信	89
みるだけ受信	102, 105
無線 LAN レポート	142
メディア保存	166
メニューボタンの機能	148
メモリー	176
メモリーカード差し込み口	66

メモリー受信	112, 131
メモリー受信したファクスを印刷する	112
メモリー代行受信	105
メンテナンス	134
文字の入力方法	144
モノクロプリント	73

や行

夜景補正	73
ユーザー切り替え	41
用語解説	177
用紙	10
用紙送り量補正	141
用紙サイズ（コピー）	50
用紙サイズ（デジカメプリント）	67
用紙タイプ（コピー）	50
用紙タイプ（デジカメプリント）	67
用紙トレイ 1 にセット	12
用紙トレイ 2 にセット	17
用紙トレイの設定	24
用紙トレイの選択（コピー）	24
用紙トレイの選択（ファクス）	24
用紙のセット	
手差しトレイ	22
用紙トレイ 1	12
用紙トレイ 2	17
汚れ（本製品）	134
読み取り範囲	25

ら行

リアルタイム送信	93
リダイヤル	98
リモート受信	111
リモコンアクセス	129
リモコンコード	130
両面コピー	57
両面ファクス	86
履歴削除	123
レイアウトコピー	53
レポート印刷	142

はじめに

お好みで
設定する

コピー

デジカメ
プリント

ファクス

電話帳

転送・
リモコン機能

こんなときは

付 録

brother